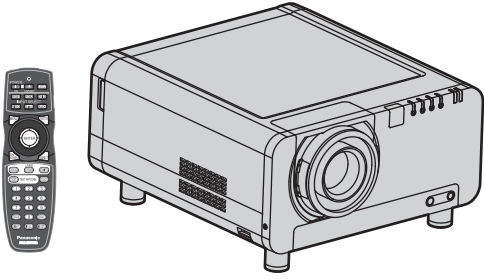


Panasonic®

取扱説明書



高輝度 DLP® 方式プロジェクター 業務用

品番 **TH-D10000**
TH-DW10000



保証書別添付

このたびは、パナソニック 高輝度 DLP® 方式プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この説明書は TH-D10000、TH-DW10000 共用の取扱説明書です。
- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特にこの説明書の「**安全上のご注意**」(4～9ページ)は、**ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

上手に使うって上手に節電

お客様からのお問い合わせが多い事項をまとめました！

114 ページへ

自己診断表示って？

内部ステータスやエラーを本機側面の LED に表示可能

81 ページへ

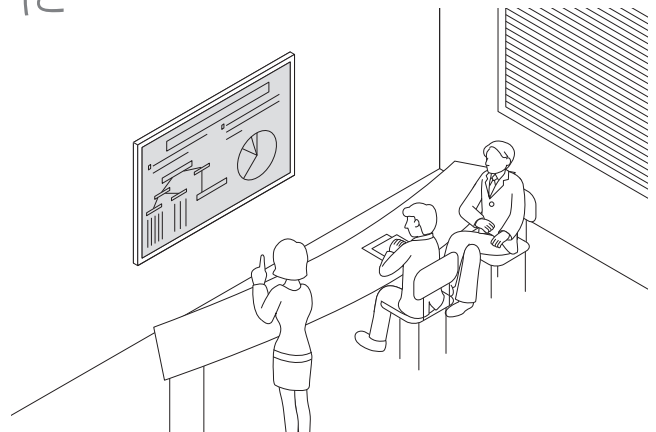
自動エアークリーナー清掃って？

お掃除ロボットがエアークリーナーを自動的に清掃し、クリーンな状態を保つことが可能

78 ページへ

クワッドランプシステムって？

四個の内蔵ランプを使用し、高輝度で美しい映像投写が可能



安全上のご注意.....	4
--------------	---

必ず

お読みください!

ご使用になる前に.....	10
各部の名称とはたらき.....	12
リモコンの使いかた.....	17
設置する.....	19
接続する.....	25
入力モジュール（別売品）の取り付け.....	28
投写レンズ（別売品）の取り付け／取り外しかた.....	34

まず

ご確認ください!

投写する.....	35
レンズ調整のしかた.....	38
入力信号データの登録.....	41
リモコンでの簡単操作.....	44
オンスクリーンメニューについて.....	47
映像の調整.....	50
位置調整.....	57
アドバンスドメニューの使いかた.....	61
表示言語（LANGUAGE）の設定.....	67

すぐ

使うとき

オプション1の設定.....	68
オプション2の設定.....	76
内蔵テストパターンを表示.....	83
ネットワーク機能の使いかた.....	84
PJLink™ プロトコルを使用する.....	98
セキュリティの設定.....	99
シリアル端子を使う.....	102
リモート2端子を使う.....	106

もっと

楽しむとき

モニターランプの表示について.....	107
エアフィルター清掃と交換.....	108
ランプユニットの交換.....	110
天つり金具取り付け時の注意事項.....	112
修理を依頼される前に.....	113
自己診断表示について.....	114
仕様.....	116
付録.....	118
保証とアフターサービス（よくお読みください）.....	121
寸法図.....	122
索引.....	123

もし

必要なとき

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下表は絵表示の一例です)



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



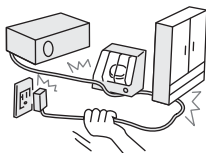
このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

警告

- 電源変換コード・電源プラグを破損するようにはしない



禁止



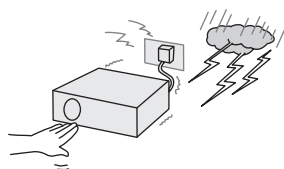
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

- 雷が鳴り出したら、本機やケーブルに触れない



接触禁止



感電の原因となります。

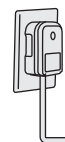
- 電源プラグのほこりは定期的に掃除をする



電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

警告

■ 電源変換コードは本機に付属のもの以外は使用しない



禁止

付属の 3 端子付コードを使い、コンセント側でアースを取らないと感電の原因となります。

■ 付属の電源変換コードは、本機以外の機器で使用しない



禁止

発熱による火災の原因となります。

■ AC100 V で使用する場合は 20 A 用コンセント、AC200 V で使用する場合は 15 A 用コンセント（電源プラグ変換コード使用時）または 20 A 用コンセント（電源プラグ変換コード未使用時）を単独で使用する



コンセントの容量不足、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

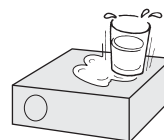


感電の原因となります。

■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



禁止



ショートや発熱により火災・感電の原因となります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

■ 異常があったときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音がでたとき

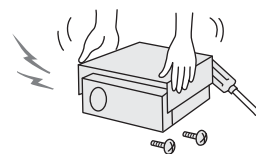
そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご依頼ください。

■ 分解したり、改造したりしない



分解禁止



内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

警告	
高圧注意	
サービスマン以外の方はケースをあげないでください。 内部には高電圧部分が数多くあり万一さわると危険です。	

「本体に表示した事項」

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

 **警告**

■ ランプユニットを分解しない



禁止

ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。

■ 排気孔には手や物を近づけない



禁止

排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

- 周辺の壁や物から 50 cm 以上離して設置してください。

■ 使用中は投写レンズをのぞかない



禁止

投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと目を痛める原因となります。

- 特に小さなお子様にはご注意ください。また、本機から離れる場合は主電源を切ってください。

■ 天井取り付け（天つり）などの設置工事は専門の技術者に依頼する



工事の不備があると事故の原因となります。

■ 当社で指定した天吊金具を使用する



天吊金具に不備があると事故の原因になります。

■ 天つり設置時に必ず付属のワイヤー（天つり金具と別の場所に取り付ける）とアイボルトで落下防止措置を行う

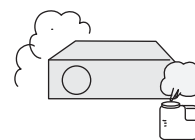


工事の不備があると事故の原因となります。

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



禁止



火災・感電の原因となることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天吊り設置のときに落下する恐れがあります。

■ カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しない



禁止

内部に熱がこもり本機の故障、火災ややけどの原因となることがあります。

■ ランプユニットの交換は、必ず電源プラグを抜き、ランプユニットが冷えてから（1 時間以上待つて）行う



内部に触れると感電や破裂、やけどの原因となります。


警告
■ 電池は誤った使い方をしない

禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

- 乾電池は充電しない。
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない。
- +と-を針金などで接続しない。
- 金属製ネックレスやヘアピンなどいっしょに保管しない。
- +と-を逆に入れない。
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない。
- 被覆のはがれた電池は使わない。
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない。
- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

■ 投写レンズ（別売品）のレンズカバーを取り付けたまま投写しない

禁止

火災の原因となることがあります。

■ 電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする


- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるのできれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

■ 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

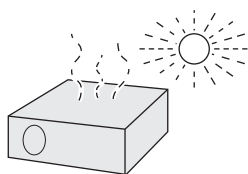

- そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠️ 注意

■ 異常に温度が高くなるところに置かない



禁止



外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

■ 移動させる場合は、必ず接続線を外す



接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 放熱を妨げない



禁止



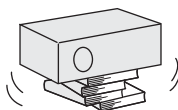
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 押し入れ、本棚など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- 布や紙などの上に置かないでください。吸気孔に吸着する場合があります。

■ 荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない



禁止



強度が弱い所や不安定な場所に設置すると、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

■ 本機の上にセットや重い物を載せたり、乗ったりしない



禁止

- 倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

■ レンズシフト動作中は、レンズ周辺の開口部に手を入れない



指に注意

レンズシフト動作中にレンズ周辺の開口部に手を入れないでください。手をはさみけがの原因となることがあります。

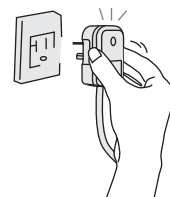
■ アジャスター脚や投写レンズカバーをはずしたまま使用しない



禁止

セットが正常に動作せず故障の原因となります。

■ 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグを持って抜く



コードをひっぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■ 長時間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

■ 長時間使わないときは、リモコンから電池を取り出す



電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

■ 1年に1度は内部の清掃を販売店に依頼する

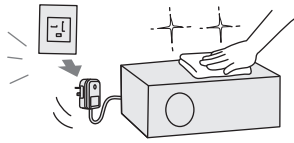


本機の内部にほこりがたまったら、長い間清掃しないと火災の原因となることがあります。

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く



感電の原因となることがあります。

- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。販売店にご依頼ください。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

■ 古いランプユニットは使用しない



禁止

破裂する場合があります。

■ ランプが破裂したときは、直ちに換気を行い、触ったり、顔を近づけない




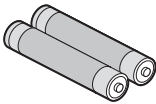




散乱したガラス片でけがをしたり、破裂により発生したガス（蛍光灯程度の水銀を含有）を吸い込んでしまう恐れがあります。

- 万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合は直ちに医師にご相談ください。
- 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。

ご使用になる前に

付属品の確認

以下の付属品が入っていることをご確認ください。

リモコン 1個 [N2QAYB000076]	リモコン用単3形 乾電池 2個	電源変換コード		落下防止用金具	
		AC 100 V 20 A 用 1本： [TXJAC1VKC8]	AC 200 V 15 A 用 1本： [TXJAC2VKC8]	アイボルト 4個 [THEA172J]	ワイヤーロープ 4本 [TTRA0144]
					

運搬上の留意点

投写レンズは振動や衝撃に対して影響を受けやすい部品です。運搬時は必ずレンズを外してください。

設置に関する留意点

本機の設置については下記の事項を必ずお守りください。

- **AC100 V で使用される場合は、AC100 V 20 A 用コンセントを単独で使用してください**
AC200 V で使用される場合は、AC200 V 15 A 用コンセントを単独で使用してください
- **投写レンズを取り付けた後、必ず投写レンズカバーを取り付けてください**
内部にほこりがたまって、故障の原因となります。
- **振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください**
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- **高圧電線や動力源の近くに設置しないでください**
高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。
- **ビニールシートやじゅうたんの上には設置しないでください**
エアーフィルター部にビニールシートなどがはり付き、本機内部温度が上昇するため保護回路が働き、電源が切れる場合があります。
- **本機を天井に取り付ける場合は必ず専門の技術者にご依頼ください**
天井からつり下げて設置される場合は、別売の天井金具（高天井用品番：ET-PKD100H）（低天井用品番：ET-PKD100S）をお買い求めのうえ、取り付け工事を専門の技術者にご依頼ください。

- **海拔 2 700 m 以上の場所に設置しないでください**
また海拔 1 400 m 以上でご使用になるときは、77 ページの「ファン制御」を「高地」に設定してください

そのまま使用すると、製品の寿命に影響する恐れがあります。

- **垂直下向きに設置しないでください**

垂直下向きおよび、その前後 45° の向きに設置するとランプユニットを正常に冷却できず、ランプ及び製品の寿命が劣化します。

使用上の留意点

- **美しい映像をご覧いただくために**

- スクリーン面に外光や照明などの光が入ると、ハイコントラストで美しい映像を見ることができません。窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの配慮をしてください。
- 使用環境によっては排気孔からの熱せられた空気の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。セットの前面に自機、あるいは他機の排気が回り込むような設置がないように注意してください。

- **投写レンズ面は素手でさわらないでください**

投写レンズ面に指紋や汚れがつくと、拡大されてスクリーンに映りますのでレンズ面には手をふれないでください。また本機を使用されないときは、付属のレンズキャップを被せておいてください。

- **スクリーンについて**

ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れがつかないように取り扱いにご注意ください。

- **ランプについて**

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプには次のような特性があります。

- 衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などで大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって寿命に大きなバラツキがあります。特に頻繁な電源オン / オフの繰り返しは、寿命に大きな影響を及ぼします。
- ごくまれに使用後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を越えると破裂の可能性が高くなります。

- **お手入れ**

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- **キャビネットはやわらかい乾いた布で**
油汚れはぬるま湯を用い、やわらかい布でふき取ってください。化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。
- **レンズ面は毛羽だつ布やほこりのついた布でふかないでください**
レンズにゴミやほこりが付着しますとスクリーン面へ、ゴミやほこりが拡大されて映ります。やわらかいきれいな布でふいてください。

注意

パソコンや外部機器に接続する際、シールドされたインターフェースケーブルを使用してください。

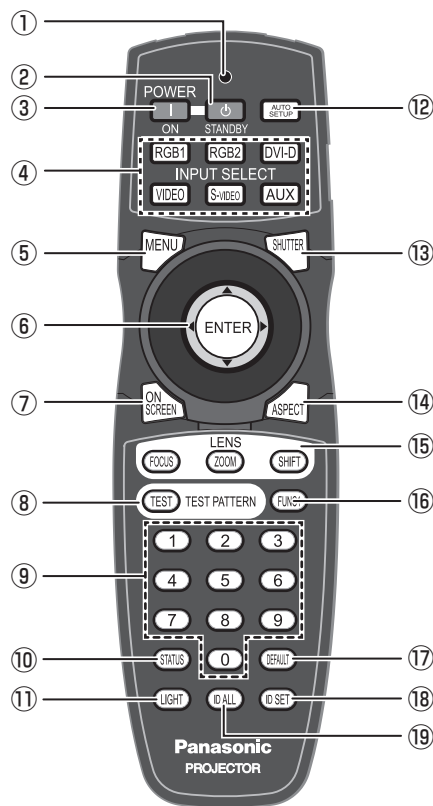
廃棄について

本機を廃棄する場合は、販売店に依頼するか専門の業者に依頼してください。

各部の名称とはたらき

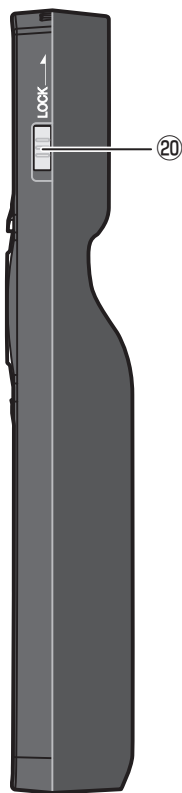
リモコン

■ 前面

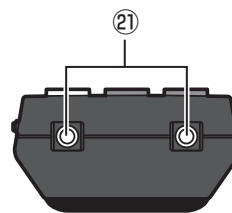


- ① **リモコン操作表示ランプ**
リモコンボタンを押すと点滅します。
- ② **電源スタンバイ (⏻) ボタン (35、37 ページ)**
本体の主電源 (MAIN POWER) が「|」側で投写状態のときに、本機をスタンバイ状態にします。
- ③ **電源入 (⏻) ボタン (35、36 ページ)**
本体の主電源 (MAIN POWER) が「|」側でスタンバイ状態のときに、本機を投写状態にします。
- ④ **入力切り換え (RGB1、RGB2、DVI-D、VIDEO、S-VIDEO、AUX) ボタン (44 ページ)**
RGB1、RGB2、DVI-D、VIDEO、S-VIDEO、AUX (モジュール入力) の入力切り換えができます。
- ⑤ **メニュー (MENU) ボタン (47、49 ページ)**
メインメニューを表示したり、消したりします。メニューが表示されているときは1つ前の画面に戻ります。
- ⑥ **▲▼◀▶ボタン (49、99 ページ)**
メニュー画面の項目の選択や、設定の切り換え、およびレベルの調整ができます。また、「セキュリティ」のパスワード入力にも使用します。
エンター (ENTER) ボタン (49 ページ)
メニュー画面の項目の決定や実行ができます。
- ⑦ **オンスクリーン (ON SCREEN) ボタン (44 ページ)**
オンスクリーン表示機能を「入」「切」します。
- ⑧ **テストパターン (TEST PATTERN) ボタン (45 ページ)**
テストパターンを表示します。
- ⑨ **数字 (0 ~ 9) ボタン (18、82 ページ)**
本機を複数台使用するシステムで使用するボタンです。ID 選択時には ID 番号の入力、サービスマン用のパスワード入力時にはパスワードの入力に使用します。
- ⑩ **ステータス (STATUS) ボタン (44 ページ)**
本体の情報を表示します。また本体の状態を E メールで送信することができます。
- ⑪ **ライト (LIGHT) ボタン (45 ページ)**
ボタンを押すと、リモコンボタンに照明がつきます。リモコン操作をやめると約 10 秒後に消灯します。
- ⑫ **オートセットアップ (AUTO SETUP) ボタン (45 ページ)**
映像を投写して、このボタンを押すと画面表示位置が自動調整されます。自動調整中は画面に「実行中」と表示されます。

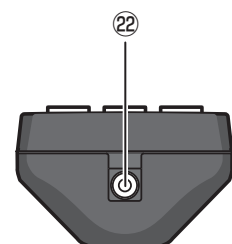
■ 横面



■ 天面



■ 後面



- ⑬ シャッター (SHUTTER) ボタン (44 ページ)
映像を一時的に消したいとき押します。
- ⑭ アスペクト (ASPECT) ボタン (46 ページ)
映像のアスペクト比率を切り換えます。
- ⑮ レンズ (FOCUS、ZOOM、SHIFT) ボタン (38 ページ)
投写レンズを調整します。
- ⑯ ファンクション 1 (FUNC1) ボタン (45 ページ)
メインメニュー内から「オプション 1」画面の「FUNC1」で設定した機能をこのボタンで操作できます。
- ⑰ デフォルト (DEFAULT) ボタン (49 ページ)
設定を工場出荷時に戻したいとき押します。
- ⑱ ID セット (ID SET) ボタン (18、76 ページ)
本体を複数台使用するシステム時、リモコンの ID を設定します。
- ⑲ ID オール (ID ALL) ボタン (18、76 ページ)
本体を複数台使用するシステム時、1 つのリモコンで同時制御するモードに設定します。

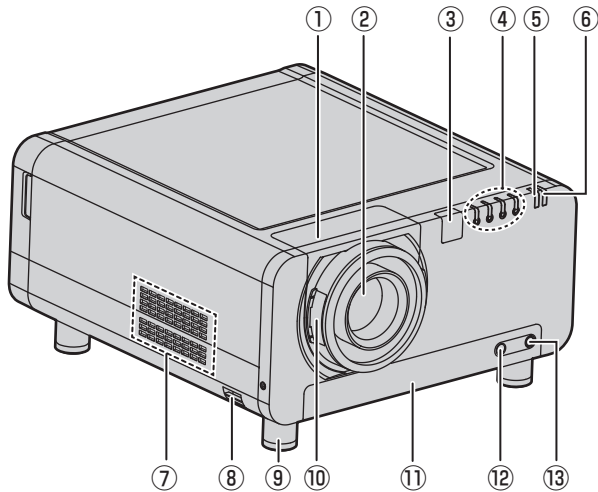
- ⑳ ロック (LOCK) ボタン
不用意にボタンを押して意図しない動作を防止したり、リモコンの電池の消耗を防止するために使用します。
- ㉑ リモコン発信部
本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ㉒ リモコンワイヤード端子 (18 ページ)
ワイヤード出力端子を使用する場合はケーブル (市販品) でリモコンと本体を接続します。

お知らせ

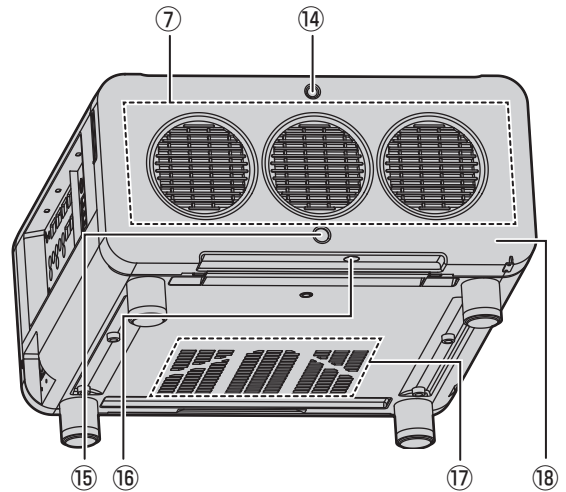
- 入力切り換えの AUX ボタンは、オプション入力モジュールが装着されていない場合は無効です。

本体

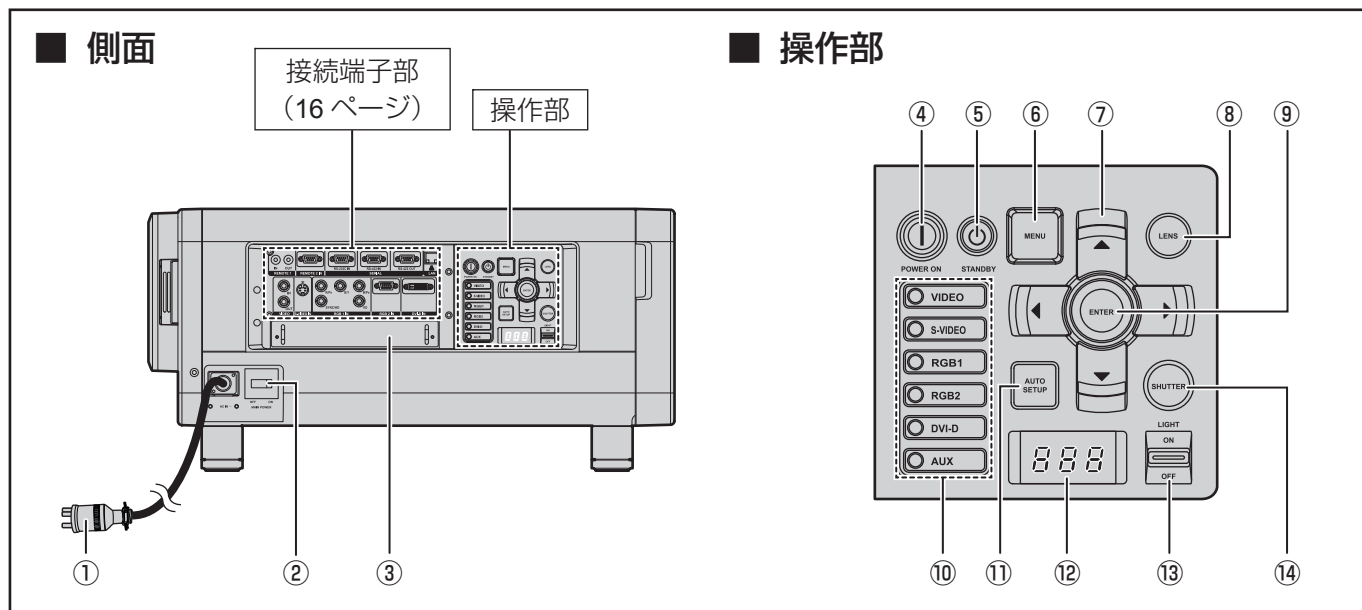
■ 前面



■ 後面



- ① 投写レンズカバー (34 ページ)
- ② 投写レンズ (別売品)
スクリーンに映像を投写するレンズです。
- ③ リモコン受光部 (前) (17 ページ)
リモコン信号の受光部です。
- ④ ランプモニター (LAMP1、LAMP2、LAMP3、LAMP4) (107 ページ)
それぞれのランプユニットの交換時期になると点灯します。またランプ回路に異常が発生すると点滅します。
- ⑤ 温度モニター (TEMP) (107 ページ)
本体内の内部温度の異常を点灯や点滅で表示します。
- ⑥ 電源表示ランプ (35 ページ)
主電源 (MAIN POWER) スイッチを「|」(入)側にしたとき赤色に点灯します。このとき本体またはリモコンの電源入 (|) ボタンを押すと緑色に点灯します。
- ⑦ 排気孔
- ⑧ 盗難防止用フック
市販の盗難防止用ケーブルなどを接続します。
- ⑨ 高さ調整機能付セット脚 (20 ページ)
本体の傾き調整に使用します。(セット脚は前後左右にあります)
- ⑩ 投写レンズカバーロックボタン (34 ページ)
投写レンズ (別売品) 用着脱式カバーをロック/ロック解除します。
- ⑪ エアーフィルター部 (108 ページ)
- ⑫ エアーフィルタークリーニングモニター (FILTER CLEANING) (81、108 ページ)
エアーフィルター清掃中は青色で点滅します。エアーフィルター異常時は赤色で点灯します。
- ⑬ エアーフィルターユニット開閉ねじ (OPEN/CLOSE) (108 ページ)
エアーフィルターカバーの開閉に使用します。
- ⑭ ランプユニット収納カバー開閉ねじ (OPEN/CLOSE) (111 ページ)
ランプユニット収納カバーの開閉に使用します。
- ⑮ リモコン受光部 (後) (17 ページ)
リモコン信号の受光部です。
- ⑯ リモコン受光部 (底) (17 ページ)
リモコン信号の受光部です。
- ⑰ 吸気孔
吸気孔はふさがらないでください。
- ⑱ ランプユニット収納カバー (111 ページ)
ランプユニットが収納されています。



① 電源変換コード接続プラグ (AC IN) (35 ページ)

付属の電源変換コードを接続するプラグです。
付属のもの以外は接続しないでください。

② 主電源 (MAIN POWER) スイッチ (35、36、37 ページ)

主電源を「|」(入)、「○」(切) ができます。

③ スロットカバー (29 ページ)

入力モジュールを取り付けます。

④ 電源入 (|) ボタン (35、36 ページ)

本体の主電源 (MAIN POWER) が「|」側でスタンバイ状態のときに、本機を投写状態にします。

⑤ 電源スタンバイ (⊖) ボタン (35、37 ページ)

本体の主電源 (MAIN POWER) が「|」側で投写状態のときに、本機をスタンバイ状態にします。

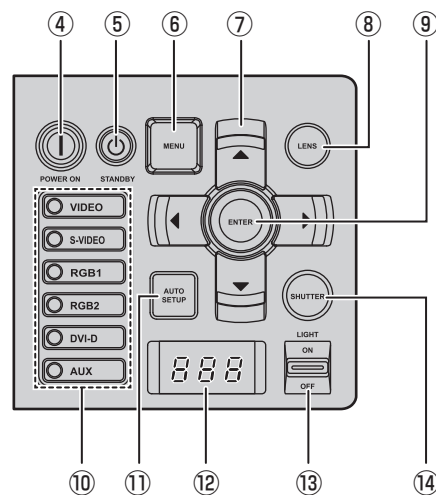
⑥ メニュー (MENU) ボタン (47、49 ページ)

メインメニューを表示したり、消したりします。
メニューが表示されているときは1つ前の画面に戻ります。
オンスクリーン表示が「切」の状態でもメニューキーを3秒以上長押しすると、メニューを表示します。

⑦ ▲▼◀▶選択ボタン (49、99 ページ)

メニュー画面の項目を選択したり、設定の切り換えおよびレベルの調整ができます。
また、「セキュリティ」のパスワード入力にも使用します。

■ 操作部



⑧ レンズ (LENS) ボタン (38 ページ)

レンズのフォーカス、ズーム、シフト (位置) の調整をします。

⑨ エンター (ENTER) ボタン (49 ページ)

メニュー画面の項目の決定や実行ができます。

⑩ 入力切り換え (VIDEO、S-VIDEO、RGB1、RGB2、DVI-D、AUX) ボタン (44 ページ)

VIDEO、S-VIDEO、RGB1、RGB2、DVI-D、AUX (モジュール入力) の入力切り換えができます。

⑪ オートセットアップ (AUTO SETUP) ボタン (45 ページ)

映像を投写して、このボタンを押すと画面表示位置の自動調整がされます。自動調整中は画面に「実行中」と表示されます。

⑫ 自己診断表示 (114 ~ 115 ページ)

⑬ ライト入 / 切 (LIGHT ON/OFF) ボタン

接続端子部および操作部の照明スイッチです。

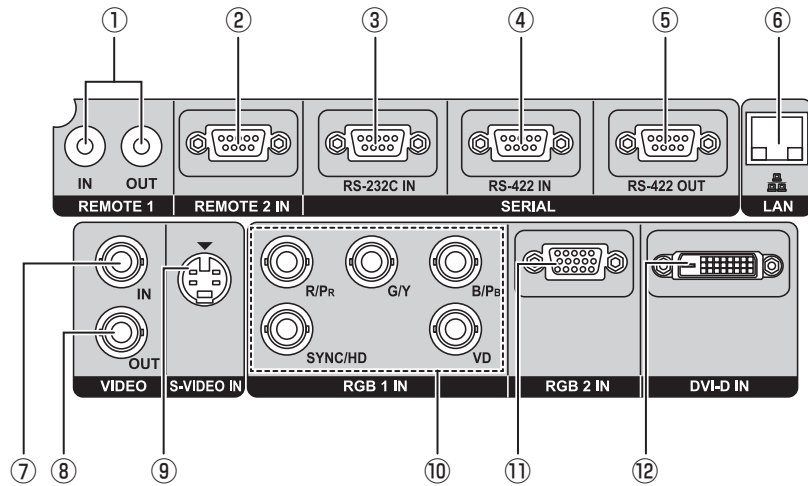
⑭ シャッター (SHUTTER) ボタン (44 ページ)

映像を一時的に消すことができます。

お知らせ

- 入力切り換えのAUXボタンは、オプション入力モジュールが装着されていない場合は無効です。

■ 接続端子部



- ① リモート 1 入力／出力 (REMOTE1 IN/OUT) 端子 (18 ページ)
本体を複数台使用するシステム時にワイヤードリモコンケーブルで連結制御することができます。(M3 ジャック)
- ② リモート 2 入力 (REMOTE2 IN) 端子 (106 ページ)
本体を外部制御回路を使用して遠隔操作することができます。(D-SUB 9 ピン メス型)
- ③ シリアル入力 (SERIAL IN) 端子 (26 ～ 27、80、102 ～ 105 ページ)
パソコンを接続して本体を外部制御するための RS-232C 準拠の入力端子です。(D-SUB 9 ピン メス型)
- ④ シリアル入力 (SERIAL IN) 端子 (26 ～ 27、80、102 ～ 105 ページ)
パソコンを接続して本体を外部制御するための RS-422 準拠の入力端子です。(D-SUB 9 ピン メス型)
- ⑤ シリアル出力 (SERIAL OUT) 端子 (27、102 ～ 105 ページ)
シリアル入力端子に接続されている信号を出力する RS-422 準拠の出力端子です。(D-SUB 9 ピン オス型)
- ⑥ LAN 端子 (10BASE-T/100BASE-TX) (26、27、86 ページ)
LAN ケーブルを接続します。
- ⑦ ビデオ入力 (VIDEO IN) 端子 (26 ページ)
ビデオ信号の入力端子です。(BNC)
- ⑧ ビデオ出力 (VIDEO OUT) 端子 (26 ページ)
ビデオ信号の出力端子 (アクティブスルー) です。(BNC)
- ⑨ S ビデオ入力 (S-VIDEO IN) 端子 (26 ページ)
S ビデオ信号の入力端子です。(Mini DIN 4 ピン)
S1 信号に対応しており入力信号のサイズに合わせて 16:9 と 4:3 の自動切り換えを行います。
- ⑩ RGB (YPbPr) 1 入力端子 (26、27 ページ)
RGB 信号または YPbPr 信号を入力する端子です。(BNC)
- ⑪ RGB2 入力端子 (27 ページ)
RGB 信号または YPbPr 信号を入力する端子です。(D-SUB 15 ピン メス型)
- ⑫ DVI-D 入力端子 (26、27 ページ)
DVI-D 信号の入力端子です。

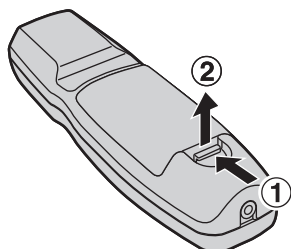
リモコンの使いかた

乾電池の入れかた

付属の単3形乾電池を極性に注意して入れてください。

1. 電池ふたを開ける

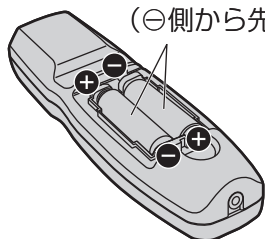
- ① ②の順でふたを開けます。



2. 乾電池を入れる

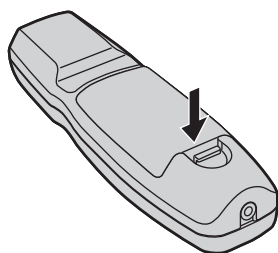
- 極性表示 (+, -) に合わせて乾電池を入れます。

付属の単3形乾電池
(⊖側から先に入れます)



3. 電池ふたを閉める

- ふたを元どおりにカチッと音がするまで閉めます。



お願い

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないようにしてください。
- ニカド電池は使用しないでください。
- リモコンを使用する際は、ロック (LOCK) ボタンを解除してから操作を行ってください。(13 ページ)

リモコンの有効操作範囲

リモコンの操作は、直接本体の前面・後面のリモコン受光部に向けて操作します。(図1)

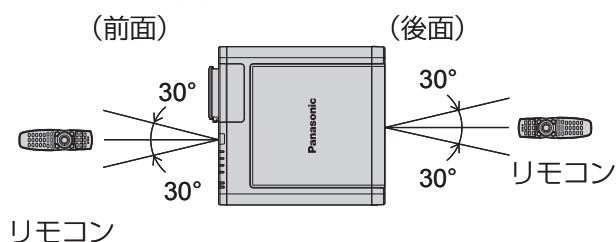
操作可能距離は前面または後面受光部の正面より約30 m 以内です。

また、図2のようにスクリーンの反射を利用して操作することもできます。

- スクリーンに向けて操作する場合は、スクリーン特性による光反射ロスで操作有効範囲に制限が出る場合があります。

図1

- 上から見た図



- 横からみた図

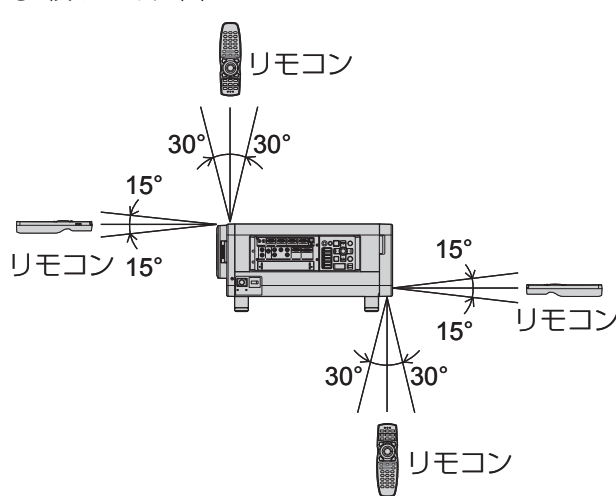
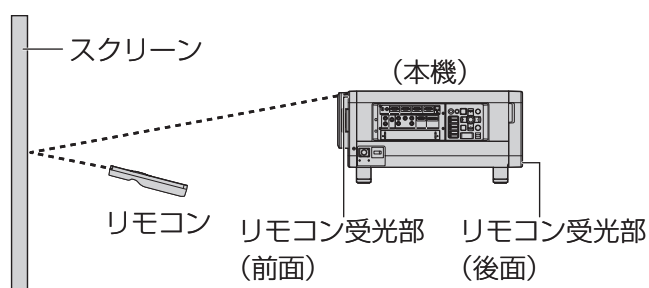


図2



お知らせ

- リモコンと受光部の間に障害物があると正しく動作しない場合があります。
- リモコン受光部に蛍光灯などの強い光が当たるとリモコンが誤動作する場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

リモコンの ID ナンバーを指定する

本機には ID ナンバーが設定されており、リモコンを使用するためには、事前に制御する本機の ID ナンバーをリモコンに指定しないと操作できません。(76 ページ) なお、本機の ID ナンバーは工場出荷時は「オール」に設定されていますので 1 台だけでご使用の場合は、リモコンは ID オール (ID ALL) ボタンをご使用ください。

1. ID セット (ID SET) ボタンを押した後、5 秒以内に、本機側で設定されている ID ナンバーの 2 桁の数字 (0 ~ 9) ボタンで設定する

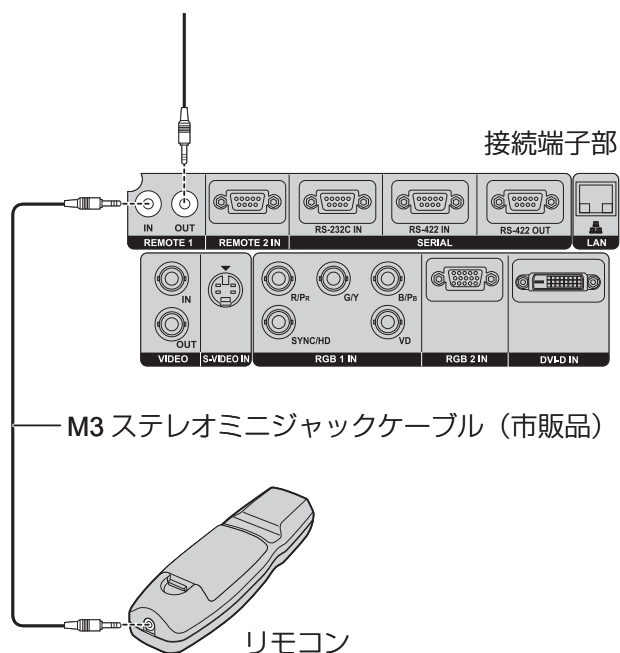
お願い

- リモコンの ID ナンバー指定は、本機がなくても可能なため、ID セット (ID SET) ボタンは不用意に押さないでください。
- ID セット (ID SET) ボタンを押した場合は、5 秒以内に数字ボタンを押さないと ID セット (ID SET) ボタンを押す以前の ID ナンバーに戻ります。
- リモコンに入力された ID ナンバーの指定は、再度指定しない限り記憶しています。ただし、リモコンの電池が消耗したまま放置しておくと消去されます。乾電池を交換した場合は、同じ ID ナンバーを再度設定してください。

ワイヤードリモコンで使う

本体を複数台接続するシステムでリモート 1 入出力 (REMOTE1 IN/OUT) 端子を利用して複数台を 1 つのリモコンで同時制御したい場合は、市販の M3 ステレオミニジャックケーブルを接続して制御します。また本機の設置環境によっては、本機とリモコンの間に障害物があったり外光の影響を受けやすい場所で使用する場合など効果的です。

2 台目のプロジェクターへの接続



お願い

- ケーブルは長さが 15 m 以下、線種は 2 芯シールドケーブルを使用してください。ケーブルの長さが 15 m を超える場合やケーブルのシールドが不十分な場合は動作しない場合があります。

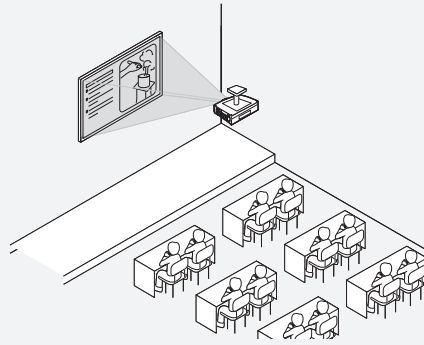
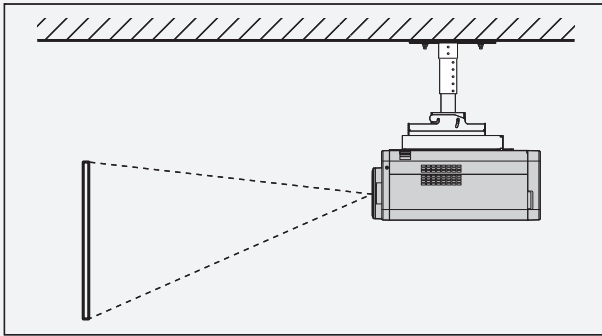
設置する

システムアップ例

本機には、豊富な端子群とオプション（別売品）が準備されており、様々なシステムアップに対応しています。下図にその一例を示しています。

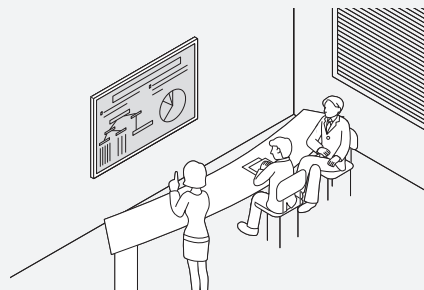
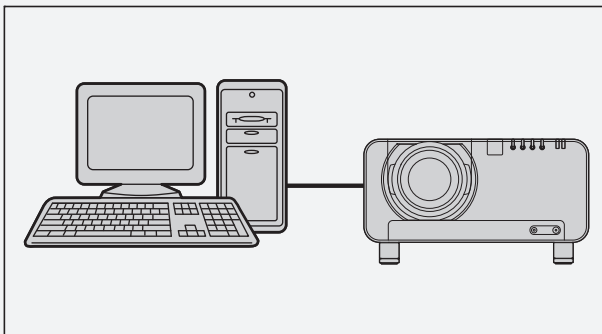
システム 1

天つり金具（別売品）を使用し、スペースを有効活用



システム 2

DVI-D 入力端子または DVI-D 入力モジュール（別売品）を使ったデジタル対応パソコンとの接続（高画質の実現）



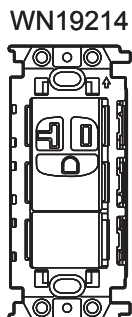
設置する (つづき)

使用可能なコンセントの形状

本機は、AC 100 V 20 A、AC 200 V 15 A、または AC 200 V 20 A のコンセントが必要です。

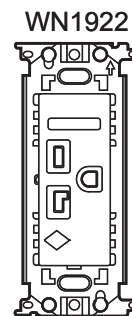
■ AC 100 V

- AC 100 V 20A コンセント
適合コンセント例：松下電工（株）製
WN19214 または同等品



■ AC 200 V

- AC 200 V 15 A コンセント
(電源プラグ変換コードを使用する場合)
適合コンセント例：松下電工（株）製
WN1922 または同等品



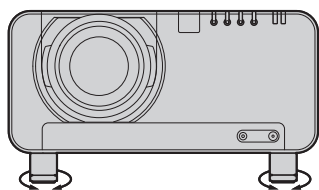
- AC 200 V 20 A コンセント
(電源プラグ変換コードを使用しない場合)
適合コンセント例：松下電工（株）製
WF2520 または同等品



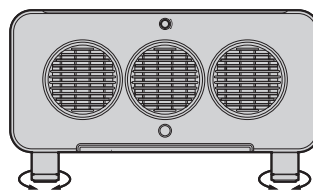
セット脚の調整

本機底面に取り付けられた 4 個のセット脚には高さ調整機能 (0 mm ~ 15 mm) があり、床置き設置面が水平でない場合の調整用に使えます。

(正面)



(後面)



投写方式

本機は、4 通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。

投写方式の設定方法については、メニュー画面のオプションメニューで行うことができます。(77 ページ)

	床置	天つり
フロント		
リア		

投写関係

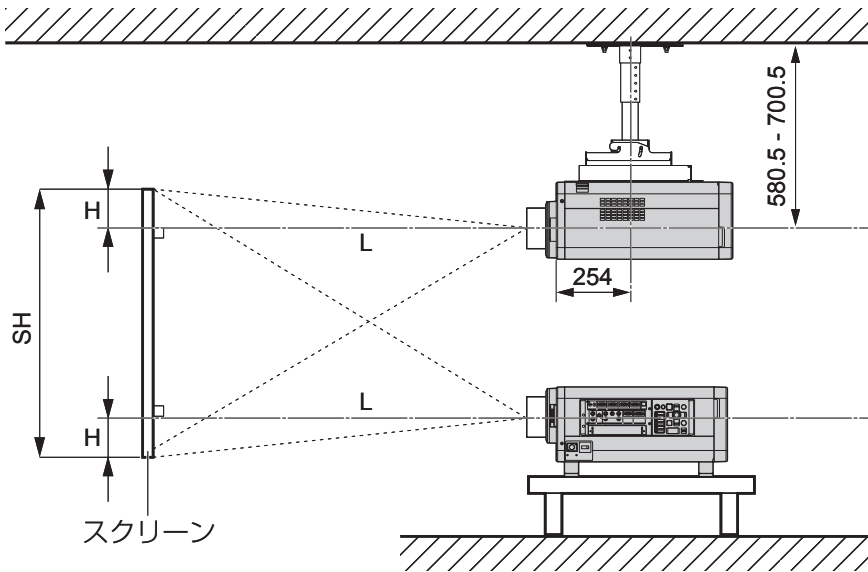
本機の設置は、下図や次ページを参考にして設置してください。なお、電動ズームレンズの採用により画面サイズの調整と、レンズ位置移動機能による画面位置の高さ調整が可能です。

● 別売品の天つり金具 (ET-PKD100H) 装着時

L : 投写距離	SW : 画像幅
SH : 画像高さ	H : レンズセンターと画像下端の距離

横から見たとき

(単位 : mm)



※ TH-D10000 の場合 $H = 0 \sim SH$

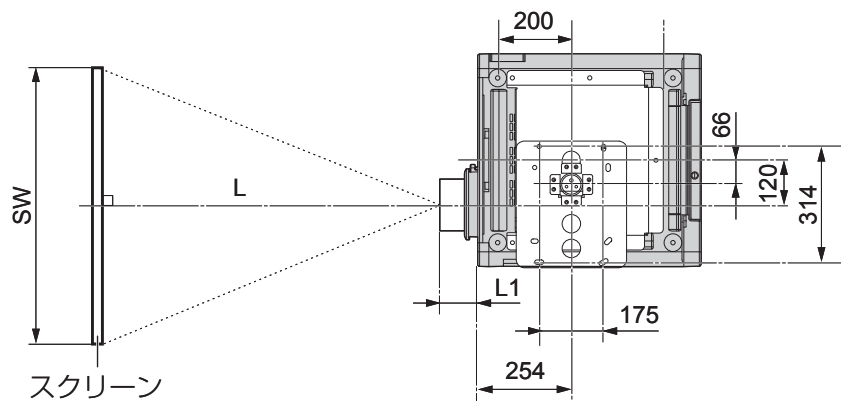
TH-DW10000 の場合 $H = -0.1 \times SH \sim 1.1 \times SH$

※ ただし、ET-D75LE5 装着時は、TH-D10000/TH-DW10000 とともに $H = SH/2$ 固定となります。

ET-D75LE6 装着時は、TH-D10000 の場合 $H = 0.1 \times SH \sim 0.9 \times SH$ 、TH-DW10000 の場合 $H = 0 \sim SH$ となります。

真上から見たとき

(単位 : mm)



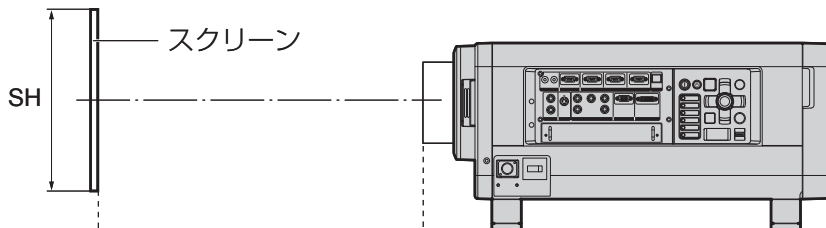
レンズ	L1 の寸法 (概略値)
ET-D75LE1	62.5
ET-D75LE2	47
ET-D75LE3	50.5
ET-D75LE4	74.4
ET-D75LE5	150.5
ET-D75LE6	160
ET-D75LE8	202.5

設置する (つづき)

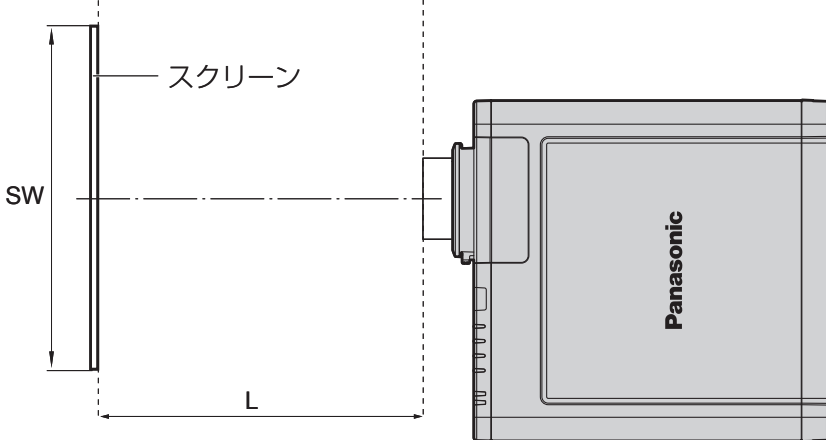
投写レンズ (別売品) ごとの投写距離

別売品の投写レンズは同じ画面サイズを得るにも、種類によりそれぞれ投写距離が異なります。下表や次ページの各投写レンズごとの投写距離をご参照のうえ、設置場所の広さに合った投写レンズをお買い求めください。

横から見たとき



真上から見たとき



L : 投写距離
SH : スクリーン有効高さ
SW : スクリーン有効幅

お知らせ

- 記載の投写距離は±5%の誤差が発生します。
- キーストン (台形歪) 補正は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

■ 投写レンズごとの投写距離 (TH-DW10000 の場合)

● スクリーンアスペクト比が 16:9 のとき (単位: m)

レンズタイプ			ズームレンズ												固定焦点 レンズ		
投写レンズ品番			ET-D75LE1	ET-D75LE2	ET-D75LE3	ET-D75LE4	ET-D75LE8	ET-D75LE6	ET-D75LE5								
スローレシオ*1			1.4-1.8 : 1	1.8-2.8 : 1	2.8-4.6 : 1	4.6-7.4 : 1	7.3-13.8 : 1	0.9-1.1 : 1	0.7 : 1								
スクリーンサイズ			投写距離 (L)														
画面 サイズ (型)	有効 高さ (SH)	有効 幅 (SW)	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	固定
70	0.872	1.550	2.07	2.77	2.80	4.21	4.23	7.09	7.10	11.37	11.09	21.14	1.39	1.66			1.02
80	0.996	1.771	2.38	3.18	3.21	4.83	4.84	8.13	8.13	13.01	12.73	24.21	1.60	1.91			1.18
90	1.121	1.992	2.68	3.59	3.62	5.45	5.46	9.16	9.16	14.65	14.37	27.29	1.81	2.16			1.34
100	1.245	2.214	2.99	4.00	4.04	6.07	6.08	10.19	10.19	16.29	16.01	30.36	2.01	2.41			1.50
120	1.494	2.657	3.60	4.82	4.86	7.30	7.31	12.25	12.26	19.57	19.29	36.50	2.43	2.90			1.81
150	1.868	3.321	4.53	6.05	6.09	9.15	9.16	15.34	15.35	24.49	24.21	45.72	3.05	3.65			2.29
200	2.491	4.428	6.06	8.10	8.15	12.24	12.25	20.50	20.50	32.69	32.40	61.08	4.08	4.89			3.08
250	3.113	5.535	7.59	10.15	10.21	15.33	15.34	25.65	25.66	40.88	40.60	76.44	5.12	6.13			3.87
300	3.736	6.641	9.13	12.19	12.27	18.41	18.42	30.81	30.81	49.08	48.80	91.79	6.15	7.37			4.66
350	4.358	7.748	10.66	14.24	14.32	21.50	21.51	35.96	35.97	57.28	57.00	107.15	7.19	8.61			
400	4.981	8.855	12.19	16.29	16.38	24.58	24.60	41.12	41.12	65.47	65.19	122.51	8.22	9.85			
500	6.226	11.069	15.26	20.39	20.50	30.76	30.77	51.42	51.43	81.87	81.59	153.23	10.29	12.33			
600	7.472	13.283	18.33	24.49	24.61	36.93	36.94	61.73	61.74	98.26	97.98	183.95	12.36	14.81			

■ 投写レンズごとの投写距離（TH-D10000 の場合）

● スクリーンアスペクト比が 4:3 のとき（単位：m）

レンズタイプ			ズームレンズ												固定焦点 レンズ
投写レンズ品番			ET-D75LE1	ET-D75LE2	ET-D75LE3	ET-D75LE4	ET-D75LE8	ET-D75LE6	ET-D75LE5						
スローレシオ*1			1.5-2.0 : 1	2.0-3.0 : 1	3.0-5.0 : 1	5.0-8.0 : 1	7.9-15.0 : 1	1.0-1.2 : 1	0.8 : 1						
スクリーンサイズ			投写距離 (L)												
画面 サイズ (型)	有効 高さ (SH)	有効 幅 (SW)	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	固定
70	1.067	1.422	2.07	2.77	2.80	4.21	4.23	7.09	7.10	11.37	11.09	21.14	1.39	1.66	1.02
80	1.219	1.626	2.38	3.18	3.21	4.83	4.84	8.13	8.13	13.01	12.73	24.21	1.60	1.91	1.18
90	1.372	1.829	2.68	3.59	3.62	5.45	5.46	9.16	9.16	14.65	14.37	27.29	1.81	2.16	1.34
100	1.524	2.032	2.99	4.00	4.04	6.07	6.08	10.19	10.19	16.29	16.01	30.36	2.01	2.41	1.50
120	1.829	2.438	3.60	4.82	4.86	7.30	7.31	12.25	12.26	19.57	19.29	36.50	2.43	2.90	1.81
150	2.286	3.048	4.53	6.05	6.09	9.15	9.16	15.34	15.35	24.49	24.21	45.72	3.05	3.65	2.29
200	3.048	4.064	6.06	8.10	8.15	12.24	12.25	20.50	20.50	32.69	32.40	61.08	4.08	4.89	3.08
250	3.810	5.080	7.59	10.15	10.21	15.33	15.34	25.65	25.66	40.88	40.60	76.44	5.12	6.13	3.87
300	4.572	6.096	9.13	12.19	12.27	18.41	18.42	30.81	30.81	49.08	48.80	91.79	6.15	7.37	4.66
350	5.334	7.112	10.66	14.24	14.32	21.50	21.51	35.96	35.97	57.28	57.00	107.15	7.19	8.61	
400	6.096	8.128	12.19	16.29	16.38	24.58	24.60	41.12	41.12	65.47	65.19	122.51	8.22	9.85	
500	7.620	10.160	15.26	20.39	20.50	30.76	30.77	51.42	51.43	81.87	81.59	153.23	10.29	12.33	
600	9.144	12.192	18.33	24.49	24.61	36.93	36.94	61.73	61.74	98.26	97.98	183.95	12.36	14.81	

● スクリーンアスペクト比が 16:9 のとき（単位：m）

レンズタイプ			ズームレンズ												固定焦点 レンズ
投写レンズ品番			ET-D75LE1	ET-D75LE2	ET-D75LE3	ET-D75LE4	ET-D75LE8	ET-D75LE6	ET-D75LE5						
スローレシオ*1			1.5-2.0 : 1	2.0-3.0 : 1	3.0-5.0 : 1	5.0-8.0 : 1	8.0-15.0 : 1	1.0-1.2 : 1	0.8 : 1						
スクリーンサイズ			投写距離 (L)												
画面 サイズ (型)	有効 高さ (SH)	有効 幅 (SW)	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	固定
70	0.872	1.550	2.26	3.02	3.06	4.60	4.61	7.74	7.75	12.40	12.12	23.06	1.52	1.82	1.12
80	0.996	1.771	2.60	3.47	3.51	5.27	5.28	8.86	8.87	14.18	13.90	26.41	1.75	2.09	1.29
90	1.121	1.992	2.93	3.92	3.95	5.95	5.96	9.99	9.99	15.97	15.69	29.76	1.97	2.36	1.47
100	1.245	2.214	3.27	4.36	4.40	6.62	6.63	11.11	11.11	17.76	17.47	33.10	2.20	2.63	1.64
120	1.494	2.657	3.93	5.26	5.30	7.96	7.97	13.35	13.36	21.33	21.04	39.79	2.65	3.17	1.98
150	1.868	3.321	4.94	6.60	6.64	9.98	9.99	16.72	16.73	26.68	26.40	49.83	3.33	3.98	2.50
200	2.491	4.428	6.61	8.83	8.89	13.34	13.35	22.34	22.34	35.61	35.33	66.56	4.45	5.33	3.36
250	3.113	5.535	8.28	11.06	11.13	16.70	16.71	27.95	27.96	44.54	44.26	83.29	5.58	6.68	4.22
300	3.736	6.641	9.95	13.29	13.37	20.07	20.08	33.57	33.57	53.47	53.19	100.02	6.71	8.03	5.08
350	4.358	7.748	11.62	15.52	15.61	23.43	23.44	39.18	39.19	62.40	62.12	116.75	7.84	9.38	
400	4.981	8.855	13.29	17.76	17.85	26.79	26.80	44.80	44.80	71.33	71.05	133.48	8.96	10.73	
500	6.226	11.069	16.63	22.22	22.33	33.51	33.52	56.03	56.03	89.19	88.91	166.95	11.22	13.43	
600	7.472	13.283	19.97	26.69	26.82	40.24	40.25	67.26	67.26	107.04	106.77	200.41	13.47	16.14	

※ 1: スローレシオは、スクリーン横サイズ / 投写距離を表したおよその値です。

設置する (つづき)

本書に記載のない画面サイズで、ご使用の場合は、使用されるスクリーンの対角寸法 (型) をご確認のうえ、下記計算式で投写距離を求めてください。

■ 投写レンズ別投写距離計算式 (TH-DW10000 の場合)

投写レンズ品番	スローレシオ	アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	単位 : m
ズーム レンズ	ET-D75LE1	1.4-1.8 : 1	16:9	最短 : $L = 0.0307 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.0760$
				最長 : $L = 0.0410 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.1004$
	ET-D75LE2	1.8-2.8 : 1	16:9	最短 : $L = 0.0412 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.0795$
				最長 : $L = 0.0617 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.1064$
	ET-D75LE3	2.8-4.6 : 1	16:9	最短 : $L = 0.0617 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.0958$
				最長 : $L = 0.1031 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.1216$
ET-D75LE4	4.6-7.4 : 1	16:9	最短 : $L = 0.1031 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.1158$	
			最長 : $L = 0.1639 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.1013$	
ET-D75LE8	7.3-13.8 : 1	16:9	最短 : $L = 0.1640 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.3862$	
			最長 : $L = 0.3072 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.3598$	
ET-D75LE6	0.9-1.1 : 1	16:9	最短 : $L = 0.0207 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.0566$	
			最長 : $L = 0.0248 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.0736$	
固定 焦点 レンズ	ET-D75LE5	0.7 : 1	16:9	$L = 0.0158 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.0835$

■ 投写レンズ別投写距離計算式 (TH-D10000 の場合)

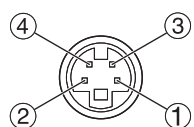
投写レンズ品番	スローレシオ	アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	単位 : m	
ズーム レンズ	ET-D75LE1	1.5-2.0 : 1	4:3	最短 : $L = 0.0307 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.0760$	
			16:9	最短 : $L = 0.0334 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.0760$	
	ET-D75LE2	2.0-3.0 : 1	4:3	最短 : $L = 0.0412 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.0795$	
			16:9	最短 : $L = 0.0448 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.0795$	
	ET-D75LE3	3.0-5.0 : 1	4:3	最短 : $L = 0.0617 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.0958$	
			16:9	最短 : $L = 0.0672 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.0958$	
	ET-D75LE4	5.0-8.0 : 1	4:3	最短 : $L = 0.1031 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.1158$	
			16:9	最短 : $L = 0.1123 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.1158$	
	ET-D75LE8	7.9-15.0 : 1	4:3	最短 : $L = 0.1640 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.3862$	
		8.0-15.0 : 1	16:9	最短 : $L = 0.1786 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.3862$	
	ET-D75LE6	1.0-1.2 : 1	4:3	最短 : $L = 0.0207 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.0566$	
			16:9	最短 : $L = 0.0225 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.0566$	
	固定 焦点 レンズ	ET-D75LE5	0.8 : 1	4:3	$L = 0.0158 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.0835$
				16:9	$L = 0.0172 \times \text{スクリーン対角 (型)} - 0.0835$

接続する

接続する前に

- 接続の際は、接続される機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画面がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号はビデオ信号、Sビデオ信号、アナログRGB信号、DVI-D信号、およびオプション入力モジュール対応信号（28ページ）です。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。

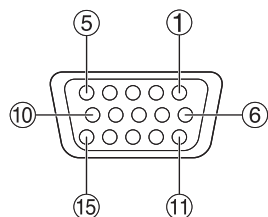
● Sビデオ入力（S-VIDEO IN）端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

ピン No.	信号
①	アース（輝度信号）
②	アース（色信号）
③	輝度信号
④	色信号

● RGB2 入力端子のピン配列と信号名は下記の通りです。

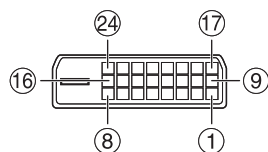


外側から見た図

ピン No.	信号
①	R/P _R
②	G/G・SYNC/Y
③	B/P _B
⑬	HD/SYNC
⑭	VD

- ④、⑨、⑫、⑮は未使用です。
⑤～⑧、⑩、⑪は GND 端子です。

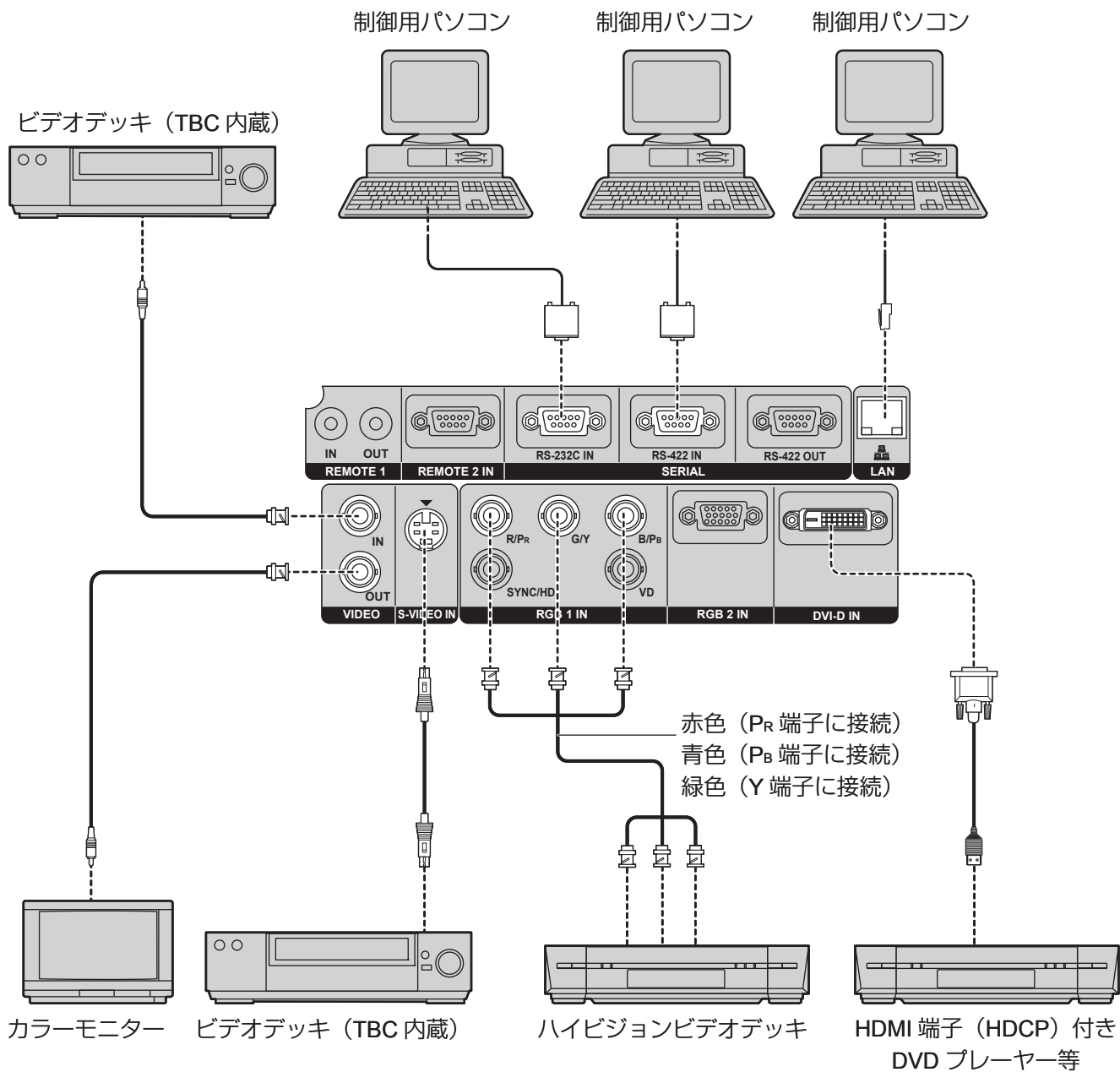
● DVI-D 入力端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

ピン No.	信号	ピン No.	信号
①	T.M.D.S データ 2-	⑬	
②	T.M.D.S データ 2+	⑭	+5V
③	T.M.D.S データ 2 / 4 シールド	⑮	グラウンド
		⑯	ホットプラグ検出
④		⑰	T.M.D.S データ 0-
⑤		⑱	T.M.D.S データ 0+
⑥	DDC クロック	⑲	T.M.D.S データ 0 / 5 シールド
⑦	DDC データ		
⑧		⑳	
⑨	T.M.D.S データ 1-	㉑	
⑩	T.M.D.S データ 1+	㉒	T.M.D.S クロックシールド
⑪	T.M.D.S データ 1 / 3 シールド	㉓	T.M.D.S クロック +
⑫		㉔	T.M.D.S クロック -

映像機器との接続例



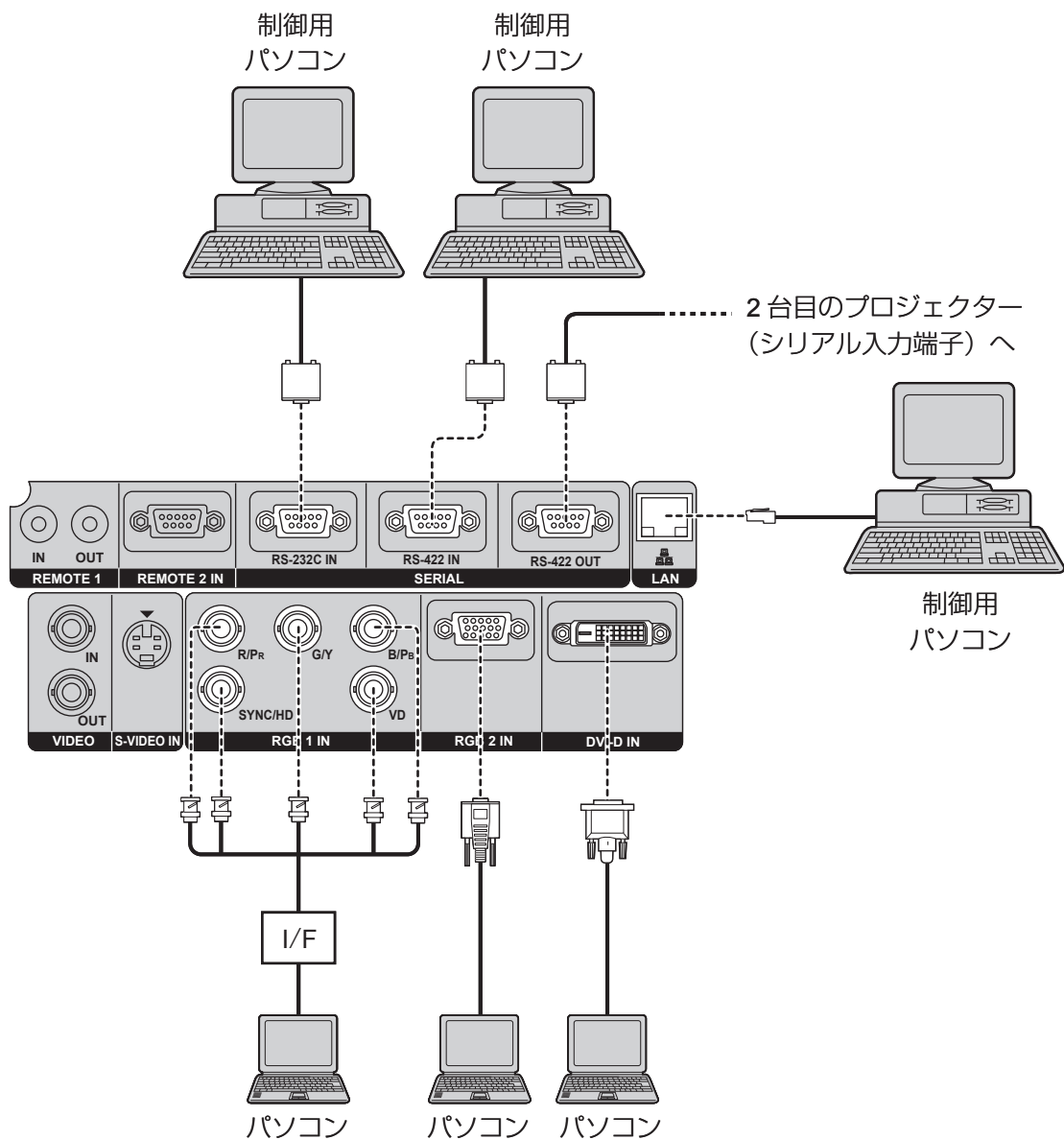
お願い

- ビデオデッキを接続するときは、必ず TBC (タイムベースコレクター) 内蔵のものを使用するか、または本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクターを使用してください。
- バースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れる場合があります。その場合は本機との間にタイムベースコレクターを接続してください。

お知らせ

- DVI-D 入力端子はシングルリンクのみ対応しています。
- HDMI 対応の機器を接続する場合は、HDMI-DVI-D 変換用ケーブルが必要です。
- 接続する機器に合わせて、EDID 設定が必要です。(72、73 ページ)
- DVI-D 入力端子は HDMI および DVI-D 対応機器との接続ができますが、一部の機器では映像が出ないなど、正常に動作しない場合があります。

パソコンとの接続例



お願い

- 本体の主電源を切ったときにはパソコンの電源も切ってください。

お知らせ

- 本機に接続できるパソコンからの RGB 信号は、118 ~ 119 ページに記載のデータを参照ください。
- レジューム機能 (ラストメモリー) のパソコンを使用される場合は、その機能をリセットしないと動作しない場合があります。

入力モジュール（別売品）の取り付け

入力モジュールの取り付け

■ 入力モジュール（別売品）の種類

あらかじめシステムの入力信号に合った入力モジュール（別売品）をご用意ください。

モジュール名	モジュール番号	入出力端子	対応信号フォーマット
SD-SDI 入力モジュール	ET-MD77SD1	BNC 入出力各 1 系統	SMPTE259M 準拠：480i、576i
		RJ-45 入力 1 系統 ^{*1}	10BASE-T/100BASE-TX
HD/SD-SDI 入力モジュール	ET-MD77SD3	BNC 入出力各 1 系統	SMPTE259M 準拠：480i、576i SMPTE292M 準拠： 720/60p、720/59.94p、720/50p 1 035/60i、1 035/59.94i、1 080/60i、1 080/59.94i 1 080/50i、1 080/24sF、1 080/23.98sF、1 080/30p 1 080/29.97p、1 080/25p、1 080/24p、1 080/23.98p
		RJ-45 入力 1 系統 ^{*1}	10BASE-T/100BASE-TX
DVI-D 入力モジュール	ET-MD77DV	DVI-D 24 ピン 入力 1 系統	HDCP ^{*2} 対応 DVI-D シングルリンク、DVI1.0 準拠 EDID1： 480p、576p、720/60p、720/59.94p、720/50p 1 080/60i、1 080/59.94i、1 080/50i、1 080/24sF、 1 080/23.98sF 1 080/30p、1 080/29.97p、1 080/25p、1 080/24p、 1 080/23.98p 1 080/60p、1 080/59.94p、1 080/50p EDID2： 表示可能解像度 VGA ~ UXGA（ノンインターレース） ドットクロック周波数 25 MHz ~ 162 MHz
		RJ-45 入力 1 系統 ^{*1}	10BASE-T/100BASE-TX

※ 1: TH-D10000/TH-DW10000 では入力モジュール（別売品）の LAN 端子は使用できません。本体標準装備の LAN 端子を使用してください。

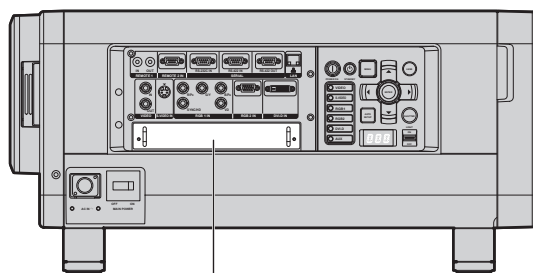
※ 2: HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）

HDCP はコンテンツ保護を目的に開発されたデジタル画像信号の暗号化方式です。

HDCP 対応機器からの DVI-D/HDMI 出力信号はコンテンツ保護のため HDCP 方式で暗号化されていますが、DVI-D モジュールは HDCP に対応しているので正しく表示することができます。

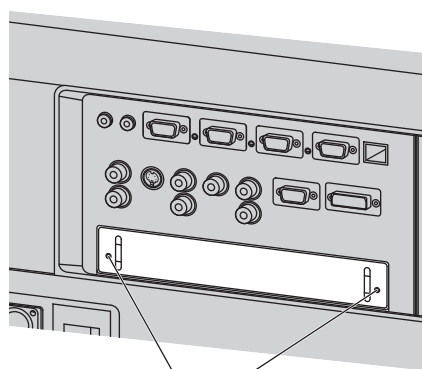
■ 取り付け手順

電源を接続しない状態で入力モジュールの取り付けを行ってください。



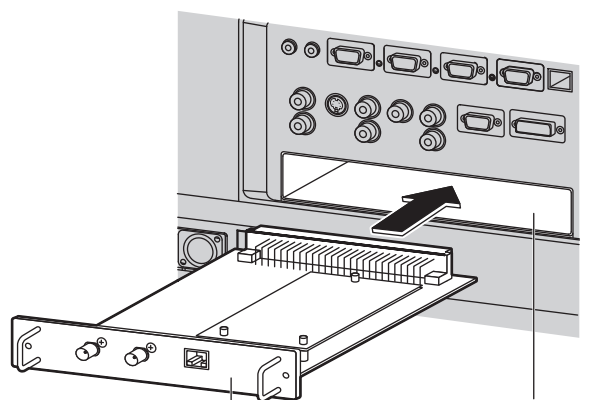
スロットカバー

1. スロットカバーを外す



ねじ 2 本を外す

2. 入力モジュールを挿入する



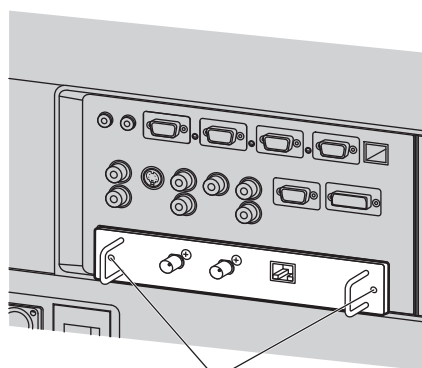
入力モジュール

スロット部

3. 入力モジュールを固定する

4. 入力信号の登録をする

- 本機は入力モジュールを取り付け後、入力信号を登録する必要があります。
(入力信号の登録は 41 ~ 43 ページをご参照ください。)

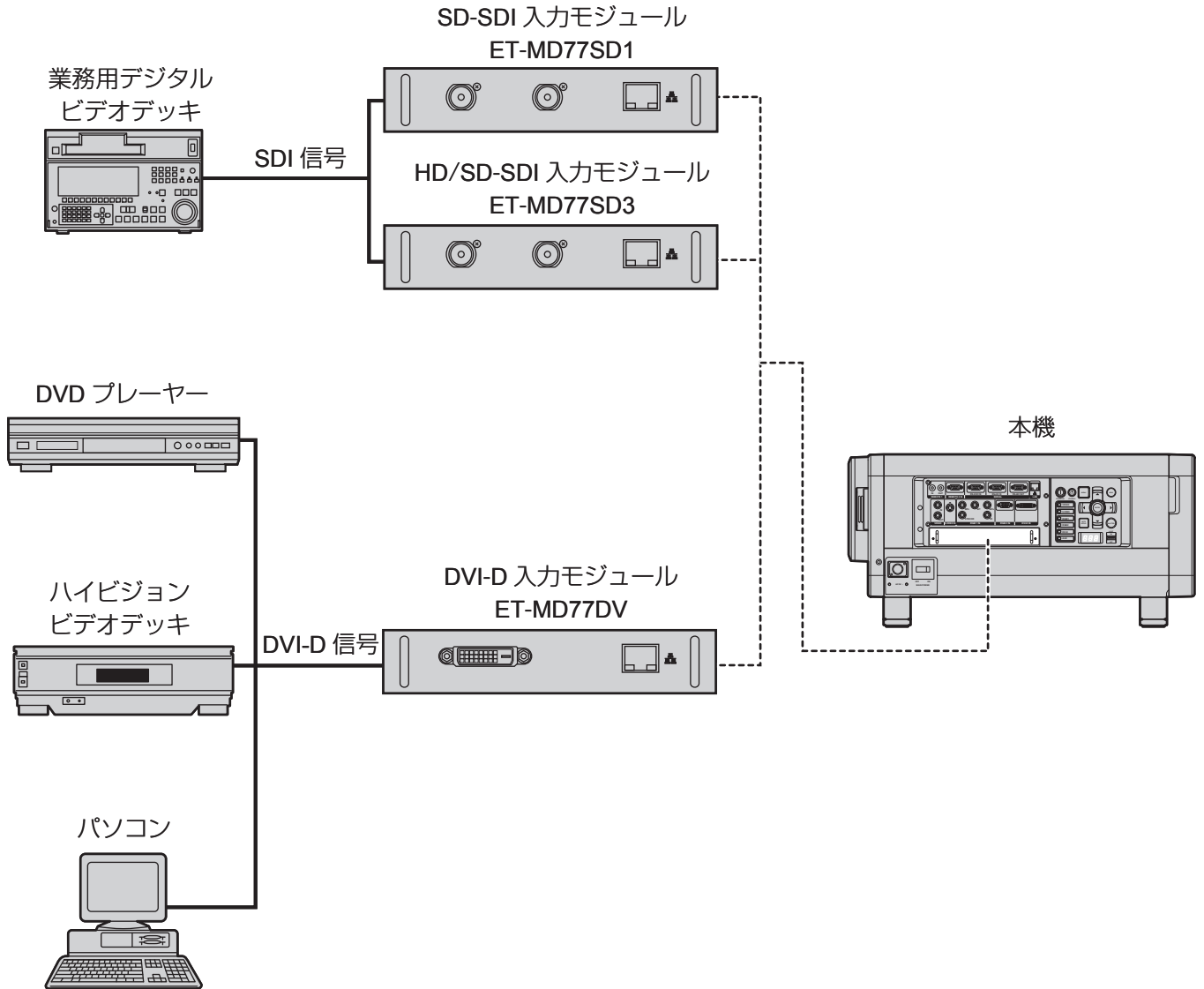


ねじ 2 本を締めつける

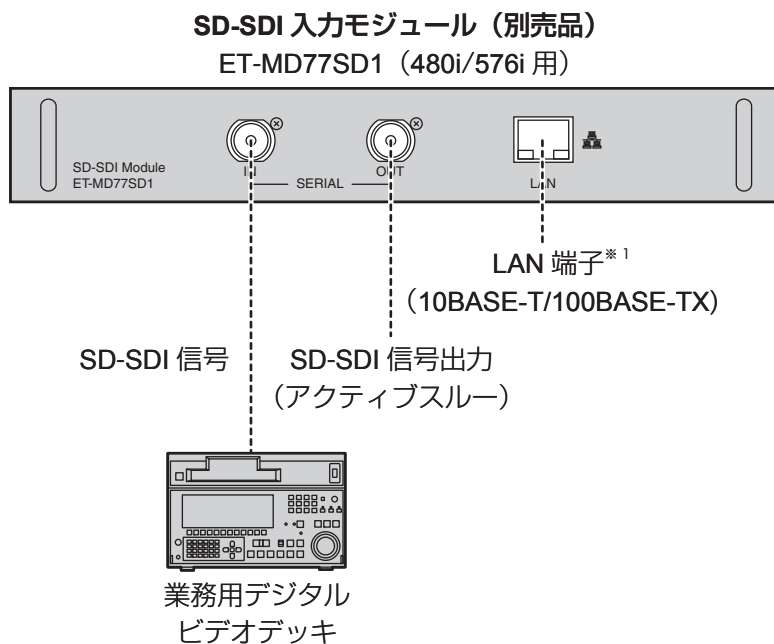
入力モジュール（別売品）の取り付け（つづき）

入力モジュールへの信号の接続

本機を設置時は、接続機器に合わせて入力モジュールへの信号の接続が必要です。
下図を参照のうえ、信号の接続を正しく行ってください。

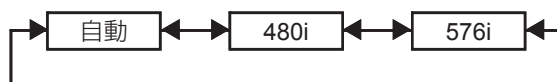


SD-SDI 入力モジュールへの信号の接続



お知らせ

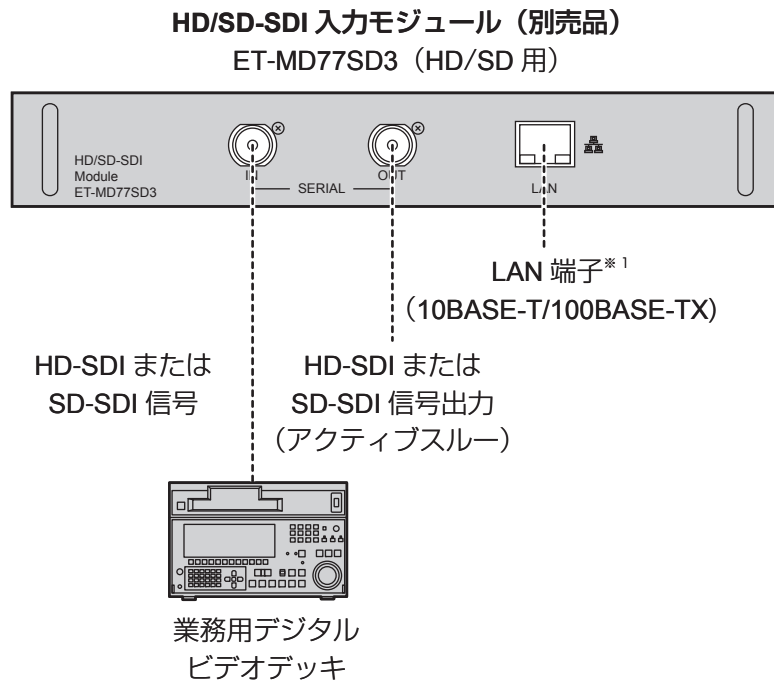
- 入力信号規格に合わせた入力モジュールを装着してください。
- 通常、システムセクターは、「自動」で使用してください。
- 不安定な信号を接続した場合は、自動判別が誤動作することがあります。
その場合は、システムセクターメニューで信号フォーマットに合った方式に切り換えてください。
- 2種類の信号規格に対応した入力モジュールの方式切り換えは、システムセクターメニューでトグル切り換えを行います。そのとき、入力信号などはオンスクリーン表示され、自動的に消えます。



※ 1: TH-D10000/TH-DW10000 では入力モジュールの LAN 端子は使用できません。本体標準装備の LAN 端子を使用してください。

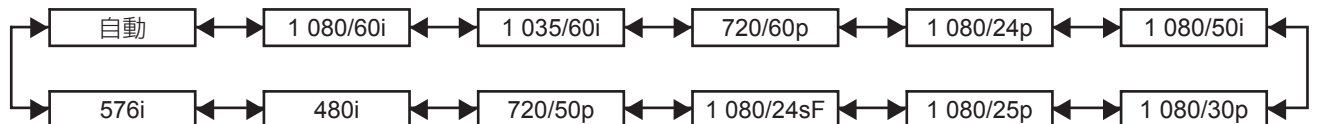
入力モジュール（別売品）の取り付け（つづき）

HD/SD-SDI 入力モジュールへの信号の接続



お知らせ

- 入力信号規格に合わせた入力モジュールを装着してください。
- 通常、システムセクターは、「自動」で使用してください。
- 9種類（15フォーマット）のHD信号規格（SMPTE292M）、および2種類のSD信号規格（SMPTE259M）に対応した入力フォーマットの方式切り換えは、システムセクターメニューでトグル切り換えが可能です。そのとき、入力信号などはオンスクリーン表示され、自動的に消えます。

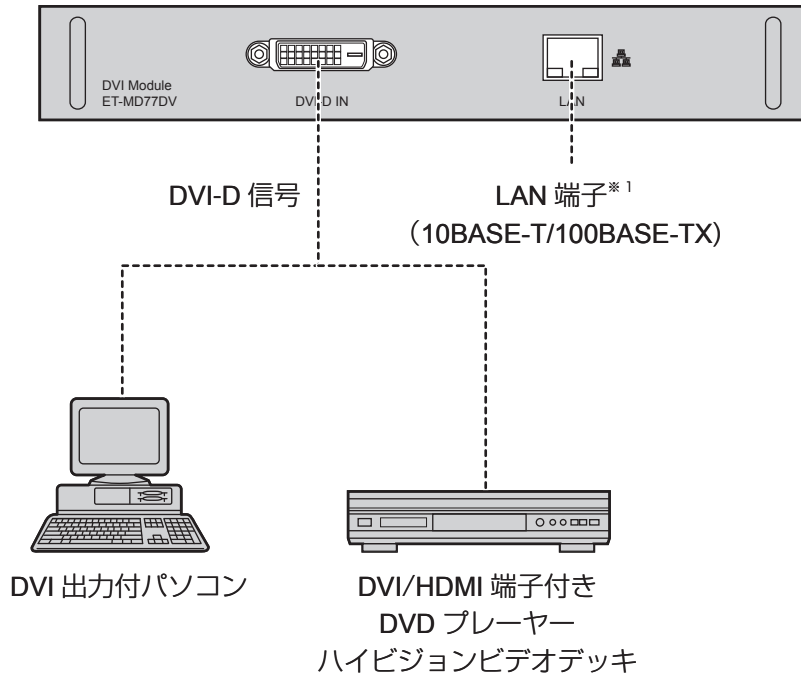


- 不安定な信号を接続した場合は、自動判別が誤動作することがあります。その場合は、システムセクターメニューで信号フォーマットに合った方式に切り換えてください。
- 接続ケーブルは、画像性能を正しく伝達するために5CFB以上のケーブルを使用してください。（例：5CFB、5CFTX、7CFB等。）

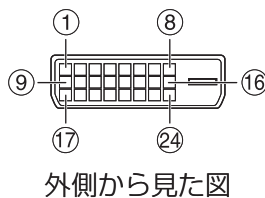
※ 1: TH-D10000/TH-DW10000 では入力モジュールのLAN端子は使用できません。本体標準装備のLAN端子を使用してください。

DVI-D 入力モジュールへの信号の接続

DVI-D 入力モジュール (別売品)
ET-MD77DV



- DVI-D 入力端子のピン配列と信号名は、右記の通りです。



ピン No.	信号	ピン No.	信号
①	T.M.D.S データ 2-	⑬	
②	T.M.D.S データ 2+	⑭	+5V
③	T.M.D.S データ 2/ 4 シールド	⑮	グランド
		⑯	ホットプラグ検出
④		⑰	T.M.D.S データ 0-
⑤		⑱	T.M.D.S データ 0+
⑥	DDC クロック	⑲	T.M.D.S データ 0/ 5 シールド
⑦	DDC データ		
⑧		⑳	
⑨	T.M.D.S データ 1-	㉑	
⑩	T.M.D.S データ 1+	㉒	T.M.D.S クロックシールド
⑪	T.M.D.S データ 1/ 3 シールド	㉓	T.M.D.S クロック +
⑫		㉔	T.M.D.S クロック -

お知らせ

- DVI-D 入力モジュールはシングルリンクのみ対応しています。
- HDMI 対応の機器を接続する場合は、HDMI-DVI-D 変換ケーブルが必要です。
- 接続する機器に合わせて、EDID 設定が必要です。(73 ページ)
- DVI-D 入力モジュールは HDMI および DVI-D 対応機器との接続ができますが、一部の機器では映像が出ないなど、正常に動作しない場合があります。

※ 1: TH-D10000/TH-DW10000 では入力モジュールの LAN 端子は使用できません。本体標準装備の LAN 端子を使用してください。

投写レンズ（別売品）の取り付け／取り外しかた

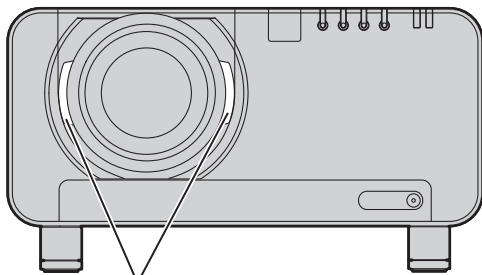
投写レンズを取り付け／取り外しする場合は、レンズのシフト位置をホームポジションに調整（39 ページ）してから行ってください。

お知らせ


- レンズを取り付ける際は本体鏡筒部の防塵スポンジを取り除いてから行ってください。（防塵スポンジは大切に保管してください。）
- レンズを外した際はほこりが本体に進入しないよう防塵スポンジを取り付けてください。

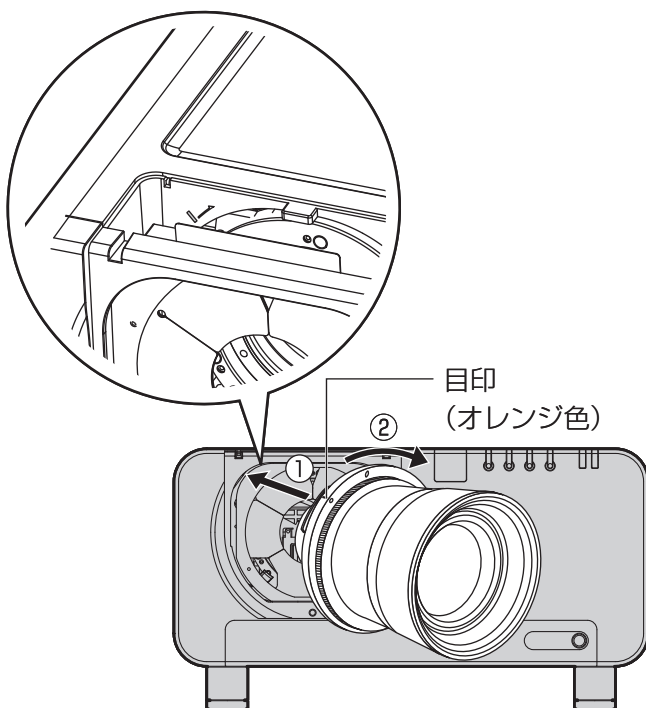
投写レンズの取り付けかた

1. 投写レンズカバーのロックボタンを押しながらカバーを手前に引いて外す

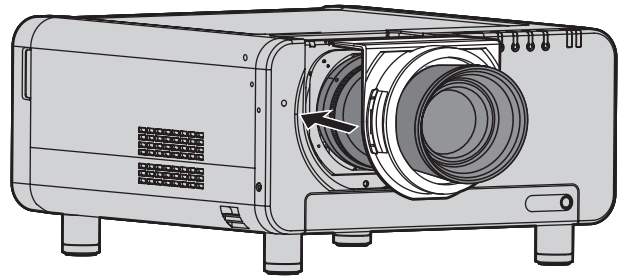


投写レンズカバーロックボタン

2. 投写レンズの目印（オレンジ色）を本体の目印（)に合わせて差し込み、「カチッ」と音がするまで時計方向に回す

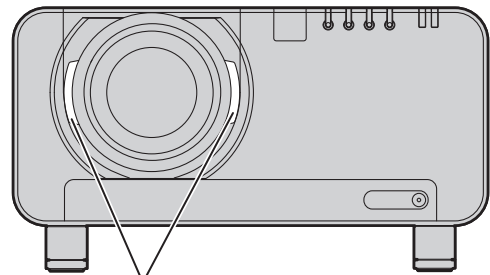


3. 投写レンズカバーを「カチッ」と音がするまで押し込む



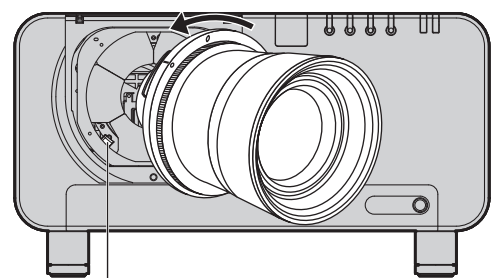
投写レンズの取り外しかた

1. 投写レンズカバーのロックボタンを押しながらカバーを手前に引いて外す



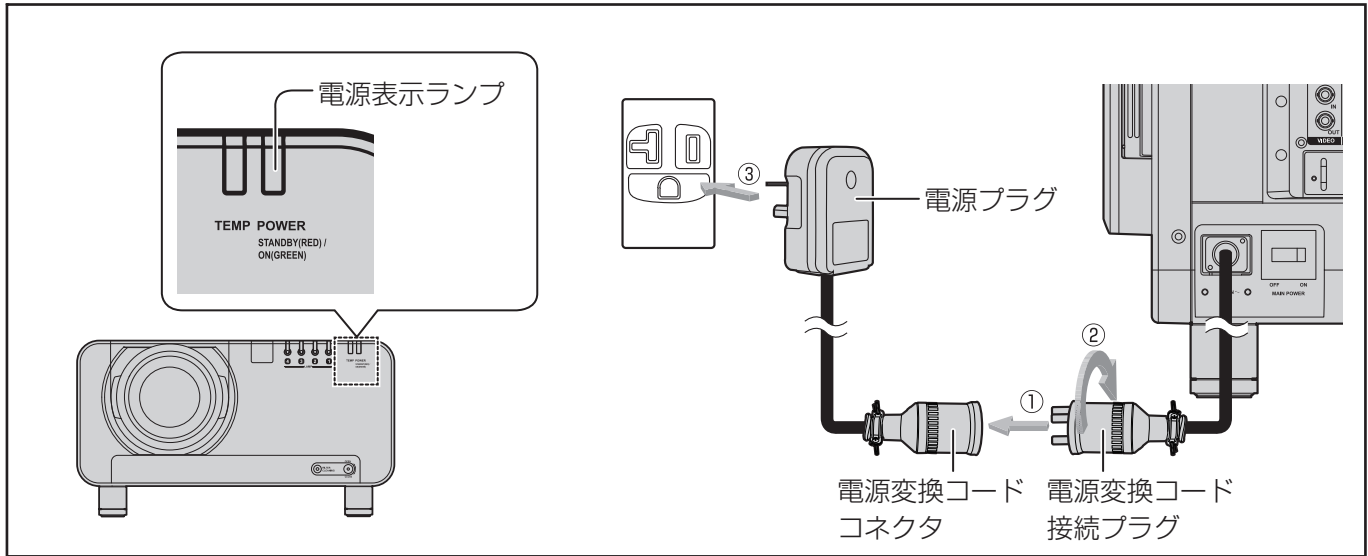
投写レンズカバーロックボタン

2. 投写レンズロックボタンを押しながら投写レンズを反時計方向に回し、抜き取る



投写レンズロックボタン

投写する



電源表示ランプについて

電源の状態を表示します。電源表示ランプの状態をよく確認し、操作してください。

点灯状況		本機の状態
消灯		主電源オフ状態
赤色	点灯	スタンバイ状態 電源入 (I) ボタンで映像を投写します
緑色	点灯	投写状態 (オン)
オレンジ色	点灯	スタンバイ準備状態 しばらくするとスタンバイ状態になります

お願い

- スタンバイ準備状態（電源表示ランプがオレンジ色に点灯）は、内部ファンが回転し、本機を冷却中です。主電源スイッチをオフにしたり電源変換コードを抜いたりしないでください。

お知らせ

- スタンバイ準備状態に、電源入 (I) ボタンを押したときは、投写状態になるまで時間がかかる場合があります。
- スタンバイ状態（電源表示ランプが赤色に点灯）でも、冷却ファンは回っており、約 25 W (AC 200 V 時は 28 W) の電力を消費しています。

電源変換コードの接続

付属の電源変換コードを使用し、根元まで確実に差し込んでください。取り扱いについて詳しくは、「安全上のご注意」(4～9 ページ) と「使用可能なコンセントの形状」(20 ページ) をご覧ください。

■ 取り付け方

- ① 電源変換コード接続プラグと電源変換コード (AC 100 V または AC 200 V) のコネクタの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと奥まで差し込む
- ② 電源変換コード接続プラグを右にカチッと音がするまで回す
 - 電源を確認し、それに対応した電源変換コードを接続してください。
- ③ 電源プラグをコンセントに差し込む

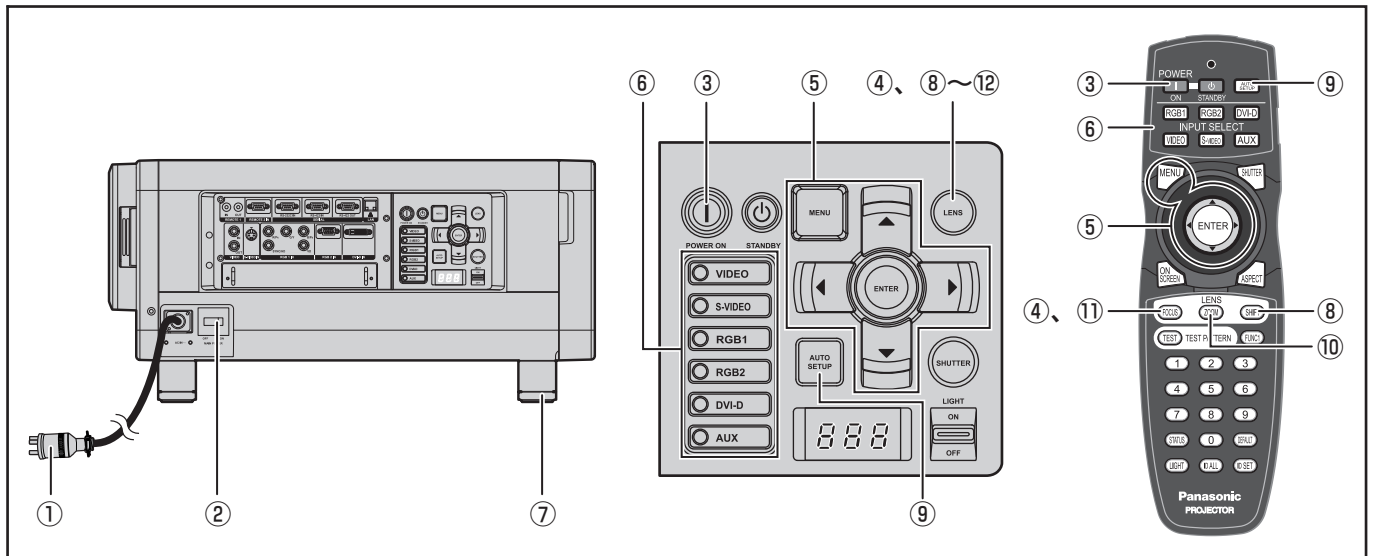
■ 取り外し方

1. 本機側面の主電源 (MAIN POWER) スイッチがオフ (OFF) になっているのを確認し、コンセントから電源プラグを抜く
2. 電源変換コード接続プラグを左に回し、電源変換コードから引き抜く

お願い

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、外部機器を接続してください。(26～27 ページ)

投写する（つづき）



電源を入れる

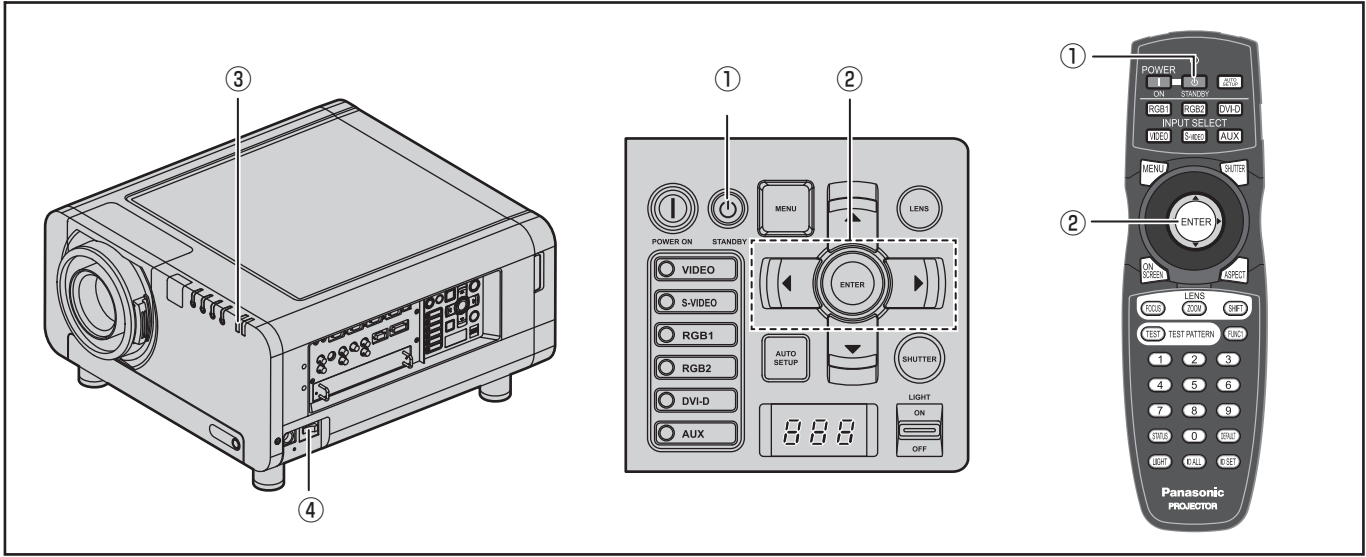
- ① 電源変換コード（付属）を接続する
(AC 100 V または AC 200 V 50 Hz/60 Hz)
 - 電源を確認し、それに対応した電源変換コードを接続してください。
- ② 主電源（MAIN POWER）スイッチの「I」側を押し電源を入れる
 - 電源表示ランプが赤色に点滅した後、点灯してスタンバイ状態になります。
- ③ 電源入 (I) ボタンを押す
 - 電源表示ランプが緑色に点灯し、しばらくすると映像が投写されます。

お知らせ

- 0℃付近での電源「入」は出画までに5分程度のウォームアップ時間が必要な場合があります。ウォームアップ中は温度モニター（TEMP）ランプが点灯します。ウォームアップが完了すると温度モニター（TEMP）ランプが消灯し、映像を投写します。
- 使用環境温度が低く、ウォームアップ時間が5分を超える場合は、異常とみなし、自動的に電源が切れます。この場合は使用環境温度を0℃以上にし、再度主電源「入」→電源「入」(I)の操作を行ってください。

調整・選択をする

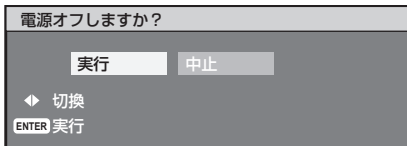
- ④ 画像のフォーカスをおおまかに合わせる（38ページ）
- ⑤ 投写方式を設定する（77ページ）
- ⑥ 入力切り換え（RGB1、RGB2、DVI-D、VIDEO、S-VIDEO、AUX）ボタンを押して入力信号を選択する（44ページ）
 - AUX ボタンは、オプション入力モジュールが装着されていないときは無効です。
- ⑦ 本体の前後左右の傾きを調整する（20ページ）
- ⑧ シフト調整をする（38ページ）
- ⑨ 入力信号がRGB信号の場合はオートセットアップ（AUTO SETUP）ボタンを押す（45ページ）
- ⑩ 画像の大きさをスクリーンに合わせる（38ページ）
- ⑪ フォーカス調整をする（38ページ）
- ⑫ 再度ズーム調整メニューを表示し、ズーム調整をして画像の大きさをスクリーンに合わせる（38ページ）



電源の切りかた

① 電源スタンバイ (⏻) ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。



② ◀▶ ボタンで「実行」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す (または電源スタンバイ (⏻) ボタンを再度押す)

- 映像の投写が停止し、本体の電源表示ランプがオレンジ色に点灯します。(冷却ファンは回転したままです。)

③ 本体の電源表示ランプが赤色に点灯 (冷却ファンが停止) するまで待つ (約 3 分)

- 冷却ファンが回転している間は絶対に主電源 (MAIN POWER) スイッチを切ったり、電源変換コードを抜いたりしないでください。

④ 主電源 (MAIN POWER) スイッチの「○」側を押して電源を切る

お知らせ

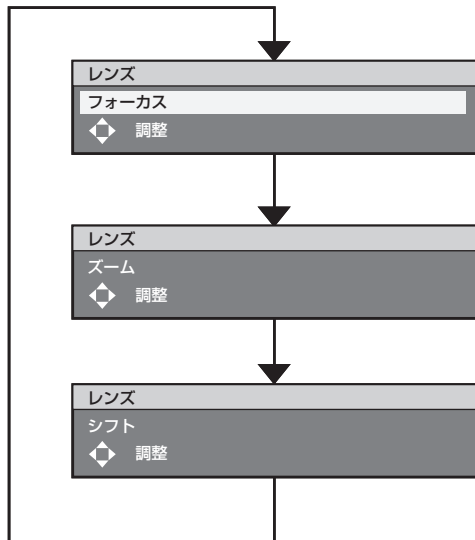
- 電源を切った後の光源ランプ冷却中に電源を入れても点灯しません。この場合は光源ランプ冷却が終了した後、再度電源を入れ直してください。
- スタンバイ状態でも約 25 W (AC 200 V 時は 28 W) の電力を消費しています。(電源表示ランプ…赤点灯)
- 使用中に間違って主電源を切った場合、電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。この場合は、しばらくたってから再度電源を入れ直してください。

ご購入後、初めて本機の電源を入れた時は必ず日付と時刻設定を行ってください。詳しくは、82 ページの「日付と時刻設定」をご覧ください。

レンズ調整のしかた

フォーカス調整、ズーム調整、シフト調整のしかた

本機とスクリーンの位置関係が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像のフォーカス、ズーム、位置がずれている場合は、フォーカス調整、ズーム調整、上下左右に投写位置を移動させる調整ができます。



■ 本体での操作の場合

1. 本体操作部のレンズ (LENS) ボタンを押す
 - ボタンを押すごとに「フォーカス」「ズーム」「シフト」の順に設定画面が切り換わります。
2. それぞれの調整項目を選び、▲▼◀▶ボタンで調整する

■ リモコンでの操作の場合

1. リモコンのレンズ (LENS) ボタンを押す
 - フォーカス (FOCUS) ボタンを押す：フォーカス調整をします。
 - ズーム (ZOOM) ボタンを押す：ズーム調整をします。
 - シフト (SHIFT) ボタンを押す：シフト調整をします。
2. それぞれの調整項目を選び、▲▼◀▶ボタンで調整する

⚠ 注意



挟まれ注意

レンズシフト動作中は、周辺の開口部に手を挟まれないよう注意する

お知らせ

- (フォーカスがずれて文字が判別できない状態でも) 表示されている調整メニューが色で判別できるように、「フォーカス」のみ黄色の背景色で表示されます。
- ズーム調整メニューは、ズーム機能付きのレンズを使用しているときのみ表示されます。

レンズ位置移動による（光学シフト）調整範囲

レンズ位置の移動は調整範囲内で行ってください。調整範囲外へレンズ位置を移動すると、フォーカスが変化する場合があるのでご注意ください。これは光学部品の保護のためにレンズの移動を規制しているためです。

光軸シフト機能により、標準投写位置を基準に下図の範囲で投写位置を調整できます。

投写レンズ品番	TH-D10000	TH-DW10000
ズームレンズ ET-D75LE6		
ET-D75LE1 ET-D75LE2 ET-D75LE3 ET-D75LE4 ET-D75LE8		

お知らせ

- ET-D75LE5は固定焦点のため、シフト調整できません。

レンズ位置のホームポジションへの移動のしかた

- 本体操作部のレンズ（LENS）ボタンまたはリモコンのシフト（SHIFT）ボタンを3秒以上押す



- 上記メニューが表示されている間に（約5秒）エンター（ENTER）ボタンを押す
 - メニューに「実行中」と表示され、レンズ位置がホームポジションに戻ります。

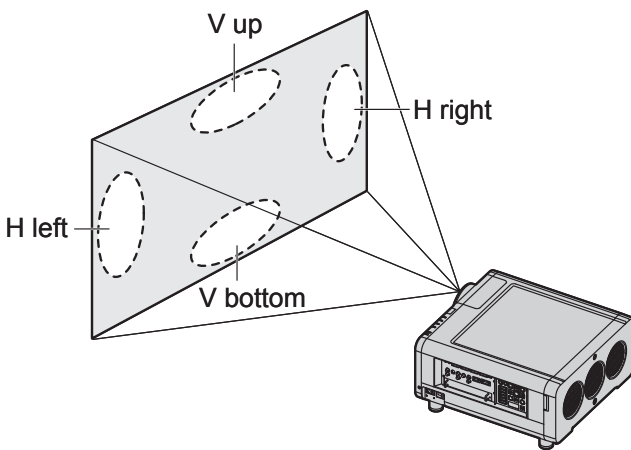
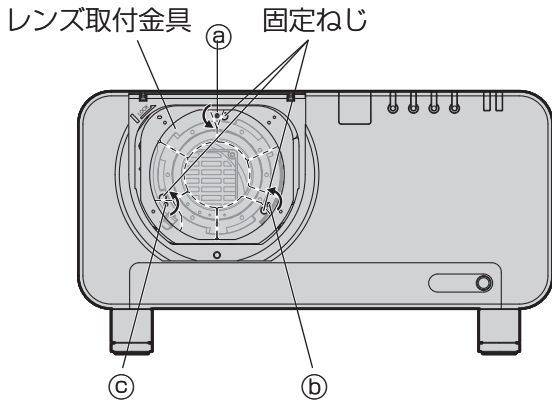
お知らせ

- レンズのホームポジションは、レンズ交換やセット収納のためのレンズ位置で、光学的な画面中央位置ではありません。

レンズ調整のしかた (つづき)

フォーカスアンバランス時のレンズ調整のしかた

スクリーン上のフォーカスが場所によって合っていない(スクリーン奥に存在する)場合、調整ねじを回転させてレンズの傾きを調整することにより、フォーカスのバランスを合わせてください。



1. 投写レンズカバーとレンズを取り外す
(34 ページ)
2. レンズ取付金具の固定ねじ (3 本) を 2 回転程度ゆるめる
※ 使用工具：
六角ドライバーまたは六角レンチ
(対角 2.5 mm)
3. 取り外したレンズを取り付ける
4. フォーカスアンバランス調整ねじ
①、②、③を左へ回転させて、レンズの傾きを調整する

• 調整ねじ①、②、③はレンズ装着状態で調整します。

※ 使用工具：
六角ドライバーまたは六角レンチ
(対角 2.5 mm)

() は天つりの場合です

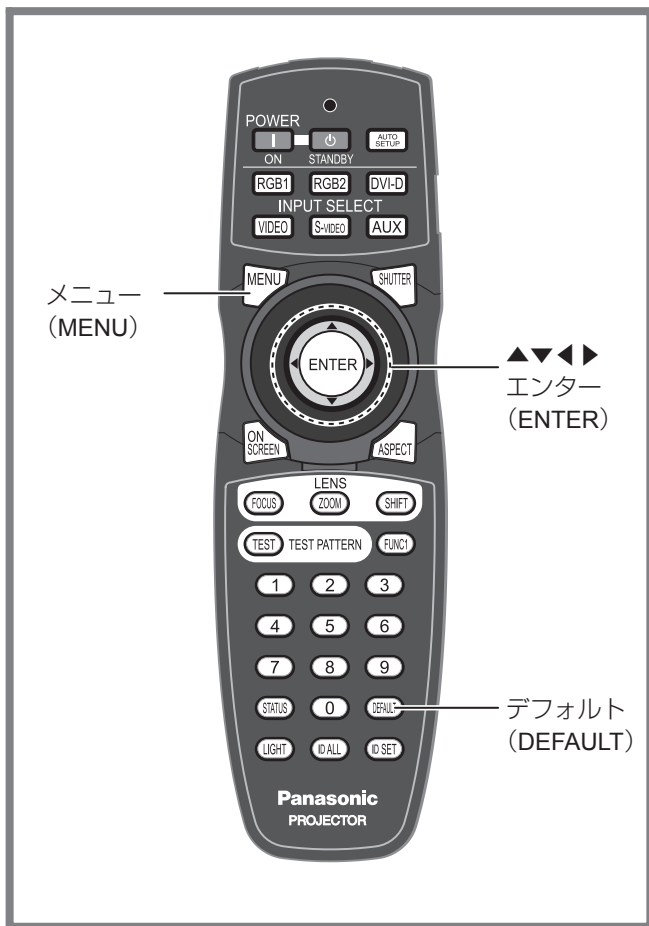
	V up が 合っていない場合	V bottom が 合っていない場合	H right が 合っていない場合	H left が 合っていない場合
①	—— (左回転)	左回転 (——)	—— (——)	—— (——)
②	左回転 (——)	—— (左回転)	左回転 (——)	—— (左回転)
③	左回転 (——)	—— (左回転)	—— (左回転)	左回転 (——)

(例) スクリーン上側 (V up) のフォーカスが合っていない(スクリーン奥に存在する) 場合：
スクリーン上下のバランスを確認しながら、フォーカスアンバランス調整ねじ①、③を少しずつ左回転させます。

お願い

- プロジェクターを移動するときには、レンズ位置をホームポジションに戻し (39 ページ)、固定ネジ (3 本) をしめて、レンズ取付金具を固定してください。

入力信号データの登録



新規登録

新規信号が入力され、リモコンまたは本体操作部のメニュー (MENU) ボタンを押すと登録が完了し、「メインメニュー」画面が表示されます。

お知らせ

- 登録できる入力信号数は 96 個です。
- 取り付けした入力モジュールに対応した信号を入力して登録します。
- メモリー番号は 12 ページ (A ~ L 各 8 メモリー、1 ページに 8 メモリーが可能) あり、空いているメモリーの中で若い番号に登録されます。メモリーの空きがない場合は古い信号から順番に上書きされます。
- 登録の名前は入力信号とメモリー番号により自動で決定されます。
- メニューが表示されている場合は、新規信号が入力された時点で登録が完了します。

登録信号の名前の変更

1. ▲▼◀▶ボタンで詳細を表示したい信号を選択する

登録信号一覧		
A1:SVGA72-A1	RGB 1	---
A2:SVGA72-A2	RGB 1	---
A3:SVGA72-A3	RGB 1	---
A4:SVGA72-A4	RGB 1	---
A5:SVGA72-A5	RGB 1	---
A6:SVGA72-A6	RGB 1	---
A7:SVGA72-A7	RGB 1	---
A8:SVGA72-A8	RGB 1	---

◆ 選択

ENTER 詳細 DEFAULT 削除

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「登録信号詳細」画面を表示します。

登録信号詳細	
名前	SVGA72-A2
メモリー番号	A2
入力	RGB 1
fH	48.08kHz
fV	72.17Hz
同期極性	水平 (正)
	垂直 (正)

ENTER 登録信号名変更

- 入力信号の名前、メモリー番号、入力端子、周波数、同期信号などを自動判別し、表示します。
- メニュー (MENU) ボタンを押すと「登録信号一覧」画面に戻ります。

本機は工場出荷時は入力信号データの登録はされていませんので、必ず登録が必要です。



「メインメニュー」画面を表示する



「登録信号一覧」を選択する

「登録信号一覧」画面を表示する

- メモリーは 12 ページ (A ~ L 各 1 ~ 8 の 96 メモリー) あります。

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語 (LANGUAGE)	
オプション1	
オプション2	
テストパターン	
登録信号一覧	
ネットワーク	
セキュリティ	

◆ 項目選択

ENTER サブメニュー

入力信号データの登録（つづき）

3. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 「登録信号名変更」画面を表示します。

4. ▲▼◀▶ボタンで1文字ずつ選び、エンター（ENTER）ボタンで文字や数字を設定する



5. 名前の変更が完了すれば、▲▼◀▶ボタンで「OK」を選択し、エンター（ENTER）ボタンを押す

- 登録が完了し「登録信号詳細」画面に戻ります。
- ▲▼◀▶ボタンで「CANCEL」を選択し、エンター（ENTER）ボタンを押すと変更した信号名は登録されず、自動表示された信号名のままになります。

登録した信号を消去する

1. ▲▼◀▶ボタンで消去する信号を選択する



2. デフォルト（DEFAULT）ボタンを押す

- 「登録信号削除」画面を表示します。
- 消去しない場合はメニュー（MENU）ボタンを押すと「登録信号一覧」画面に戻ります。



3. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 選択した信号が消去されます。

サブメモリーについて

本機は同期信号源の周波数や形態により同一信号と判断した場合でも画像調整データを複数登録できるサブメモリー機能を持っています。

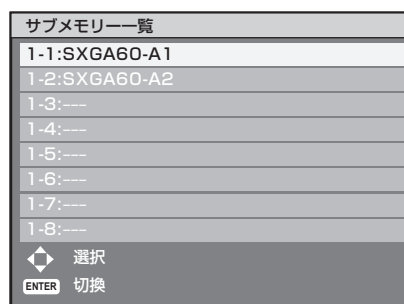
同一信号源によるアスペクト切り換えやホワイトバランス等、画質調整が必要な場合にご使用ください。サブメモリーには画面アスペクト比、映像調整データ（ピクチャー、黒レベル等）など各信号ごとに調整できるデータすべてを含みます。

■ サブメモリーへの登録方法

新規信号ではサブメモリーを登録できません。必ず信号登録をしてください。

1. 通常画面（メニューが表示されていない状態）において◀▶ボタンを押す

- サブメモリーが登録されていない場合は「サブメモリー登録確認」画面を表示します。
- 現在入力している信号に対して登録されているサブメモリーの一覧が表示されます。
- 「オプション2」の「FUNC1」メニューで「サブメモリー」を選択すると、◀▶ボタンのかわりにファンクション1（FUNC1）ボタンを使用することができます。（74 ページ）



2. 「サブメモリー一覧」において▲▼◀▶ボタンで登録するサブメモリー番号を選択する

3. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「登録信号名変更画面」を表示します。

サブメモリー登録しますか？	
名前	SXGA60-A1
メモリー番号	--
入力	RGB1
fH	64.00kHz
fV	60.00Hz
同期極性	水平 (正)
	垂直 (正)
ENTER 登録	

4. エンター (ENTER) ボタンを押す

お知らせ

- 登録信号の名前を変更する場合は、42 ページの手順 4 ~ 5 を行ってください。

■ サブメモリーへの切り換え方法

1. 通常画面 (メニューが表示されていない状態) において◀▶ボタンを押す

- 現在入力している信号に対して登録されているサブメモリーの一覧が表示されます。

2. 「サブメモリー一覧」において▲▼◀▶ボタンで切り換える信号を選択する

3. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 手順 2 で選択した信号に切り換わります。

■ サブメモリーの削除方法

「登録信号一覧」画面でデフォルト (DEFAULT) ボタンを押すことにより、現在選択されているサブメモリーを削除します。

■ オンスクリーン表示

① 入力切り換え / 信号切り換え

信号切り換え時のステータス画面に登録信号名を表示します。

入力	RGB1
名前	RGB
メモリー番号	A1 (1-2)

② 登録信号詳細

登録信号詳細	
名前	SXGA60-A1
メモリー番号	A5 (1-2)
入力	RGB1
fH	63.98kHz
fV	60.02Hz
同期極性	水平 (正)
	垂直 (正)
ENTER 登録信号名変更	

- 名前は、サブメモリーごとに設定可能です。
- メモリー番号 :A1(1-2)

↑ ↑
サブメモリー番号

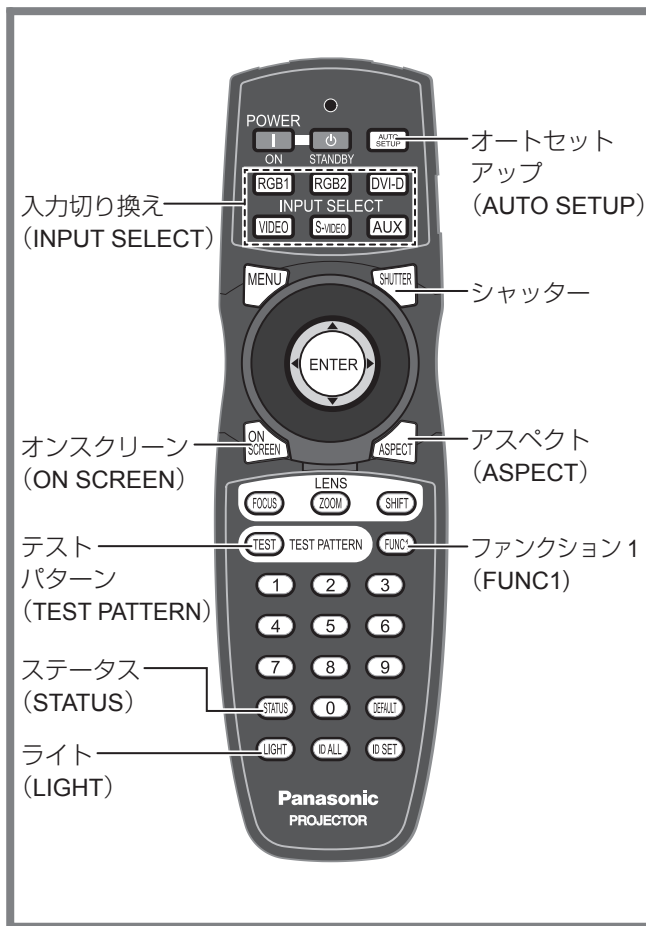
アドレス番号 (A1、A2、…H7、H8) :
信号が登録されている場所

お知らせ

制限事項

- 本機に対して登録できるサブメモリーは基本信号を含めて 96 個までです。

リモコンでの簡単操作



入力を切り換える

投写する入力を切り換えることができます。

1. リモコンまたは本体操作部の入力切り換え (INPUT SELECT) ボタンを押す

- **RGB1 ボタン:**
RGB1 に入力切り換えができます。
- **RGB2 ボタン:**
RGB2 に入力切り換えができます。
- **DVI-D ボタン:**
DVI-D に入力切り換えができます。
- **ビデオ (VIDEO) ボタン:**
ビデオに入力切り換えができます。
- **S ビデオ (S-VIDEO) ボタン:**
S ビデオに入力切り換えができます。
- **AUX ボタン:**
オプション入力モジュールに入力切り換えができます。
(オプション入力モジュールが装着されていない場合は無効です)

シャッター (SHUTTER) 機能を使う

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像を一時的に消すことができるシャッターモードにすることができます。

1. リモコンまたは本体操作部のシャッター (SHUTTER) ボタンを押す
 - 映像が消えます。
2. 再度シャッター (SHUTTER) ボタンを押す
 - 映像が出ます。

オンスクリーン表示機能

オンスクリーン表示機能を「入」「切」します。

1. リモコンのオンスクリーン (ON SCREEN) ボタンを押す

お知らせ

- 入力端子については、「接続する」をご覧ください。(26、27 ページ)

ステータス機能

本体の状態を表示します。また、本体の状態を E メールで送信することができます。

1. リモコンのステータス (STATUS) ボタンを押す

ステータス	
入力	: RGB1
	: 0.00kHz/ 0.00Hz
プロジェクター	: 13h
ランプ1	: 9h/オフ/
ランプ2	: 10h/オフ/
ランプ3	: 9h/オフ/
ランプ4	: 9h/オン/
温度	: IN- 27 / OUT- 32 /OPT- 36
メイン	: 0.55
ネットワーク	: 0.09
REMOTE2	: 無効
ENTER Eメール送信	

お知らせ

- 詳しくは「ネットワーク機能の使い方」をご覧ください。(84 ~ 97 ページ)

オートセットアップ (AUTO SETUP) 機能について

オートセットアップ (AUTO SETUP) 機能は、コンピュータ信号のようなドット構成されたアナログ RGB 信号入力時の解像度、クロックフェーズ、映像位置もしくは DVI-D 信号入力時の映像位置を自動で調整するものです。(動画入力では自動調整はできません)

自動調整時は、最外郭が明るい白枠で、白黒がはっきりしたキャラクター文字などを含む画像を入力することをおすすめします。写真や CG のような中間調を含む画像は適しません。

1. リモコンまたは本体操作部のオートセットアップ (AUTO SETUP) ボタンを押す

- 正常に終了した場合は「自動調整成功」と表示されます。

お知らせ

- 正常終了した場合でも「クロックフェーズ」がずれることがあります。このときは「クロックフェーズ」を手動で調整してください。
- 画面の端がわからないような画像や暗い画像を入力すると、「自動調整失敗」と表示され自動調整できません。このときは「入力解像度」「クロックフェーズ」「シフト」の項目を手動で調整してください。
- 特殊な信号や 16:9 などの横長の信号は、オプションメニューの中の「自動調整」に従って調整してください。
- パソコンの機種によっては自動調整できない場合があります。
- コンポジットシンクや G-SYNC の同期信号では自動調整できない場合があります。
- 自動調整中、数秒間画像が乱れる場合がありますが異常ではありません。
- 入力信号ごとに調整が必要です。
- 自動調整中にメニュー (MENU) ボタンを押すと、自動調整を取り消すことができます。

ボタン照明を点灯させる

リモコンのボタン照明を点灯できます。

1. ライト (LIGHT) ボタンを押す

お知らせ

- 約 10 秒間操作しなければ、ボタン照明は自動的に消灯します。

ファンクション 1 (FUNC1) ボタンを使う

リモコンのファンクション 1 (FUNC1) ボタンに「P IN P」(73 ~ 74 ページ)、「サブメモリー」(42 ページ)または「システムセクター」(55 ページ)を割り当てることで、簡単なショートカットボタンとして使用できます。

お知らせ

- 詳しくは「FUNC1 の設定」をご覧ください。(74 ページ)

内蔵テストパターンを表示する

セットの状態を確認するためのテストパターンを 8 種類内蔵しています。

テストパターンを表示させる場合は次の手順で操作してください。

1. テストパターン (TEST PATTERN) ボタンを押す

2. ◀▶ ボタンで「テストパターン」を選択する

お知らせ

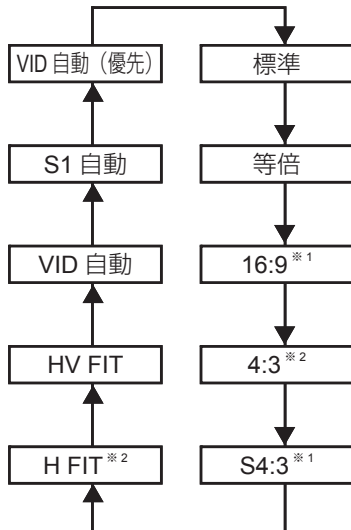
- オンスクリーンメニューでも設定できます。詳しくは「内蔵テストパターンを表示」をご覧ください。(83 ページ)
- 位置、サイズなどの調整内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種設定を行ってください。

映像の縦横比（アスペクト比）を切り換える

入力に応じた映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えることができます。

1. アスペクト（ASPECT）ボタンを押す

- 押すごとに下記のように切り換わります。



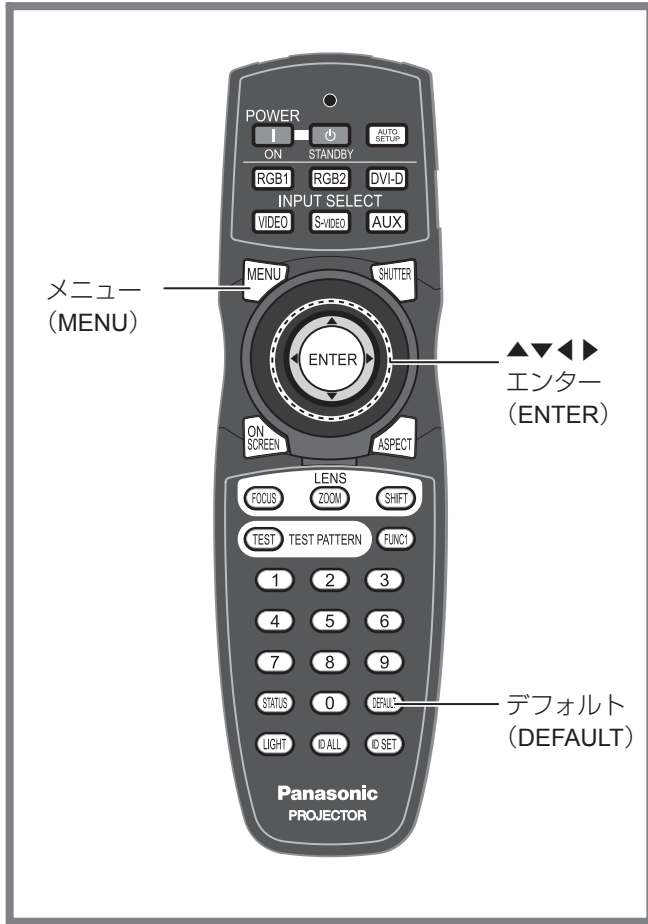
※ 1: TH-D10000 のみ

※ 2: TH-DW10000 のみ

お知らせ

- 入力信号によっては、選択できないアスペクトモードがあります。詳しくは「アスペクト調整」をご覧ください。（58 ページ）

オンスクリーンメニューについて



メインメニュー

メインメニューには、以下の 10 個の項目があります。メインメニューを選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

アイコン	メインメニュー項目
	映像
	位置調整
	アドバンスドメニュー
	表示言語 (LANGUAGE)
	オプション 1
	オプション 2
	テストパターン
	登録信号一覧
	ネットワーク
	セキュリティ

サブメニュー

選択したメインメニューのサブメニューが表示され、各項目の設定・調整ができます。

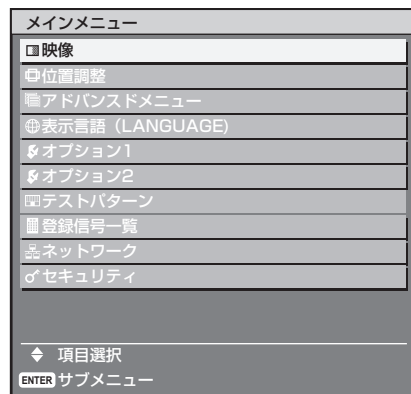
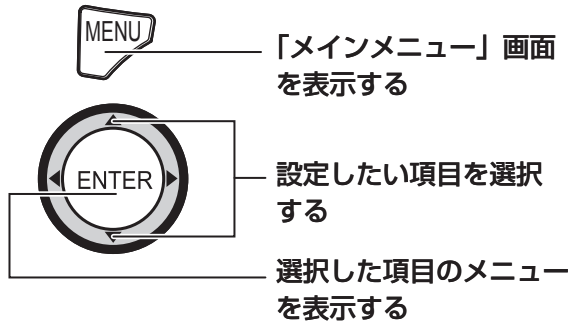
■ 映像 (50 ~ 56 ページ)

サブメニュー項目
映像モード
ピクチャー
黒レベル
色の濃さ
色あい
色温度設定
ガンマ選択
シャープネス
ノイズリダクション
ダイナミックアイリス
システムセクター

お知らせ

- 映像メニューによって工場出荷時の値が異なる場合があります。

本機では、各種設定や調整および変更はメニュー操作によって実行されます。



- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色文字で表示され、項目は選択できません。

オンスクリーンメニューについて (つづき)

■ 位置調整 (☞ 57 ~ 60 ページ)

サブメニュー項目
シフト
アスペクト
ズーム
クロックフェーズ
台形補正

■ アドバンスドメニュー (☞ 61 ~ 66 ページ)

サブメニュー項目
デジタルシネマリアリティ
ブランキング
入力解像度
クランプ位置
エッジレンディング
フレーム遅延
ラスター位置

■ 表示言語 (LANGUAGE) (☞ 67 ページ)

サブメニュー項目
ENGLISH
DEUTSCH
FRANÇAIS
ESPAÑOL
ITALIANO
日本語
中文
русский
한국어

■ オプション 1 (☞ 68 ~ 75 ページ)

サブメニュー項目
カラーマッチング
大画面色補正
入力自動セットアップ
自動調整
バックカラー
DVI EDID
AUX DVI EDID
P IN P
FUNC1
オンスクリーン位置
OSD メモリー

■ オプション 2 (☞ 76 ~ 82 ページ)

サブメニュー項目
プロジェクター ID
設置設定
ファン制御
設置角度
出力解像度 (TH-D10000 のみ)
ランプ選択
ランプリレー
RS-232C
システム情報
エアーフィルター清掃
日付と時刻
スタートアップ ログ
パスワード入力

■ テストパターン (☞ 83 ページ)

■ 登録信号一覧 (☞ 41 ~ 43 ページ)

■ ネットワーク (☞ 84 ~ 85 ページ)

サブメニュー項目
ホストネーム
DHCP
IP アドレス
ポート
サブネットマスク
ゲートウェイ
ステータス
保存

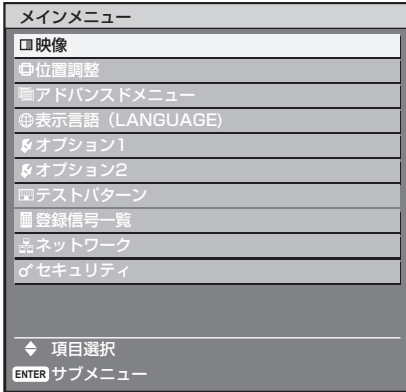
■ セキュリティ (☞ 99 ~ 101 ページ)

サブメニュー項目
パスワード入力
パスワード変更
表示設定
テキスト変更

メニュー画面の操作方法

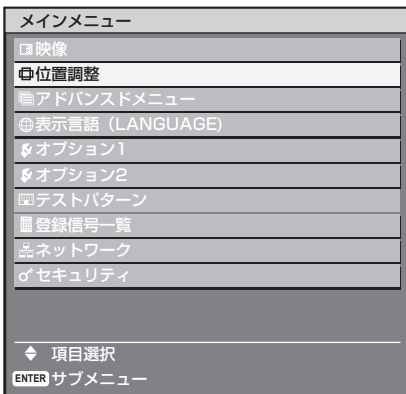
1. メニュー (MENU) ボタンを押す

- メインメニュー画面を表示します。



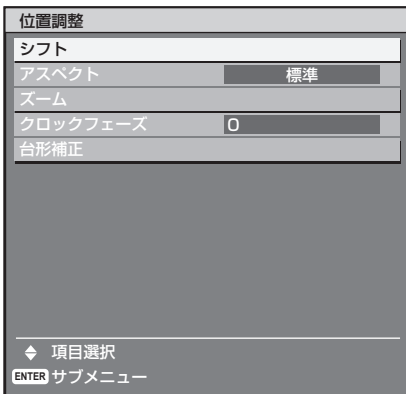
2. ▲▼ボタンを押して項目を選択する

- 選択中の項目は黄色で表示します。



3. エンター (ENTER) ボタンを押して決定する

- 選択したメニュー画面の詳細が表示されます。



4. ▲▼ボタンを押して項目を選択し、◀▶ボタンを押して設定の切り換えや調整をする

- 項目によって◀▶ボタンを押すと下図のようなバースケールの個別調整画面が表示されます。



- 個別調整画面表示中、約 5 秒間ボタン操作をしないと、前の画面に戻ります。

■ 前の画面に戻すには

- メニュー画面が表示されている状態のときにメニュー (MENU) ボタンを押すと前の画面に戻ります。
- メインメニュー画面が表示されている状態のときにメニュー (MENU) ボタンを押すとメニュー画面が消えます。

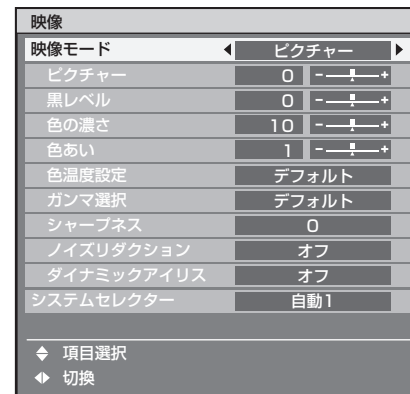
■ メニュー画面の表示について

- 選択された項目によりメニューの最下部の表示が異なります。
- 設定の切り換え時は「◀▶切換」と表示されます。
- バースケール (調整) 項目は「◀▶調整」と表示されます。
- メニュー画面で調整 (項目) の続きがある場合は、画面右上にページ番号が表示されます。

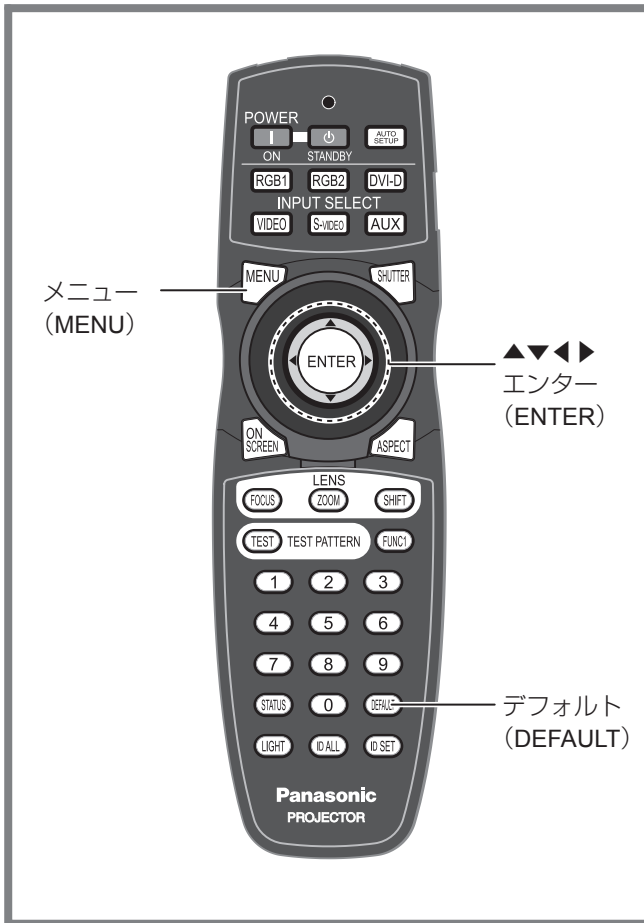
調整値を工場出荷状態に戻す

調整項目を選び、デフォルト (DEFAULT) ボタンを押すと、調整値が工場出荷状態に戻ります。

1. デフォルト (DEFAULT) ボタンを押す



映像の調整



映像モードの切り換え

映像ソースや本機を使用する環境に適した見やすい映像に切り換えることができます。

1. ▲▼ボタンで「映像モード」を選択する

映像	
映像モード	◀ ナチュラル ▶
ピクチャー	0 - - - - +
黒レベル	0 - - - - +
色の濃さ	10 - - - - +
色あい	1 - - - - +
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	デフォルト
シャープネス	0
ノイズリダクション	オフ
ダイナミックアイリス	オフ
システムセレクター	自動1
◆ 項目選択	
◆ 切換 ENTER 登録	

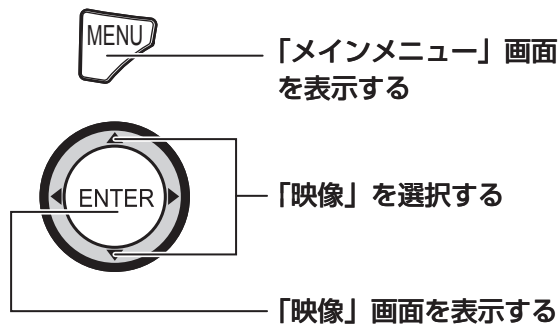
2. ◀▶ボタンで「映像モード」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **標準：**
動画系全般に適した画像になります。
- **シネマ：**
映画ソースに適した画像になります。
- **ナチュラル：**
sRGB に準拠した画像になります。
- **ダイナミック：**
明るい場所で使用する場合に適した画像になります。
- **グラフィック：**
パソコン入力に適した画像になります。
- **ユーザー：**
色温度設定、ガンマ選択を調整することができます。

お好みの映像調整ができます。



メインメニュー	
□	映像
⊕	位置調整
⊖	アドバンスドメニュー
Ⓜ	表示言語 (LANGUAGE)
Ⓜ	オプション1
Ⓜ	オプション2
Ⓜ	テストパターン
Ⓜ	登録信号一覧
Ⓜ	ネットワーク
Ⓜ	セキュリティ
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。

お知らせ

- 工場出荷モードは、RGB系では「グラフィック」、動画系では「標準」です。
- 「映像モード」を選択した状態でエンター (ENTER) ボタンを押すと、新規信号入力時の既定値として保存することができます。保存されるデータは映像メニュー内のシステムセレクターを除くすべての項目です。

ピクチャー

色の明暗度を調整します。

1. ▲▼ボタンで「ピクチャー」を選択する

映像	
映像モード	ナチュラル
ピクチャー	0
黒レベル	0
色の濃さ	10
色あい	1
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	デフォルト
シャープネス	0
ノイズリダクション	オフ
ダイナミックアイリス	オフ
システムセレクター	自動1

◆ 項目選択
◆ 調整

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

• 「ピクチャー」個別調整画面を表示します。

ピクチャー	
0	調整

3. ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	画面が明るく映像が濃くなります	最大値 31
◀ボタンを押す	画面が暗く映像が薄くなります	最小値 -31

お願い

• 黒レベルを調整する必要がある場合には、黒レベルを先に調整してください。

黒レベル

画面の暗い部分（黒色）を調整します。

1. ▲▼ボタンで「黒レベル」を選択する

映像	
映像モード	ナチュラル
ピクチャー	0
黒レベル	0
色の濃さ	10
色あい	1
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	デフォルト
シャープネス	0
ノイズリダクション	オフ
ダイナミックアイリス	オフ
システムセレクター	自動1

◆ 項目選択
◆ 調整

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

• 「黒レベル」個別調整画面を表示します。

黒レベル	
0	調整

3. ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が明るくなります	最大値 31
◀ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が暗くなります	最小値 -31

色の濃さ

色の濃さを調整します。

1. ▲▼ボタンで「色の濃さ」を選択する

映像	
映像モード	ナチュラル
ピクチャー	0
黒レベル	0
色の濃さ	10
色あい	1
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	デフォルト
シャープネス	0
ノイズリダクション	オフ
ダイナミックアイリス	オフ
システムセレクター	自動1

◆ 項目選択
◆ 調整

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

• 「色の濃さ」個別調整画面を表示します。

色の濃さ	
10	調整

3. ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	色が濃くなります	最大値 50
◀ボタンを押す	色が薄くなります	最小値 -50

映像の調整 (つづき)

色あい

肌色の部分を調整します。

1. ▲▼ボタンで「色あい」を選択する

映像	
映像モード	ナチュラル
ピクチャー	0
黒レベル	0
色の濃さ	10
色あい	1
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	デフォルト
シャープネス	0
ノイズリダクション	オフ
ダイナミックアイリス	オフ
システムセレクター	自動1
◆ 項目選択	
◆ 調整	

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「色あい」個別調整画面を表示します。



3. ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	色あいが変化し肌色が赤紫色がかります	最大値 31
◀ボタンを押す	色あいが変化し肌色が緑色がかります	最小値 -31

色温度設定

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に調整します。

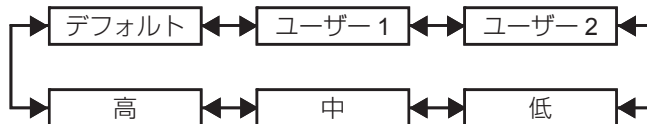
- 調整したい信号を投写した状態で行ってください。

1. ▲▼ボタンで「色温度設定」を選択する

映像	
映像モード	ナチュラル
ピクチャー	0
黒レベル	0
色の濃さ	10
色あい	1
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	デフォルト
シャープネス	0
ノイズリダクション	オフ
ダイナミックアイリス	オフ
システムセレクター	自動1
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「色温度設定」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- カラーマッチングの調整が「オフ」以外に設定されている場合、色温度設定は「ユーザー1」固定になります。
- 映像モードが「ユーザー」に設定されている場合、「デフォルト」は選択できません。

■ さらに好みのホワイトバランスに調整する場合

3. 手順2で「ユーザー1」または「ユーザー2」を選択する

4. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「ホワイトバランス」画面を表示します。

ホワイトバランス	
ホワイトバランス 高	
ホワイトバランス 低	
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

5. ▲▼ボタンで「ホワイトバランス 高」または「ホワイトバランス 低」を選択する

6. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「ホワイトバランス 高 (または低)」画面を表示します。

ホワイトバランス 高	
R	255
G	255
B	255
◆ 項目選択	
◆ 調整	

7. ▲▼ボタンで「R (赤)」「G (緑)」「B (青)」を選択する

8. ◀▶ボタンでレベルを調整する

調整項目	操作	変化内容	調整範囲
R (赤)	▶ボタンを押す	赤色が強くなります	最大値 高：255 低：127
	◀ボタンを押す	赤色が弱くなります	
G (緑)	▶ボタンを押す	緑色が強くなります	最小値 高：0 低：-127
	◀ボタンを押す	緑色が弱くなります	
B (青)	▶ボタンを押す	緑色が強くなります	出荷設定値 高：255 低：0
	◀ボタンを押す	青色が弱くなります	

お知らせ

- 正しく調整しないと、すべての色が正常に出なくなります。調整があわなくなった場合は、デフォルト (DEFAULT) ボタンを押すと、選択中の項目のみ工場出荷時の標準値に戻せます。
- 内蔵テストパターン (83 ページ) では色温度調整はできません。必ず入力信号を投写させた状態で色温度調整を行ってください。

ガンマ選択

ガンマモードの切り換えをします。

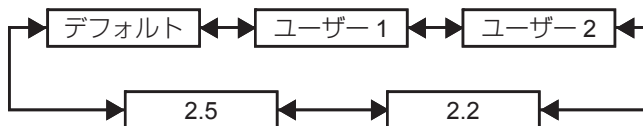
1. ▲▼ボタンで「ガンマ選択」を選択する

映像	
映像モード	ナチュラル
ピクチャー	0
黒レベル	0
色の濃さ	10
色あい	1
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	◀ デフォルト ▶
シャープネス	0
ノイズリダクション	オフ
ダイナミックアイリス	オフ
システムセレクター	自動1

◆ 項目選択
◆ 切換

2. ◀▶ボタンで「ガンマ選択」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



お知らせ

- 「ユーザー1」「ユーザー2」の設定には別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。
- 映像モードが「ユーザー」のとき、「デフォルト」は選択できません。

シャープネス

映像のシャープ感を調整します。

1. ▲▼ボタンで「シャープネス」を選択する

映像	
映像モード	ナチュラル
ピクチャー	0
黒レベル	0
色の濃さ	10
色あい	1
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	デフォルト
シャープネス	0
ノイズリダクション	オフ
ダイナミックアイリス	オフ
システムセレクター	自動1

◆ 項目選択
◆ 切換

2. ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	輪郭がシャープになります	0 ~ 15
◀ボタンを押す	輪郭がやわらかくなります	

お知らせ

- 設定可能範囲は入力信号によって異なります。

ノイズリダクション

入力された信号が劣化しているため、映像にノイズが発生している場合に切り換えます。

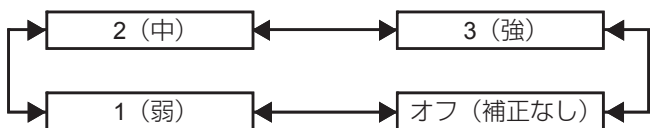
1. ▲▼ボタンで「ノイズリダクション」を選択する

映像	
映像モード	ナチュラル
ピクチャー	0 ←→→→+
黒レベル	0 ←→→→+
色の濃さ	10 ←→→→+
色あい	1 ←→→→+
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	デフォルト
シャープネス	0
ノイズリダクション	オフ ▶
ダイナミックアイリス	オフ
システムセレクター	自動1

◆ 項目選択
◆ 切換

2. ◀▶ボタンで「ノイズリダクション」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



ダイナミックアイリス

映像に合わせて自動的に絞り補正と信号補正を行うことで、最適なコントラストの画像になります。

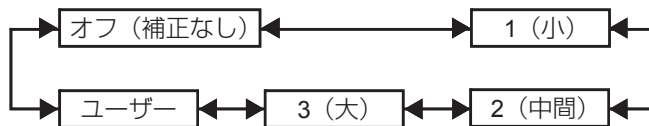
1. ▲▼ボタンで「ダイナミックアイリス」を選択する

映像	
映像モード	ナチュラル
ピクチャー	0 ←→→→+
黒レベル	0 ←→→→+
色の濃さ	10 ←→→→+
色あい	1 ←→→→+
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	デフォルト
シャープネス	0
ノイズリダクション	オフ
ダイナミックアイリス	オフ ▶
システムセレクター	自動1

◆ 項目選択
◆ 切換

2. ◀▶ボタンで「ダイナミックアイリス」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



■ さらに好みの補正量に調整したいとき

3. 手順2で「ユーザー」を選択する

4. エンター (ENTER) ボタンを押す

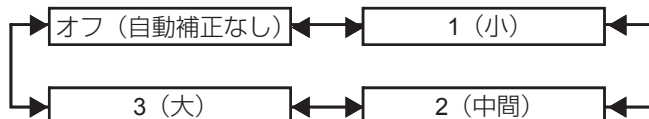
- 「ダイナミックアイリス」画面を表示します。

ダイナミックアイリス	
オートアイリス	オフ ▶
マニュアルアイリス	オフ
ダイナミックガンマ	オフ

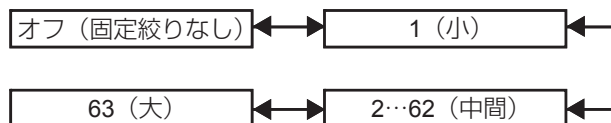
◆ 項目選択
◆ 切換

5. ▲▼ボタンで調整したい項目を選択し、◀▶ボタンで補正量を調整する

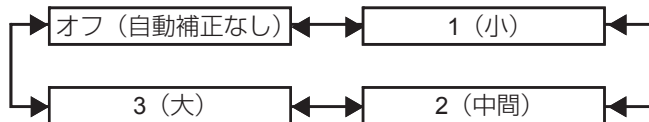
● オートアイリス (自動絞り量の調整)



● マニュアルアイリス (固定絞り量の調整)



● ダイナミックガンマ (信号補正量の調整)



お知らせ

- 「ダイナミックアイリス」を「3」に設定すると、コントラストは最大になります。
- 「フレーム遅延」を「ショート」に設定されている時は、ノイズリダクション機能を使えません。

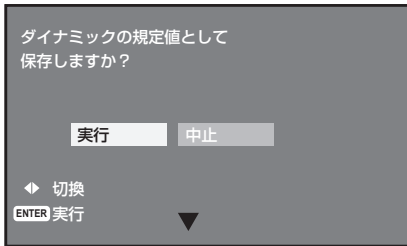
映像モード設定の既定値登録

映像モードで調整した画面の設定を登録することができます。

- 「映像」画面で「映像モード」を選択した状態で行ってください。

1. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 確認画面を表示します。



2. ◀▶ ボタンで「実行」を選択する

3. エンター (ENTER) ボタンを押す

お知らせ

- 映像モード設定を既定値として登録後、登録した映像モードを選択すると、新規信号は登録した調整値で表示されます。

システム方式の設定

システムセレクターの切り換えができます。

1. ▲▼ ボタンで「システムセレクター」を選択する

映像	
映像モード	ナチュラル
ピクチャー	0 - - - - - +
黒レベル	0 - - - - - +
色の濃さ	10 - - - - - +
色あい	1 - - - - - +
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	デフォルト
シャープネス	0
ノイズリダクション	オフ
ダイナミックアイリス	オフ
システムセレクター	◀ 自動1 ▶
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ ボタンで「システムセレクター」を切り換える

- 選択可能なシステム方式については、右記の「システム方式の切り換えかた」を参照してください。

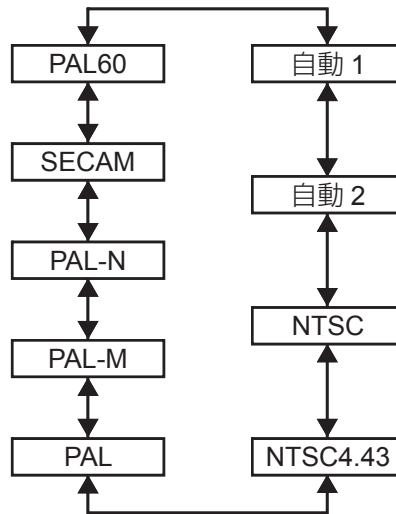
システム方式の切り換えかた

メニュー画面の操作で、Sビデオ/ビデオの入力または現在選択されている入力モジュールにより下記の切り換えができます。切り換えられたシステム方式は、オンスクリーン左上にRGB、YPbPr、自動などと表示され自動的に消えます。

■ Sビデオ/ビデオ端子入力信号

自動 1: NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL60 の中から自動選択します。

自動 2: NTSC/PAL-M/PAL-N の中から自動選択します。

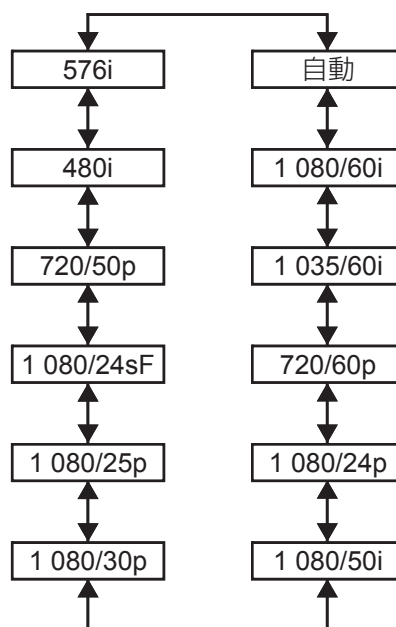


■ 入力モジュール

ET-MD77SD1:



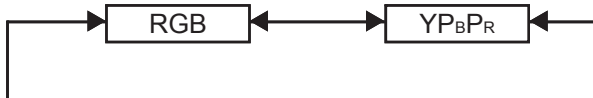
ET-MD77SD3:



映像の調整（つづき）

- ※ システム方式切り換え
デフォルト（DEFAULT）ボタンを押すと
自動 1 または自動に戻ります。

■ RGB1/RGB2/DVI-D 端子入力信号



お知らせ

- 対応する信号については、「RGB/YPbPr/DVI-D 信号一覧」を参照してください。（118～119 ページ）

sRGB に準拠した映像にするには

sRGB とは、IEC（International Electrotechnical Commission）で定められた色再現国際規格（IEC61966-2-1）です。

sRGB に準拠した、より忠実な色を再現させたい場合は、下記の手順で設定を行ってください。

1. 「カラーマッチング」の調整を「オフ」に設定する（68 ページ）
2. 「映像」画面を表示する（50 ページ）
3. ▲▼ボタンで「映像モード」を選択する

映像	
映像モード	◀ ナチュラル ▶
ピクチャー	0 - - - - +
黒レベル	0 - - - - +
色の濃さ	10 - - - - +
色あい	1 - - - - +
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	デフォルト
シャープネス	0
ノイズリダクション	オフ
ダイナミックアイリス	オフ
システムセレクター	自動1
◆ 項目選択	
◆ 切換 ENTER 登録	

4. ◀▶ボタンで「ナチュラル」に設定する

5. ▲▼ボタンで「色の濃さ」を選択する

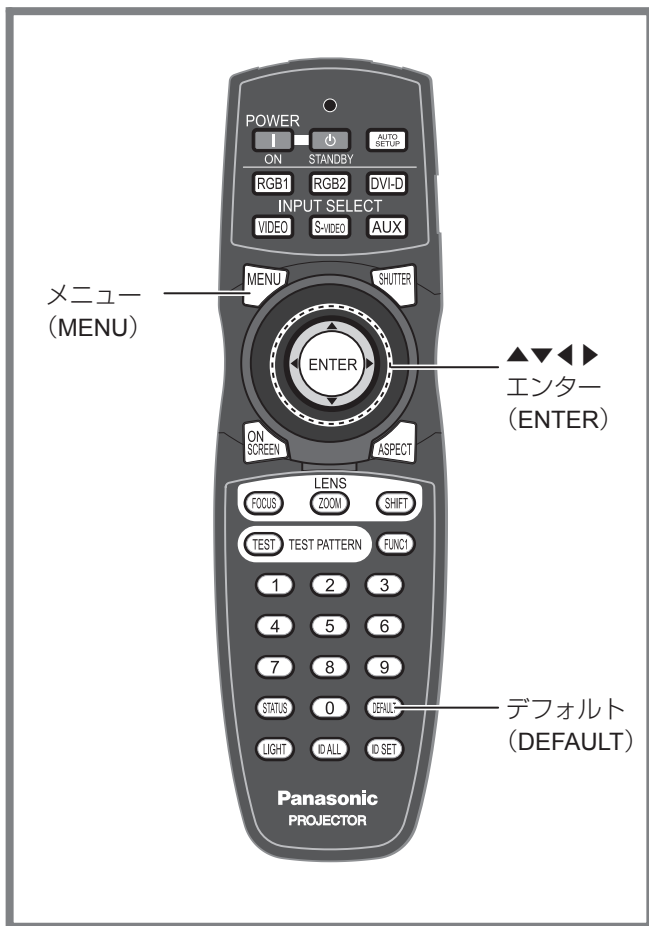
映像	
映像モード	ナチュラル
ピクチャー	0 - - - - +
黒レベル	0 - - - - +
色の濃さ	10 - - - - +
色あい	1 - - - - +
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	デフォルト
シャープネス	0
ノイズリダクション	オフ
ダイナミックアイリス	オフ
システムセレクター	自動1
◆ 項目選択	
◆ 調整	

6. リモコンのデフォルト（DEFAULT）ボタンを押し、工場出荷値にする
7. 「色あい」「色温度設定」「ガンマ選択」も同様の手順（5～6）で工場出荷値にする

お知らせ

- RGB 信号入力時のみ、sRGB に対応します。

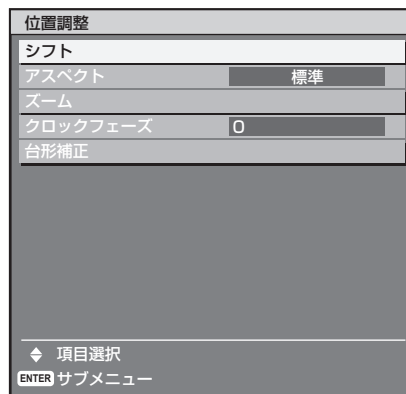
位置調整



シフト調整

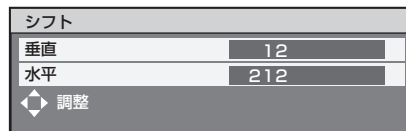
本機とスクリーンの関係位置が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像位置がずれている場合は、上下左右に映像位置を移動させることができます。

1. ▲▼ボタンで「シフト」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「シフト」画面を表示します。



3. ▲▼◀▶ボタンで位置調整する

■ 水平位置 (左右) 調整の場合

操作	変化内容
▶ ボタンを押す	映像位置が右へ移動します
◀ ボタンを押す	映像位置が左へ移動します

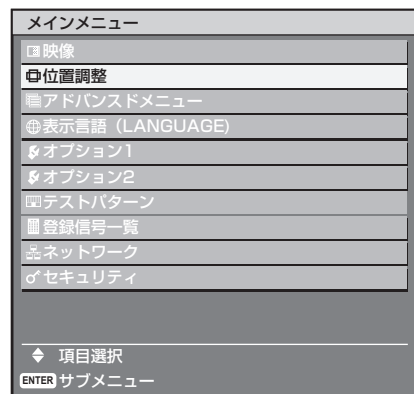
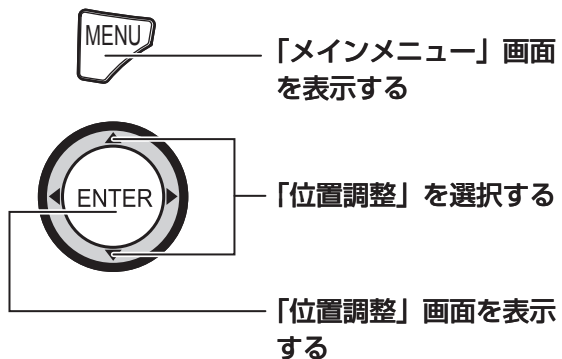
■ 垂直位置 (上下) 調整の場合

操作	変化内容
▲ ボタンを押す	映像位置が上へ移動します
▼ ボタンを押す	映像位置が下へ移動します

4. メニュー (MENU) ボタンを 3 回 押す

- オンスクリーン画面が消え、通常画面に戻ります。

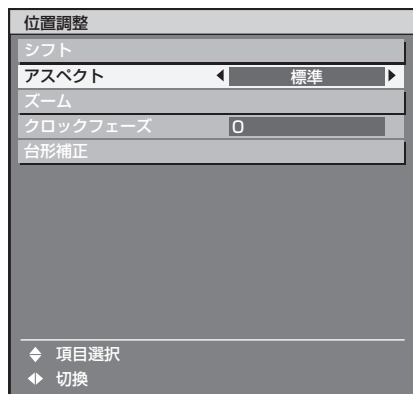
お好みの位置調整ができます。



アスペクト調整

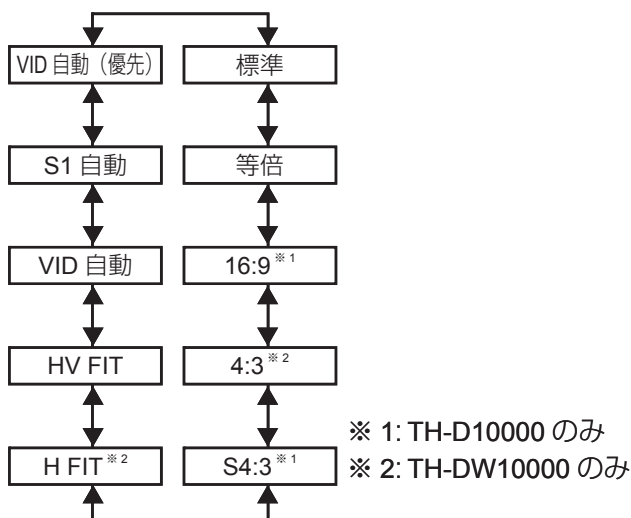
映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えます。

1. ▲▼ボタンで「アスペクト」を選択する



2. ◀▶ボタンで「アスペクト」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **標準** : 入力信号のアスペクト比のまま表示します。
- **等倍** : 入力信号の解像度のまま表示します。
- **16:9^{*1}** : 標準信号入力時^{*3}は、アスペクト比を 16:9 に変換して表示します。ワイド信号入力時^{*4}は、入力アスペクト比のまま表示します。
- **4:3^{*2}** : 標準信号入力時^{*3}は、入力アスペクト比のまま表示します。ワイド信号入力時^{*4}は、TH-D10000 はアスペクト比を 4:3 に変換して表示します。TH-DW10000 は 4:3 スクリーンに収まるように入力アスペクト比のまま縮小して表示します。

- **S4:3^{*1}** : 16:9 スクリーン使用時に選択してください。
 - **H FIT^{*2}** : 水平方向のパネル画素をすべて使って表示します。アスペクト比 16:9 よりも縦長のアスペクト比を持つ信号は、画像の下が切れて表示されます。
 - **HV FIT** : パネル画素全体に映像を表示します。入力信号とパネルのアスペクト比が異なる場合は、パネルのアスペクト比 (TH-D10000 は 4:3、TH-DW10000 は 16:9) に変換して表示します。
 - **VID 自動** : 映像信号に組み入れられたビデオ ID (VID) を識別し、4:3、16:9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。NTSC 信号入力時に有効です。
 - **S1 自動** : S1 信号を識別し、4:3、16:9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。S ビデオの NTSC 信号入力時に有効です。
 - **VID 自動 (優先)** : 上記 VID、S1 信号を識別し、VID を検出した場合は VID に従い、VID を検出しない場合は S1 信号に従って 4:3、16:9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。S ビデオの NTSC 信号入力時に有効です。
- ※ 3: 標準信号入力時とは、アスペクト比 4:3、5:4 の入力信号です。
 ※ 4: ワイド信号入力時とは、アスペクト比 16:9、15:9、15:10 の入力信号です。

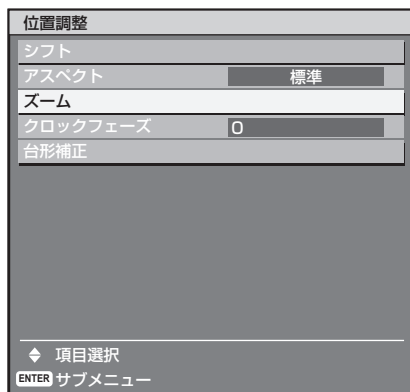
お知らせ

- 入力信号によっては選択できないサイズモードがあります。NTSC 信号の場合、標準は選択できません。
- 入力信号と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見え方に差が出ます。この点に注意して、アスペクト比を選択してください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、アスペクト調整、ズーム機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、注意してください。
- ワイド画面でない従来（通常）の 4:3 の映像をワイド画面で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、4:3 の映像でご覧ください。

ズーム調整

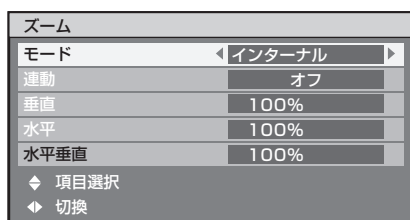
投写映像のサイズを調整します。

1. ▲▼ボタンで「ズーム」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

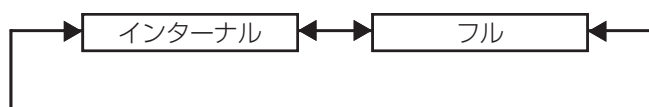
- 「ズーム」画面を表示します。



3. ▲▼ボタンで「モード」を選択する

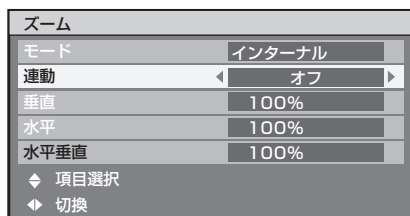
4. ◀▶ボタンで「モード」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



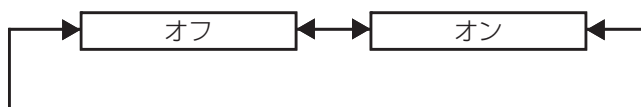
- **インターナル：**
デフォルトのアスペクト領域内でサイズを拡大します。
- **フル：**
表示エリアの全領域を使って拡大します。

5. ▲▼ボタンで「連動」を選択する



6. ◀▶ボタンで「連動」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **オフ：**
「垂直」と「水平」のズーム比をそれぞれ設定します。
- **オン：**
「水平垂直」でズーム比を設定します。垂直と水平を等倍で拡大することができます。

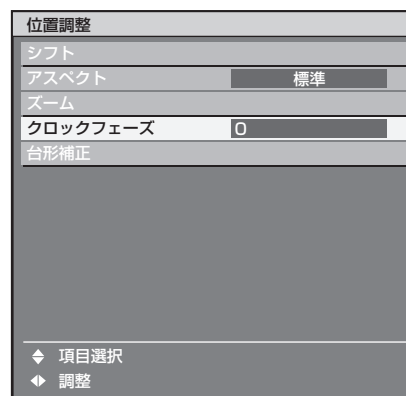
お知らせ

- 「アスペクト」で「等倍」を選択した場合、ズーム調整は表示されません。

クロックフェーズ調整

画面のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

1. ▲▼ボタンで「クロックフェーズ」を選択する



2. ◀▶ボタンで調整する

- 調整値は、0～31まで変化します。もっともノイズが少なくなるように調整してください。

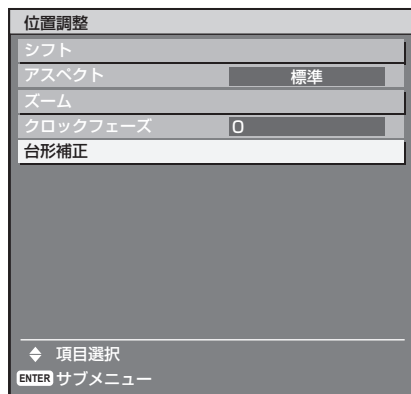
お知らせ

- 入力しているパソコンの出力が不安定だと最適値がない場合があります。
- 総ドット数がずれていると最適値がない場合があります。
- クロックフェーズが調整できるのは、RGB1、RGB2 入力で信号を入力した場合のみです。

台形補正

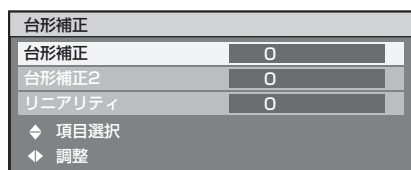
画面が台形歪みになっている場合にこの補正を行うと、水平方向のみ台形歪みの補正ができます。

1. ▲▼ボタンで「台形補正」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「台形補正」画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで「台形補正」を調整する

- 調整値は -127 ~ 127 まで変化します。

4. ▲▼ボタンで「台形補正 2」または「リニアリティ」を選択する

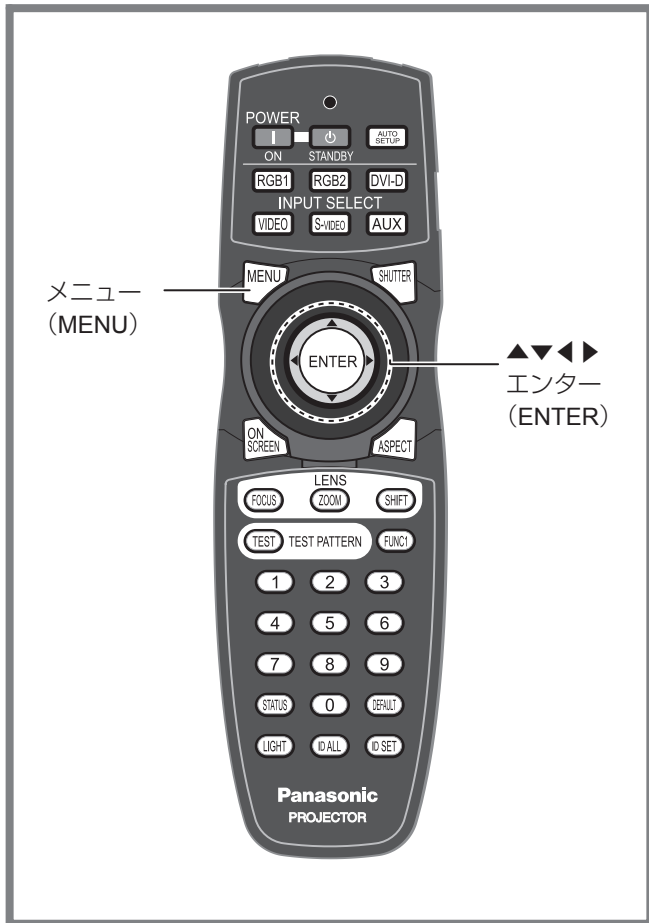
5. ◀▶ボタンで「台形補正 2」または「リニアリティ」を調整する

- 調整値は -127 ~ 127 まで変化します。

お知らせ

- 「台形補正」の調整後に「台形補正 2」と「リニアリティ」を調整してください。「台形補正 2」と「リニアリティ」の変化範囲は「台形補正」の調整値に連動して変化します。
- 「台形補正 2」は、左右にレンズシフトを行っている状態で台形補正するときにする機能です。スクリーン上の右側の辺だけを台形補正できます。ただし、「台形補正」が「0」の時は調整できません。
- リモコンのデフォルト (DEFAULT) ボタンを押すと、工場出荷時の標準値（「台形補正」:0、「台形補正 2」:0、「リニアリティ」:0）に戻せます。
- 調整値は他の入力信号にも反映されます。
- 台形補正できるのは、スクリーンに対する本機の仰角が $\pm 40^\circ$ 以内の範囲です。（ただし、固定焦点レンズ使用時は $\pm 22^\circ$ 以内、LE6 レンズ使用時は $\pm 28^\circ$ 以内の範囲です）

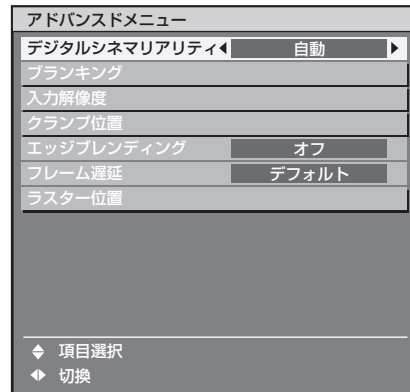
アドバンスドメニューの使いかた



デジタルシネマリアリティ

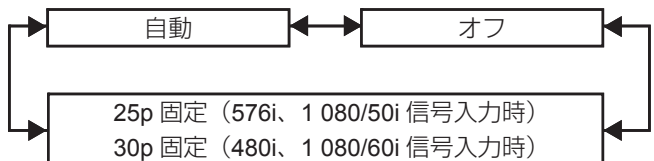
PAL (または SECAM) の 576i 信号や NTSC の 480i 信号、および 1 080/50i、1 080/60i 信号が入力されたとき、垂直解像度をさらに上げることができます。

1. ▲▼ボタンで「デジタルシネマリアリティ」を選択する



2. ◀▶ボタンで「デジタルシネマリアリティ」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **自動:**
自動検出し、シネマ処理をする (工場出荷設定値)
- **オフ:**
シネマ処理をしない
- **25p 固定:**
576i または 1 080/50i 信号が入力されたとき強制シネマ処理 (2:2 プルダウン) をする
- **30p 固定:**
480i または 1 080/60i 信号が入力されたとき強制シネマ処理 (2:2 プルダウン) をする

お知らせ

- デジタルシネマリアリティ では、2:2 でプルダウンされた信号以外を「30p 固定」または「25p 固定」に設定すると、画質が劣化します。(垂直解像度が悪くなります)

詳細設定ができます。

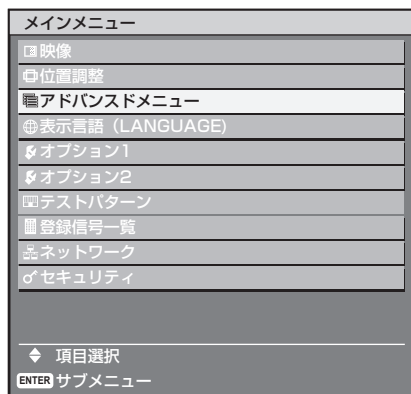


「メインメニュー」画面を表示する



「アドバンスドメニュー」を選択する

「アドバンスドメニュー」画面を表示する

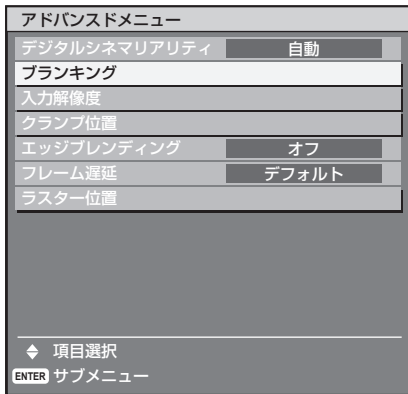


アドバンスドメニューの使いかた (つづき)

ブランキング調整

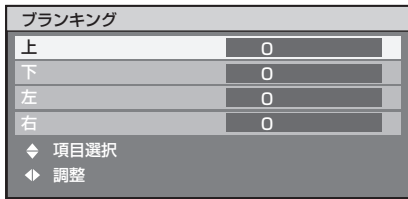
ビデオデッキなどの映像投写時に画面端にノイズが出ている場合やスクリーンから画像がわずかにはみ出ている場合などにブランキングで微調整できます。

1. ▲▼ボタンで「ブランキング」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

• 「ブランキング」調整画面を表示します。



3. ▲▼ボタンで調整項目を選択する

4. ◀▶ボタンでブランキング調整する

• TH-D10000 の場合の調整値は、上下 0 ~ 525、左右 0 ~ 700 まで変化します。
TH-DW10000 の場合の調整値は、上下 0 ~ 540、左右 0 ~ 960 まで変化します。

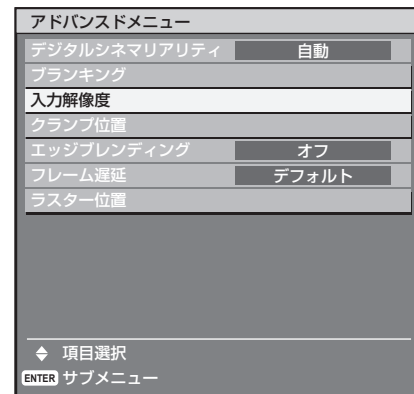
画面上側ブランキング補正 (上) の場合	
◀ ボタンを押すとブランキング幅が上へ移動し、▶ ボタンを押すとブランキング幅が下へ移動する	
画面下側ブランキング補正 (下) の場合	
▶ ボタンを押すとブランキング幅が上へ移動し、◀ ボタンを押すとブランキング幅が下へ移動する	

画面左側ブランキング補正 (左) の場合	
▶ ボタンを押すとブランキング幅が右へ移動し、◀ ボタンを押すとブランキング幅が左へ移動する	
画面右側ブランキング補正 (右) の場合	
◀ ボタンを押すとブランキング幅が右へ移動し、▶ ボタンを押すとブランキング幅が左へ移動する	

入力解像度調整

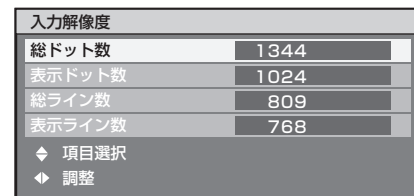
画面のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

1. ▲▼ボタンで「入力解像度」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

• 「入力解像度」画面を表示します。



3. ▲▼ボタンで「総ドット数」、「表示ドット数」、「総ライン数」または「表示ライン数」を選択し、◀▶ボタンで調整する

• 各項目には入力した信号に応じた数値が自動的に表示されます。画面に縦縞や画面欠けが発生する場合、表示された数値を上下させて画面を見ながら最適な点に調整してください。

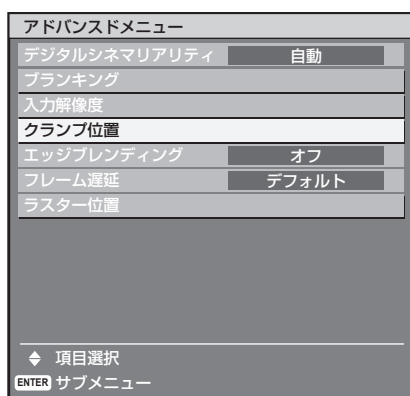
お知らせ

- 全白信号入力では上記縦縞は発生しません。
- 調整中に画像が乱れる場合がありますが、異常ではありません。
- 入力解像度が調整できるのは、RGB1、RGB2 入力 で RGB 信号を入力した場合のみです。

クランプ位置調整

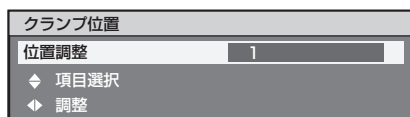
映像の黒部分がつぶれている場合や、緑色になっている場合はクランプ位置調整で最良点にします。

1. ▲▼ボタンで「クランプ位置」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「クランプ位置」画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで調整する

- 調整値は 1 ~ 255 まで変化します。
- **クランプ位置調整の最適値**
黒部分がつぶれている場合：
黒部分のつぶれがもっとも改善する点が最適値です。
黒部分が緑色になっている場合：
緑色部分が黒くなりつぶれていない点が最適値です。

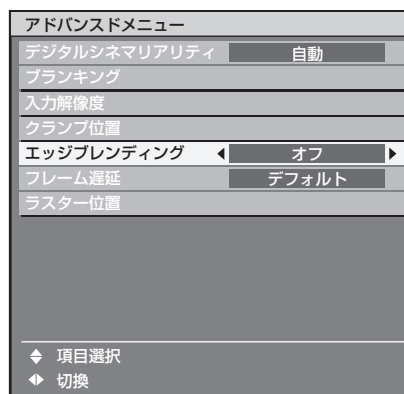
お知らせ

- クランプ位置の調整ができるのは、RGB1、RGB2 入力 で信号を入力した場合のみです。

エッジブレンディング調整

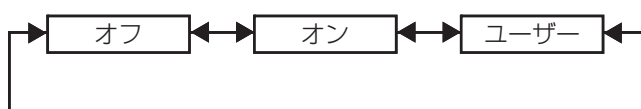
マルチ画面での使用時につなぎ目を目立ちにくくする機能を備えています。

1. ▲▼ボタンで「エッジブレンディング」を選択する



2. ◀▶ボタンで「エッジブレンディング」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **オフ**：
マルチ画面で使用しないとき。
- **オン**：
エッジブレンディング部の傾斜にセット内蔵の傾きを使用します。
- **ユーザー**：
エッジブレンディング部の傾斜に任意の傾きを使用します。(設定には別途ソフトウェアが必要で、販売店にご相談ください。)

3. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「エッジブレンディング」画面を表示します。



アドバンスドメニューの使いかた（つづき）

4. ▲▼ボタンで補正する場所を指定する

- 上をつなぐ場合：「上」を「オン」
- 下をつなぐ場合：「下」を「オン」
- 左をつなぐ場合：「左」を「オン」
- 右をつなぐ場合：「右」を「オン」

5. エンター（ENTER）ボタンを押して「オン」「オフ」を切り換える

6. ◀▶ボタンで補正幅および開始位置を調整する

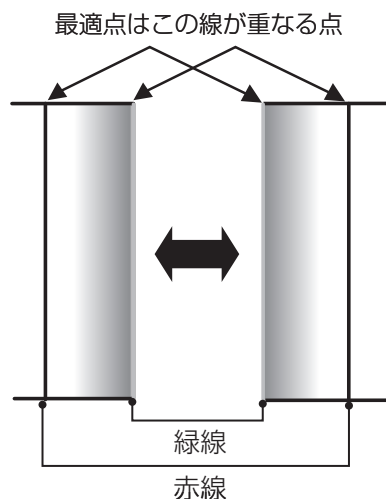
■ 調整用のマーカーを表示させる場合

7. ▲▼ボタンで「マーカー」を選択する

エッジブレンディング		
上	開始	0
	オフ	幅 128
下	開始	0
	オフ	幅 128
左	開始	0
	オフ	幅 128
右	開始	0
	オフ	幅 128
マーカー		オフ
黒レベル調整		
◆ 項目選択		
ENTER 切換		

8. エンター（ENTER）ボタンで「オン」に切り換える

- 映像位置調整用のマーカーが表示されます。つなぎ合わせるセット同士で赤と緑の線が重なる位置が最適点です。つなぎ合わせるセット同士の補正幅は必ず同じ値にしてください。補正幅が異なるセット同士では、最適なつなぎ合わせができなくなります。



9. ▲▼ボタンで「黒レベル調整」を選択する

エッジブレンディング		
上	開始	0
	オフ	幅 128
下	開始	0
	オフ	幅 128
左	開始	0
	オフ	幅 128
右	開始	0
	オフ	幅 128
マーカー		オフ
黒レベル調整		
◆ 項目選択		
ENTER サブメニュー		

10. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 「黒レベル調整」画面を表示します。

黒レベル調整	
黒レベル	インサイド
黒レベル	アウトサイド
上	0
下	0
左	0
右	0
◆ 項目選択	
◆ 調整	

11. ▲▼ボタンで「黒レベルインサイド」を選択する

12. エンター（ENTER）ボタンを押す

- 「黒レベル インサイド」個別調整画面を表示します。

黒レベル インサイド	
連動	オン
W/h	0
R	0
G	0
B	0
◆ 項目選択	
◆ 切換	

- 「連動」を「オフ」に設定すると、「R」、「G」、「B」の個別調整が可能です。

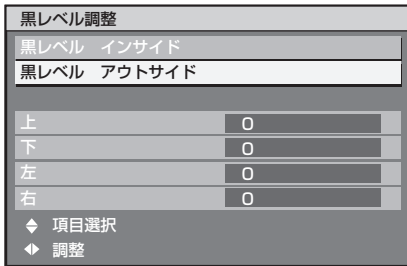
13. ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで調整する

- 調整が終わったら、メニュー（MENU）ボタンを押して「黒レベル調整画面」に戻ります。

14. ▲▼ボタンで「上」「下」「左」「右」を選択する

15. ◀▶ボタンで黒レベルインサイド補正する幅を調整する（0～255）

16. ▲▼ボタンで「黒レベルアウトサイド」を選択する



17. エンター (ENTER) ボタンを押す

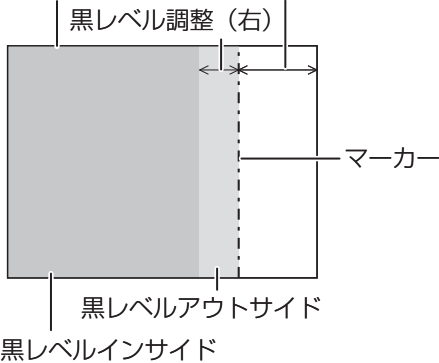
- 「黒レベル アウトサイド」個別調整画面を表示します。



- 「連動」を「オフ」に設定すると、「R」、「G」、「B」の個別調整が可能です。

18. ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで調整する

投写範囲 エッジブレンディング幅 (右)



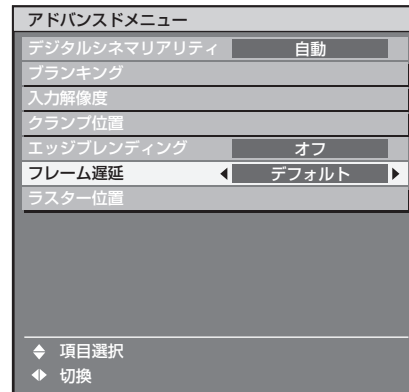
お知らせ

- 黒レベル調整は、エッジブレンディングを用いてマルチ画面を構成した場合に、映像を重ね合わせた部分の黒レベルが明るくなるのを目立ちにくくする機能です。黒レベルインサイドを調整し、映像を重ね合わせた部分と重ね合わせていない部分の黒レベルが同じになる補正量が最適点です。黒レベルインサイドを調整後、映像を重ね合わせた部分と重ね合わせていない部分の境目付近のみが明るくなる場合は、上、下、左、右の幅を調整してください。幅調整により境目付近のみ暗くなった場合は、黒レベルアウトサイドを調整してください。
- ゲインの高いスクリーンやリアスクリーン使用時は、見る位置によってつなぎ合わせ部分が不連続に見えることがあります。

フレーム遅延

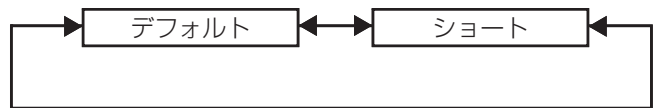
1 080/60i、1 080/50i、1 080/24sF 信号が入力されたとき、映像処理を簡略化することにより、映像のフレーム遅延を短くすることができます。

1. ▲▼ボタンで「フレーム遅延」を選択する



2. ◀▶ボタンで「フレーム遅延」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **デフォルト**：
標準の設定です。
- **ショート**：
映像が音声より遅れて表示される場合に設定します。

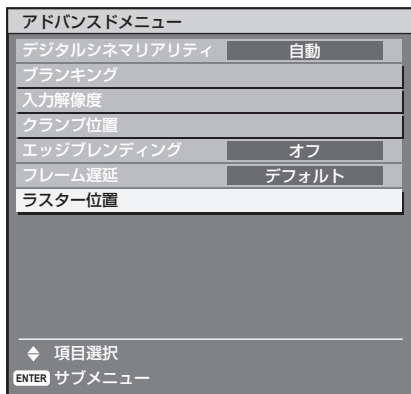
お知らせ

- 「フレーム遅延」が「ショート」に設定されている時は、画質が劣化します。またノイズリダクション機能は使えません。

ラスター位置

入力された映像が表示可能エリア全体を使用していない場合、映像を表示エリア内で任意の位置に移動させることができます。

1. ▲▼ボタンで「ラスター位置」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

• 「ラスター位置」画面を表示します。



3. ▲▼◀▶ボタンで位置調整する

■ TH-D10000

5:4 の映像を表示している場合 (SXGA 信号入力時)	
▶ボタンを押すと、映像位置が右へ移動します。	
◀ボタンを押すと、映像位置が左へ移動します。	

16:9 の映像を表示している場合 (HDTV や 480p 映像入力、 または SIZE モードで 16:9 を選択時)	
▲ボタンを押すと、映像位置が上へ移動します。	
▼ボタンを押すと、映像位置が下へ移動します。	

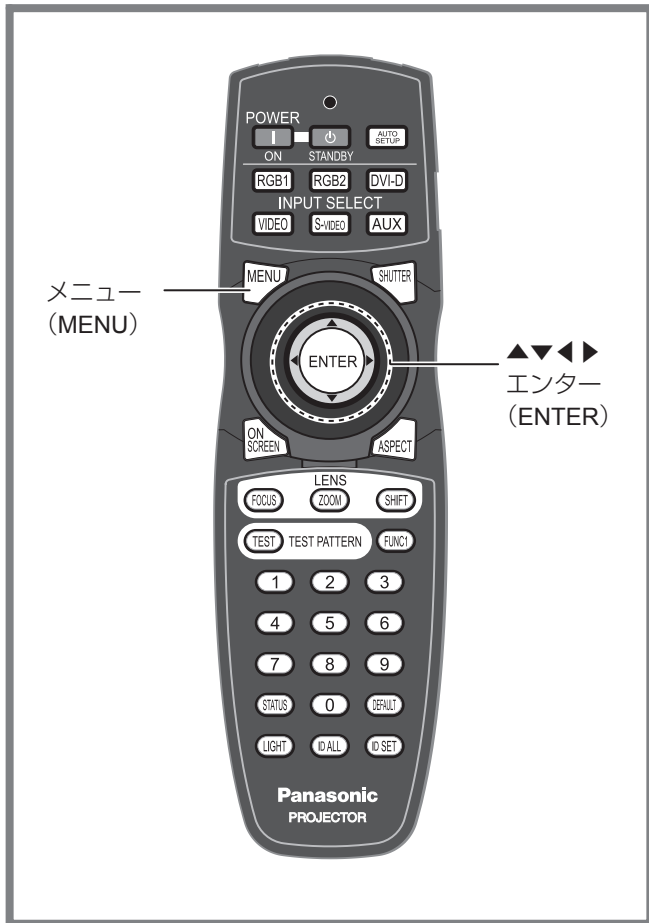
■ TH-DW10000

4:3 の映像を表示している場合	
▶ボタンを押すと、映像位置が右へ移動します。	
◀ボタンを押すと、映像位置が左へ移動します。	

4. メニュー (MENU) ボタンを 3 回 押す

• オンスクリーン画面が消え、通常画面に戻ります。

表示言語 (LANGUAGE) の設定



表示言語を切り換える

オンスクリーンの表示言語を切り換えることができます。

1. ▲▼ボタンで言語を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンで決定する

- 切り換わると、言語の表示が黄緑色に変わります。
- 切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。
- 英語 (ENGLISH)、ドイツ語 (DEUTSCH)、フランス語 (FRANÇAIS)、スペイン語 (ESPAÑOL)、イタリア語 (ITALIANO)、日本語、中国語 (中文)、ロシア語 (русский)、韓国語 (한국어) の切り換えができます。

表示言語を切り換えることができます。

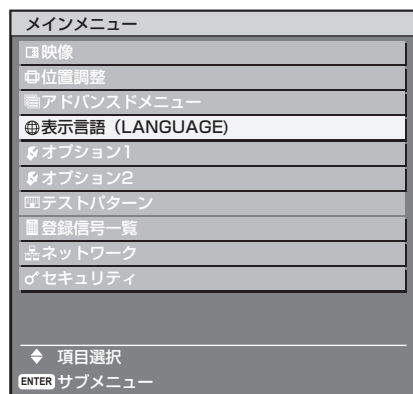


「メインメニュー」画面を表示する



「表示言語 (LANGUAGE)」を選択する

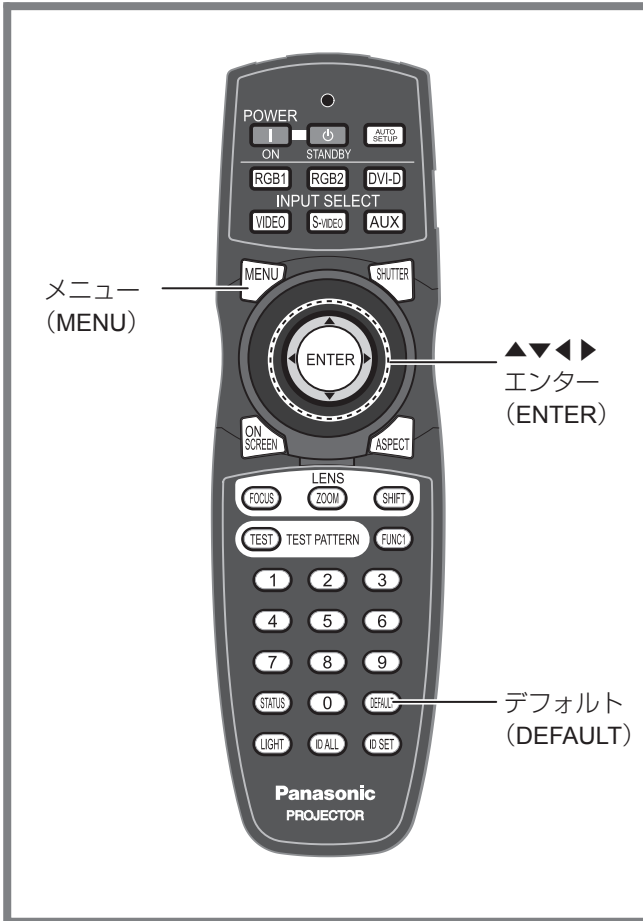
「表示言語 (LANGUAGE)」画面を表示する



お知らせ

- 本機は、日本語でオンスクリーン表示するように設定されています。(工場出荷時)

オプション1の設定



カラーマッチングの調整

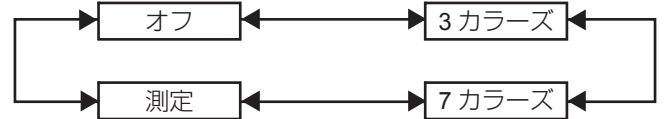
本機は複数のセットを同時に使うような用途で、セット間の色バラツキを補正する機能を備えています。

1. ▲▼ボタンで「カラーマッチング」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「カラーマッチング」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

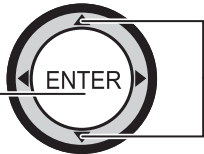


- **オフ:**
カラーマッチングの調整をしません。
- **3 カラーズ:**
「R (赤)」「G (緑)」「B (青)」の3色を調整することができます。
- **7 カラーズ:**
「R (赤)」「G (緑)」「B (青)」「Cy (シアン)」「Mg (マゼンタ)」「Ye (イエロー)」「Wh (ホワイト)」の7色を調整することができます。
- **測定:**
このモードについての詳細は、次ページの「測定器を用いたカラーマッチング調整」をご覧ください。

さまざまな映像や本体の設定ができます。



「メインメニュー」画面を表示する



「オプション1」を選択する

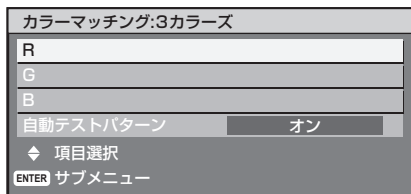
「オプション1」画面を表示する

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語 (LANGUAGE)	
オプション1	
オプション2	
テストパターン	
登録信号一覧	
ネットワーク	
セキュリティ	
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

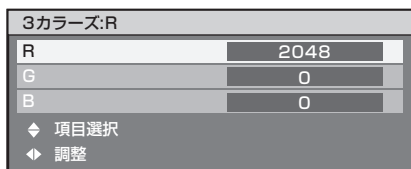
■ 手順2で「3 カラーズ」または「7 カラーズ」を選択した場合

3. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「カラーマッチング: 3 カラーズ」または「カラーマッチング: 7 カラーズ」画面を表示します。



4. ▲▼ボタンで「R」「G」「B」を選択する



5. エンター (ENTER) ボタンを押す

6. ◀▶ボタンで調整する

- 調整値は 0 ~ 2048 まで変化します。

お知らせ

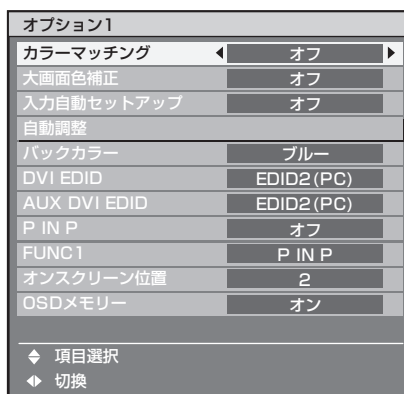
- 調整色を補正する場合の動作:
調整色と同じ補正色を動かす場合:
調整色の輝度が変わります。
補正色赤を動かす場合: 調整色に赤を加減します。
補正色緑を動かす場合: 調整色に緑を加減します。
補正色青を動かす場合: 調整色に青を加減します。
- 調整には熟練度を要しますのでプロジェクターに関する知識のある方もしくはサービスマンの方が調整を行ってください。
- 各調整項目はすべてデフォルト (DEFAULT) ボタンを押すと工場出荷値に戻すことができます。
- カラーマッチングの調整を「オフ」以外に設定した場合、色温度設定は「ユーザー 1」固定になります。

測定器を用いたカラーマッチング調整

色度座標と輝度が測定できる色彩色度計を用いて「R (赤)」「G (緑)」「B (青)」「Cy (シアン)」「Mg (マゼンタ)」「Ye (イエロー)」「Wh (ホワイト)」の色をお好みの色に変更することができます。

■ 現在の輝度と色度座標を入力する

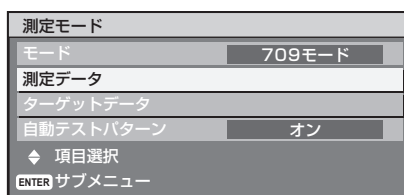
1. ▲▼ボタンで「カラーマッチング」を選択する



2. ◀▶ボタンで「測定」を選択する

3. エンター (ENTER) ボタンを押す

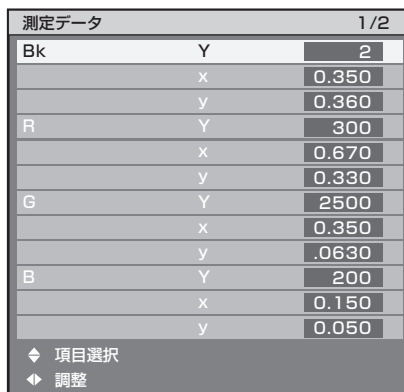
- 「測定モード」画面を表示します。



4. ▲▼ボタンで「測定データ」を選択する

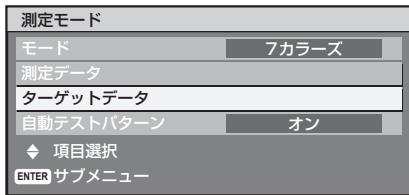
5. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「測定データ」画面を表示します。



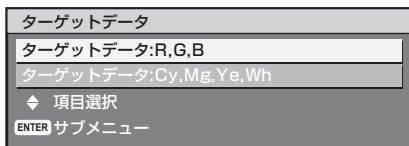
オプション 1 の設定 (つづき)

6. 色彩色度計で輝度 (Y) と色度座標 (x、y) を測定する
7. ▲▼ボタンで色を選択し、◀▶ボタンで数値を調整する
8. すべての入力が終わったら、メニュー (MENU) ボタンを押す
 - 「測定モード」画面を表示します。



■ お好みの色の座標を入力する

9. ▲▼ボタンで「モード」を選択する
10. ◀▶ボタンで「7 カラーズ」を選択する
11. ▲▼ボタンで「ターゲットデータ」を選択する
12. エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「ターゲットデータ」画面を表示します。



13. ▲▼ボタンで「R、G、B」または「Cy、Mg、Ye、Wh」を選択する
14. エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「ターゲットデータ: R、G、B (または Cy、Mg、Ye、Wh)」画面を表示します。



15. ▲▼ボタンで色を選択し、◀▶ボタンでお好みの色の座標を入力する

16. すべての入力が終わったら、メニュー (MENU) ボタンを押す

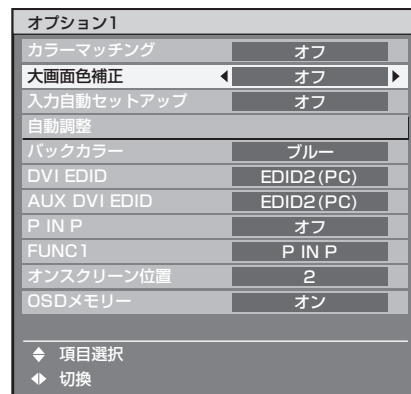
お知らせ

- 「モード」で「3 カラーズ」または「709 モード」を選択すると、「ターゲットデータ」は R、G、B の3色のみの入力となります。
- 「モード」で「709 モード」を選択すると、ITU-R BT.709 規格の3原色がターゲットデータとして設定されます。
- ターゲットデータが本機の色域外の場合、正しい色が表示できません。

大画面色補正

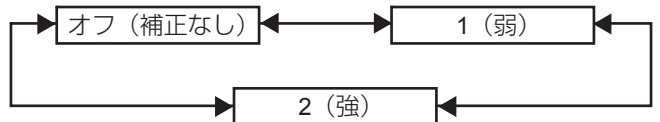
大きな画面サイズの映像を近くで見た時、普通の画面サイズより色が薄くなって見える映像を同じような色に見えるように補正します。

1. ▲▼ボタンで「大画面色補正」を選択する



2. ◀▶ボタンで「大画面色補正」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



入力自動セットアップ

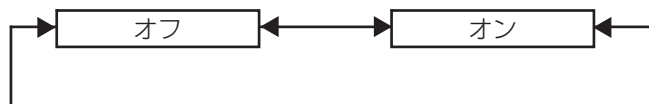
会議などで未登録の信号を頻繁に入力する場合、その都度リモコンのオートセットアップ (AUTO SETUP) ボタンを押さなくても画面表示位置を自動で調整することができます。

1. ▲▼ボタンで「入力自動セットアップ」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「入力自動セットアップ」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- 「オン」にすると、未登録の信号が入力された場合、自動でオートセットアップを行います。

自動調整 (RGB 信号入力時のみ対応)

特殊な信号や横長 (16:9 等) の信号を調整するときに設定します。

1. ▲▼ボタンで「自動調整」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「自動調整」画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで「モード」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



• デフォルト:

画像アスペクトが 4:3、5:4 の信号を受像する場合 (対応解像度は、640 × 400、640 × 480、800 × 600、832 × 624、960 × 720、1 024 × 768、1 152 × 864、1 152 × 870、1 280 × 960、1 280 × 1 024、1 600 × 1 200、1 400 × 1 050 です)

• ワイド:

画像アスペクトが横長 16:9 の信号を受像する場合 (対応解像度は、720 × 400、1 280 × 720、1 280 × 800、1 280 × 768、1 376 × 768、1 600 × 1 024 です)

• ユーザー:

特殊な水平解像度 (表示ドット数) の信号を受像する場合

4. 「ユーザー」を選択した場合は ◀▶ボタンで「表示ドット数」に信号源の水平解像度を入力する

5. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 自動調整を実行します。自動調整中は「実行中」と表示されます。終了すると入力画面に戻ります。

オプション1の設定(つづき)

バックカラー

信号が入力されていないときの投写画面の色を設定します。

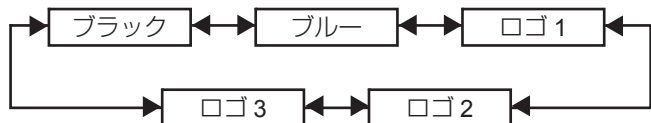
1. ▲▼ボタンで「バックカラー」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン

◆ 項目選択
◀▶ 切替

2. ◀▶ボタンで「バックカラー」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- ブラック：**
投写画面全体に黒色を表示します。
- ブルー：**
投写画面全体に青色を表示します。
- ロゴ1：**
投写画面にユーザーが登録した画像を表示します。
- ロゴ2：**
投写画面にユーザーが登録した画像を表示します。
- ロゴ3：**
投写画面に Panasonic ロゴを表示します。

お知らせ

- 「ロゴ1」と「ロゴ2」の画像作成には、別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。

DVI EDID

接続機器に合わせて EDID の設定を行います。

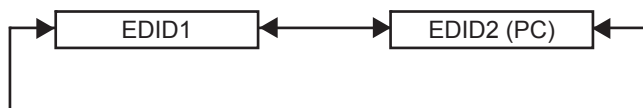
1. ▲▼ボタンで「DVI EDID」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン

◆ 項目選択
◆ 切替

2. ◀▶ボタンで「DVI EDID」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- EDID1 (対応入力信号フォーマット)：**
480p、576p、720/60p、720/59.94p、720/50p
1 080/60i、1 080/59.94i、1 080/50i、
1 080/24sF、1 080/23.98sF
1 080/30p、1 080/29.97p、1 080/25p、
1 080/24p、1 080/23.98p、1 080/60p、
1 080/59.94p、1 080/50p
- EDID2 (PC) (対応入力信号フォーマット)：**
表示可能解像度：
VGA ～ UXGA (ノンインターレース)
ドットクロック周波数：25 MHz ～ 162 MHz

お知らせ

- EDID2 (PC) 設定時はインターレース信号に対応していません。

AUX DVI EDID (ET-MD77DV 装着時のみ)

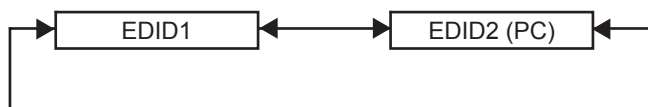
接続機器に合わせて EDID の設定を行います。

1. ▲▼ボタンで「AUX DVI EDID」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「AUX DVI EDID」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- EDID1 (対応入力信号フォーマット) :**
 480p、576p、720/60p、720/59.94p、720/50p
 1 080/60i、1 080/59.94i、1 080/50i、
 1 080/24sF、1 080/23.98sF
 1 080/30p、1 080/29.97p、1 080/25p、
 1 080/24p、1 080/23.98p、1 080/60p、
 1 080/59.94p、1 080/50p
- EDID2 (PC) (対応入力信号フォーマット) :**
 表示可能解像度：
 VGA ~ UXGA (ノンインターレース)
 ドットクロック周波数：25 MHz ~ 162 MHz

お知らせ

- EDID2 (PC) 設定時はインターレース信号に対応していません。

P IN P

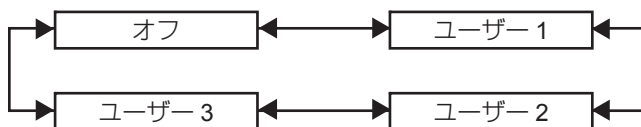
ピクチャ イン ピクチャの条件を設定します。

1. ▲▼ボタンで「P IN P」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「P IN P」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- オフ:**
 P IN P を設定しません。
- ユーザー 1、ユーザー 2、ユーザー 3:**
 メインウィンドウ、サブウィンドウに入力する信号を設定できます。

3. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「P IN P: ユーザー 1」「P IN P: ユーザー 2」または「P IN P: ユーザー 3」画面を表示します。

P IN P: ユーザー 1	
メインウィンドウ	RGB1
サイズ	
位置調整	
サブウィンドウ	ビデオ
サイズ	
位置調整	
フレームロック	メイン
タイプ	メイン
◆ 項目選択	
◆ 切換	

オプション 1 の設定 (つづき)

4. ▲▼ボタンで設定したい項目を選択し、◀▶ボタンで切り換える

• メインウィンドウ：

メインウィンドウとして表示する入力端子を表示。◀▶ボタンで選択することができます。
サイズ：メインウィンドウの表示サイズの設定。
10%～100%の間で設定。
位置：メインウィンドウの表示位置を画面内で設定。

• サブウィンドウ：

サブウィンドウとして表示する入力端子を表示。◀▶ボタンで選択することができます。
サイズ：サブウィンドウの表示サイズの設定。
10%～100%の間で設定できます。
位置：サブウィンドウの表示位置を画面内で設定。

• フレームロック：

フレームロックを適用するウィンドウを選択。
「メインウィンドウ」：メインウィンドウに設定されている入力信号に対してフレームロックを設定。
「サブウィンドウ」：サブウィンドウに設定されている入力信号に対してフレームロックを設定。

• タイプ：

ウィンドウが重なった場合に優先的に表示するウィンドウを選択。
「メインウィンドウ」：メインウィンドウを優先的に表示。
「サブウィンドウ」：サブウィンドウを優先的に表示。

お知らせ

- 入力されている信号および選択されている入力端子によっては P IN P 機能を使用することができません。詳しくは、「P IN P 一覧表」をご覧ください。(120 ページ)
- 映像モード、ガンマ選択、色温度設定などの映像調整値はメインウィンドウの設定値が適用されます。
- 通常画面（メニューが表示されていない状態）において、P IN P 動作中に◀▶ボタンでメインウィンドウとサブウィンドウのサイズと位置を入れ替えることができます。

FUNC1 の設定

リモコンの FUNC1 ボタンの機能を設定します。

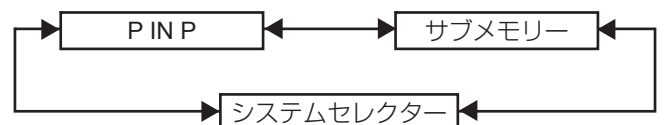
1. ▲▼ボタンで「FUNC1」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	◀ P IN P ▶
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン

◆ 項目選択
◆ 切換

2. ◀▶ボタンで「FUNC1」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



• P IN P：

P IN P のオフ/ユーザー1/ユーザー2/ユーザー3を切り換えることができます。(73 ページ)

• サブメモリー：

サブメモリーの切り換えができます。(42 ページ)

• システムセクター：

システムセクターの切り換えができます。(55 ページ)

オンスクリーン位置

オンスクリーン表示画面の位置を設定できます。

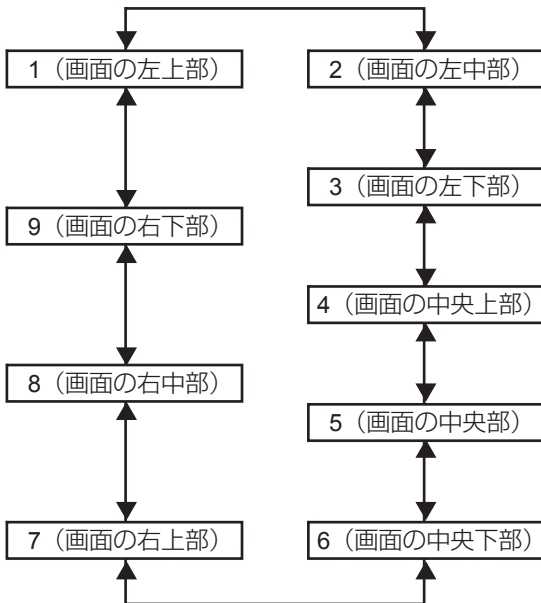
1. ▲▼ボタンで「オンスクリーン位置」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン

◆ 項目選択
◆ 切換

2. ◀▶ボタンで「オンスクリーン位置」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



OSD メモリー

オンスクリーンメニューのカーソルの位置の保持状態を設定できます。

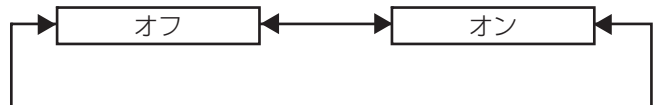
1. ▲▼ボタンで「OSD メモリー」を選択する

オプション1	
カラーマッチング	オフ
大画面色補正	オフ
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	
バックカラー	ブルー
DVI EDID	EDID2(PC)
AUX DVI EDID	EDID2(PC)
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
オンスクリーン位置	2
OSDメモリー	オン

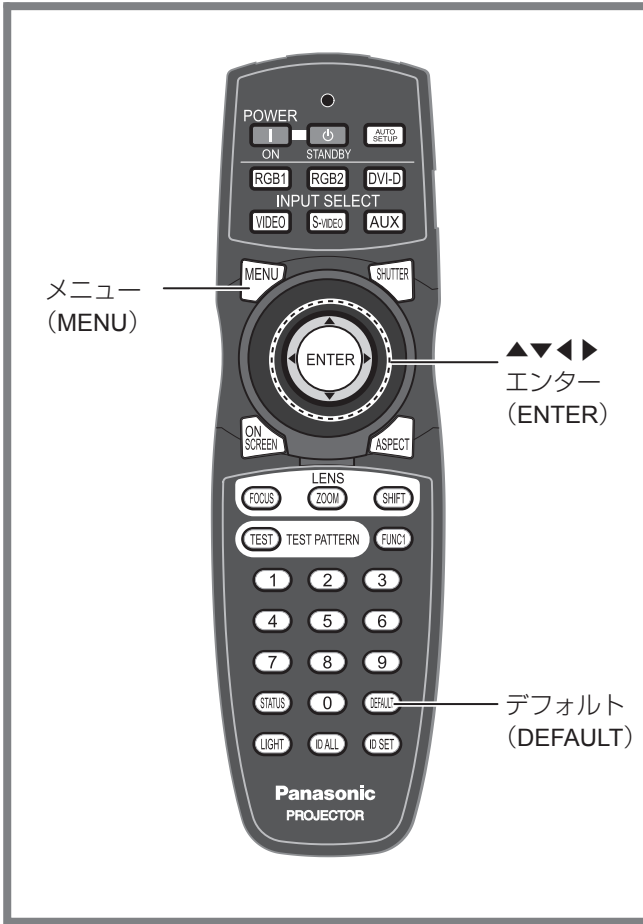
◆ 項目選択
◆ 切換

2. ◀▶ボタンで「OSD メモリー」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



オプション2の設定



プロジェクター ID の設定

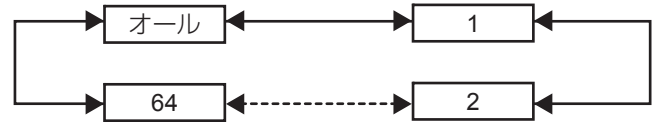
本機には ID ナンバーの設定機能があり、本機を複数台並べてご使用の場合には、1つのリモコンで同時制御や個別制御できます。工場出荷時は「オール」に設定されていますので、1台だけでご使用の場合は ID ナンバーの設定の必要はありません。

1. ▲▼ボタンで「プロジェクター ID」を選択する

オプション2	
プロジェクターID	2
設置設定	フロントー床置
ファン制御	標準
設置角度	水平
ランプ選択	クワッド
ランプリレー	オフ
RS-232C	
システム情報	
エアフィルター清掃	
日付と時刻	
スタートアップ	ロゴ
パスワード入力	
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「プロジェクター ID」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



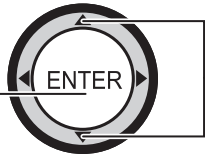
3. メニュー (MENU) ボタンを2回押す

- 設定が終了しオンスクリーン画面が消え通常画面に戻ります。

さまざまな映像や本体の設定ができます。



「メインメニュー」画面を表示する



「オプション2」を選択する

「オプション2」画面を表示する

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語 (LANGUAGE)	
オプション1	
オプション2	
テストパターン	
登録信号一覧	
ネットワーク	
セキュリティ	
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

お知らせ

- ID ナンバーは「オール」「1」～「64」まで設定可能です。
- ID ナンバーを指定した場合は、リモコンの ID ナンバーを本機の ID ナンバーに合わせる必要があります。
- ID ナンバー「オール」に設定すると、リモコンまたはコンピューターで制御の際、何番を指定しても ID ナンバー「オール」の本機は動作します。本機を複数台並べて設置の場合、ID ナンバーを「オール」に設定していると、他の ID ナンバーを設定した本機と分けて制御することができなくなります。リモコンの ID 設定のしかたは 18 ページをご参照ください。

設置設定

本機の設置状態に合わせて、投写方式の設定ができます。画面表示が上下逆になったり、反転して映っている場合は、投写方式を変更してください。

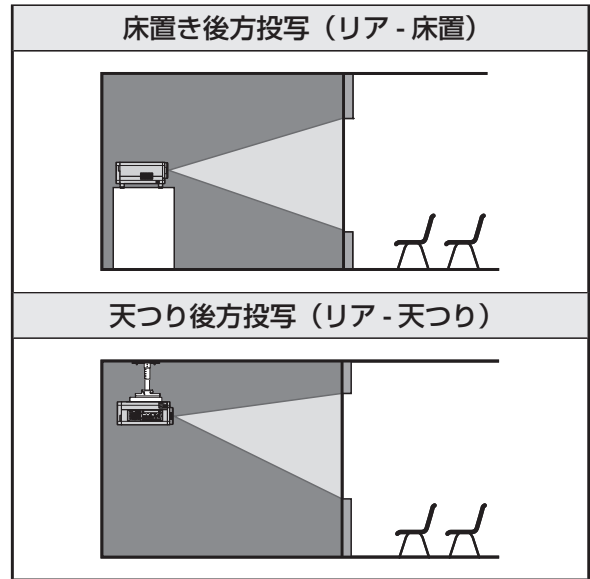
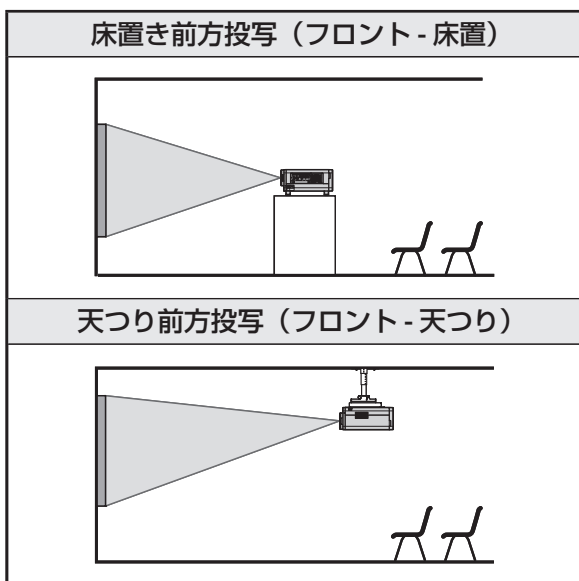
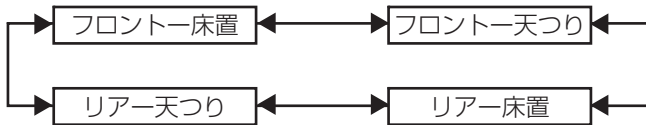
- リモコンまたは本体操作部のボタン操作でオンスクリーン画面を表示させて設定します。

1. ▲▼ボタンで「設置設定」を選択する

オプション2	
プロジェクターID	2
設置設定	◀ フロント-床置 ▶
ファン制御	標準
設置角度	水平
ランプ選択	クワッド
ランプリレー	オフ
RS-232C	
システム情報	
エアフィルター清掃	
日付と時刻	
スタートアップ ログ	ロゴ1
パスワード入力	
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「設置設定」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



3. メニュー (MENU) ボタンを2回押す

- オンスクリーン画面が消え通常画面に戻ります。

ファン制御

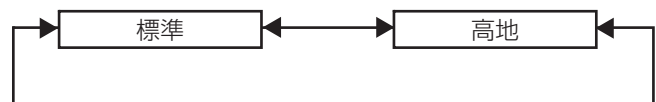
海拔 1 400 m 以上の場所で使用する場合は、「高地」に設定します。

1. ▲▼ボタンで「ファン制御」を選択する

オプション2	
プロジェクターID	2
設置設定	フロント-床置
ファン制御	◀ 標準 ▶
設置角度	水平
ランプ選択	クワッド
ランプリレー	オフ
RS-232C	
システム情報	
エアフィルター清掃	
日付と時刻	
スタートアップ ログ	ロゴ1
パスワード入力	
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「ファン制御」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



オプション2の設定 (つづき)

設置角度

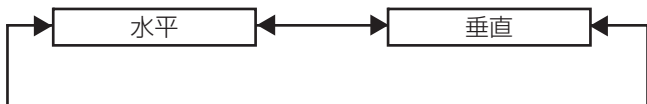
設置角度によってファンを制御します。

1. ▲▼ボタンで「設置角度」を選択する

オプション2	
プロジェクターID	2
設置設定	フロントー床置
ファン制御	標準
設置角度	水平
ランプ選択	クワッド
ランプリレー	オフ
RS-232C	
システム情報	
エアフィルター清掃	
日付と時刻	
スタートアップ ログ	ログ1
パスワード入力	
◆ 項目選択	
◆ 切換	

2. ◀▶ボタンで「設置角度」を切り換える

• ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **水平:**
標準の設置です。
- **垂直:**
垂直方向に大きく傾けて（水平から 30° を超える角度で）投写するときに選択します。

お知らせ

- 垂直下向きおよび、その前後 45° の向きには設置できません。（11 ページ）

出力解像度 (D10000 のみ)

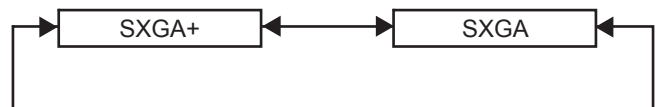
アスペクト比が 5:4 のスクリーン (SXGA 用) に投写する場合、SXGA 解像度で表示することができます。

1. ▲▼ボタンで「出力解像度」を選択する

オプション2		1/2
プロジェクターID	2	
設置設定	フロントー床置	
ファン制御	標準	
設置角度	水平	
出力解像度	SXGA+	
ランプ選択	クワッド	
ランプリレー	オフ	
RS-232C		
システム情報		
エアフィルター清掃		
日付と時刻		
スタートアップ ログ	ログ1	
◆ 項目選択		
◆ 切換		

2. ◀▶ボタンで「出力解像度」を切り換える

• ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- **SXGA+ (1 400 × 1 050) :**
アスペクト比が 4:3 のスクリーンに投写するとき
- **SXGA (1 280 × 1 024) :**
アスペクト比が 5:4 のスクリーンに投写するとき

ランプ選択

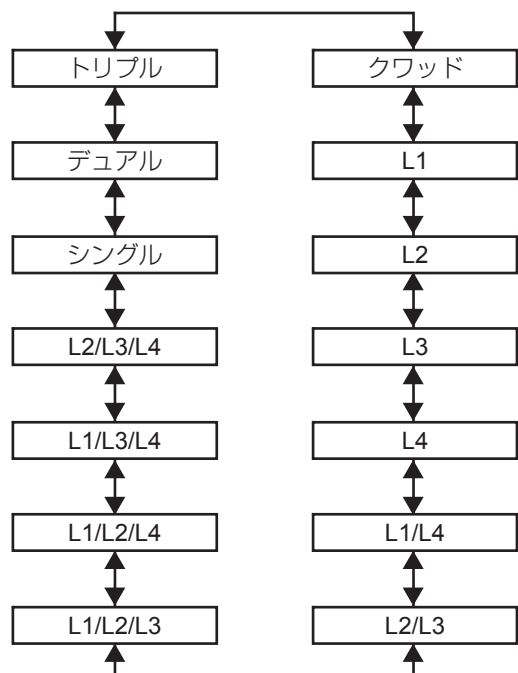
本体に内蔵されている 4 個の光源ランプを使用条件や目的に合わせ 4 段階の明るさに切り換えることができます。

1. ▲▼ボタンで「ランプ選択」を選択する

オプション2	
プロジェクターID	2
設置設定	フロントー床置
ファン制御	標準
設置角度	水平
ランプ選択	クワッド
ランプリレー	オフ
RS-232C	
システム情報	
エアフィルター清掃	
日付と時刻	
スタートアップ ログ	ログ1
パスワード入力	
◆ 項目選択	
◆ 切換	ENTER 実行

2. ◀▶ボタンで「ランプ選択」を切り換える

• ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- 「クワッド」：4 灯が点灯します。
- 「L1」：1 灯が点灯します。
(ランプユニット 1 を優先します)
- 「L2」：1 灯が点灯します。
(ランプユニット 2 を優先します)
- 「L3」：1 灯が点灯します。
(ランプユニット 3 を優先します)
- 「L4」：1 灯が点灯します。
(ランプユニット 4 を優先します)
- 「L1/L4」：2 灯が点灯します。
(ランプユニット 1 と 4 を優先します)
- 「L2/L3」：2 灯が点灯します。
(ランプユニット 2 と 3 を優先します)
- 「L1/L2/L3」：3 灯が点灯します。
(ランプユニット 1 と 2 と 3 を優先します)
- 「L1/L2/L4」：3 灯が点灯します。
(ランプユニット 1 と 2 と 4 を優先します)
- 「L1/L3/L4」：3 灯が点灯します。
(ランプユニット 1 と 3 と 4 を優先します)
- 「L2/L3/L4」：3 灯が点灯します。
(ランプユニット 2 と 3 と 4 を優先します)
- 「シングル」：1 灯が点灯します。
(使用時間の短いランプを自動選択します)
- 「デュアル」：2 灯が点灯します。
(ランプユニット 1 と 4 か、2 と 3 の使用時間の短いランプを自動選択します)
- 「トリプル」：3 灯が点灯します。
(使用時間の短いランプを自動選択します)

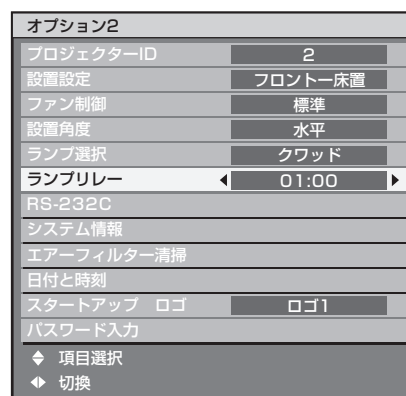
- ランプ選択メニューの文字色は、選択されている場合は「緑色」になります。またランプの状態により文字色が変わります。
「黄色」：いずれかのランプが点灯に失敗している場合
「白色」：選択されていない項目
「赤色」：点灯に失敗しているランプ

ランプリレー

24 時間以上連続で使用する場合、自動で点灯するランプを切り換えることによりランプの連続使用による劣化を軽減することができます。

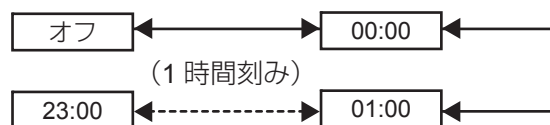
- ランプ選択で「シングル」(1 灯)、「デュアル」(2 灯)、「トリプル」(3 灯)、「クワッド」(4 灯) を選択した場合にのみ「ランプリレー」が有効になります。

1. ▲▼ボタンで「ランプリレー」を選択する



2. ◀▶ボタンで「ランプリレー」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のようにランプを切り換える時刻が切り換わります。



3. エンター (ENTER) ボタンを押す

お知らせ

- 「クワッド」以外のとき、ランプが失灯または、積算時間が 2 000 時間を超えるとそのランプを消灯し、他のランプを点灯させます。「クワッド」のときは失灯または 2 000 時間を超えたランプは消灯し、2 000 時間を超えていないランプのみ点灯します。また、全てのランプ積算時間が 2 000 時間を超えると本機はスタンバイ状態になります。
- 点灯させないランプユニットも、必ず装着してください。
- ランプ選択を変更された場合、ランプ切り換え実行中映像ミュートがかかります。(7 ~ 25 秒)
- ランプ切り換え時には、照度低下を防ぐため一時的に指定したランプの個数よりも多くのランプが点灯します。

お知らせ

- ランプ選択を変更された場合、ランプ切り換え実行中映像ミュートがかかります。(7 ~ 25 秒)
- ランプ選択で「シングル」「デュアル」を選択している場合、指定時刻にランプを切り換えます。
- ランプ選択で「トリプル」を選択している場合、指定時刻から 2 時間ごとにランプ切り換えを合計 3 度行い、その後翌指定時刻まで直前の状態を維持します。
- ランプ選択で「クワッド」を選択した場合、指定時刻から 3 灯になり、2 時間ごとに 3 灯のランプ切り換えを合計 4 度行います。その後指定時刻から 8 時間後に 4 灯になり、翌指定時刻から再び 3 灯での切り換えを行いません。
- 設定時刻はローカル時刻です。(82 ページ)

オプション2の設定 (つづき)

RS-232C

通信条件を設定します。

1. ▲▼ボタンで「RS-232C」を選択する

オプション2	
プロジェクターID	2
設置設定	フロントー床置
ファン制御	標準
設置角度	水平
ランプ選択	クワッド
ランプリレー	オフ
RS-232C	
システム情報	
エアフィルター清掃	
日付と時刻	
スタートアップ ログ	ログ1
パスワード入力	
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

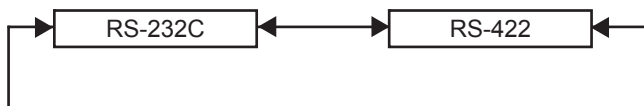
• 「RS-232C」画面を表示します。

RS-232C	
シリアル入力(SERIAL IN) ◀	RS-232C ▶
(入力) 通信速度	38400
(入力) パリティ	偶数
(出力) 通信速度	38400
(出力) パリティ	偶数
VPSシステム	マスター
グループ	A
	マスター
◆ 項目選択	
◆ 切換	

3. ▲▼ボタンで「シリアル入力」を選択する

4. ◀▶ボタンで「シリアル入力」を切り換える

• ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



5. ▲▼ボタンを押して通信条件を選ぶ
6. ◀▶ボタンを押して設定する
7. メニュー (MENU) ボタンを3回押す

• オンスクリーン表示が消え、通常画面に戻ります。

システム情報

本機のシステム情報を見ることができます。

1. ▲▼ボタンで「システム情報」を選択する

オプション2	
プロジェクターID	2
設置設定	フロントー床置
ファン制御	標準
設置角度	水平
ランプ選択	クワッド
ランプリレー	オフ
RS-232C	
システム情報	
エアフィルター清掃	
日付と時刻	
スタートアップ ログ	ログ1
パスワード入力	
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

• 「システム情報」画面を表示します。

システム情報	
ROMバージョン	1.00.00
ネットワークバージョン	1.00
サブバージョン	1.00
プロジェクター使用時間	1000h
ランプ1使用時間	500h
ランプ2使用時間	500h
ランプ3使用時間	500h
ランプ4使用時間	500h
◆ 切換	

3. ◀▶ボタンを押して次ページへ移動する

システム情報	
オンカウント	
パワーオン	100
ランプ1オン	50
ランプ2オン	50
ランプ3オン	50
ランプ4オン	50
シャッター	9 (0)
エアフィルター清掃	3 (0)
AUX	MD77DV:DN
登録信号数	1/96
◆ 切換	

エアフィルター清掃

エアフィルターの清掃設定ができます。

1. ▲▼ボタンで「エアフィルター清掃」を選択する

オプション2	
プロジェクターID	2
設置設定	フロントー床置
ファン制御	標準
設置角度	水平
ランプ選択	クワッド
ランプリレー	オフ
RS-232C	
システム情報	
エアフィルター清掃	
日付と時刻	
スタートアップ ログ	ログ1
パスワード入力	
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「エアフィルター清掃」画面を表示します。
- 自動清掃時刻の設定 (「時刻」) と強制清掃 (「実行」) を選択できます。

エアフィルター清掃	
時刻	◀ 00:00 ▶
実行	
◆ 項目選択	
◆ 切換	

3. ▲▼ボタンで「時刻」を選択する

- 「時刻」を選択して、自動的に清掃を行う時刻を設定します。
- ただちに清掃を実行したいときは「実行」を選択して、エンター (ENTER) ボタンを押してください。

4. ◀▶ボタンで「時刻」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

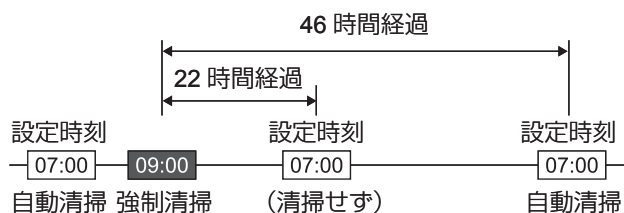


- 初期設定 (デフォルト) は 00:00 (深夜零時) になっています。

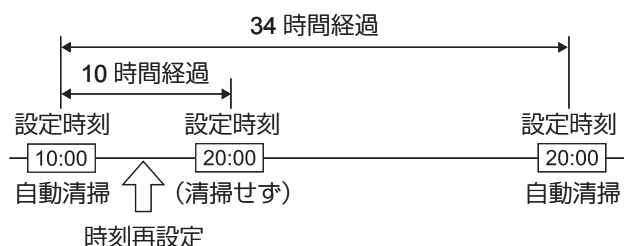
例: 初期設定の状態では、00:00 に投写状態であれば自動的に清掃を開始します。
7:00 に設定した場合、その時刻に投写状態であれば自動的に清掃を開始します。

お知らせ

- エアフィルター清掃では油分やタバコのヤニなど固着する汚れを清掃することはできません。
- エアフィルター清掃中は、エアフィルタークリーニングモニター (FILTER CLEANING) が青色で点滅します。エアフィルター異常時は、エアフィルタークリーニングモニター (FILTER CLEANING) が赤色で点灯します。
- 清掃時間は約 30 秒～ 40 秒です。
- 設定時刻はローカル時刻です。(82 ページ)
- スタンバイ状態では自動清掃は行いません。
- 設定時刻に投写状態でない場合は、自動清掃は行いません。
- 前回の清掃 (自動清掃および強制清掃) から 24 時間以上経過していなければ自動清掃は行いません。
例: 清掃時刻の設定が 7:00 で、9:00 に強制清掃を行った場合、翌日 7:00 の自動清掃は行いません。



- 前回の清掃から 24 時間以内の時刻に設定を選択しなおした場合、その時刻には自動清掃は行いません。翌日の設定時刻に清掃を行います。
例: 10:00 に清掃を行った後に、清掃時刻を 20:00 に設定変更した場合、自動清掃は翌日の 20:00 に行います。



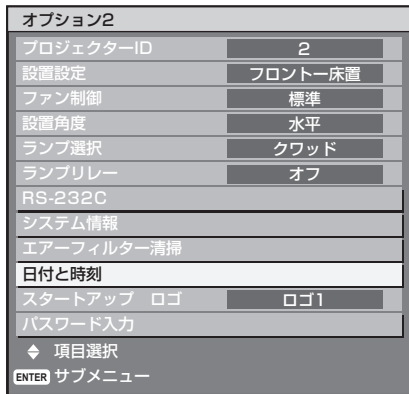
- 投写を開始 (電源オン) した際に、前回の清掃から 24 時間以上経過していた場合は、直ちに自動的に清掃を開始します。

オプション2の設定 (つづき)

日付と時刻設定

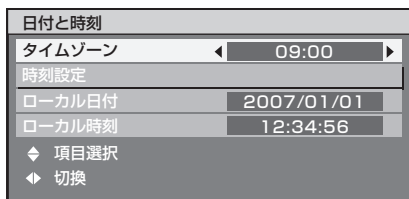
本機内蔵時計のタイムゾーンと日時を設定できます。

1. ▲▼ボタンで「日付と時刻」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

• 「日付と時刻」画面を表示します。



3. ▲▼ボタンで「タイムゾーン」を選択する

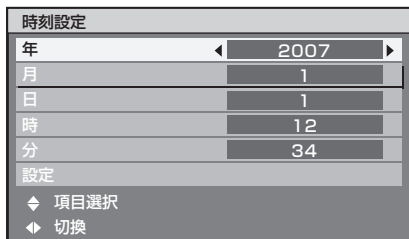
4. ◀▶ボタンで「タイムゾーン」を切り換える

• 日本は「9:00」で設定してください。

5. ▲▼ボタンで「時刻設定」を選択する

6. エンター (ENTER) ボタンを押す

• 「時刻設定」画面を表示します。



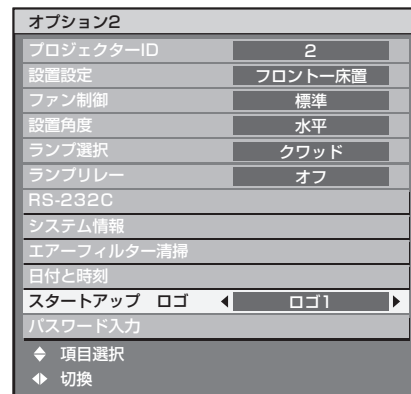
7. ▲▼ボタンで設定したい項目を選択し、◀▶ボタンでローカル時刻を設定する

8. ▲▼ボタンで「設定」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す
• 時刻設定が完了します。

スタートアップロゴ

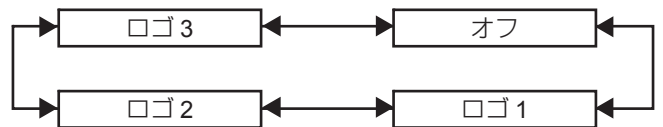
電源を入れた時に表示するロゴを設定します。

1. ▲▼ボタンで「スタートアップロゴ」を選択する



2. ◀▶ボタンで「スタートアップロゴ」を切り換える

• ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- ロゴ3:
Panasonic ロゴと DIGITAL PROJECTOR ロゴを表示します。
- オフ:
スタートアップロゴ表示を無効にします。
- ロゴ1:
ユーザーが登録した画像を表示します。
- ロゴ2:
ユーザーが登録した画像を表示します。

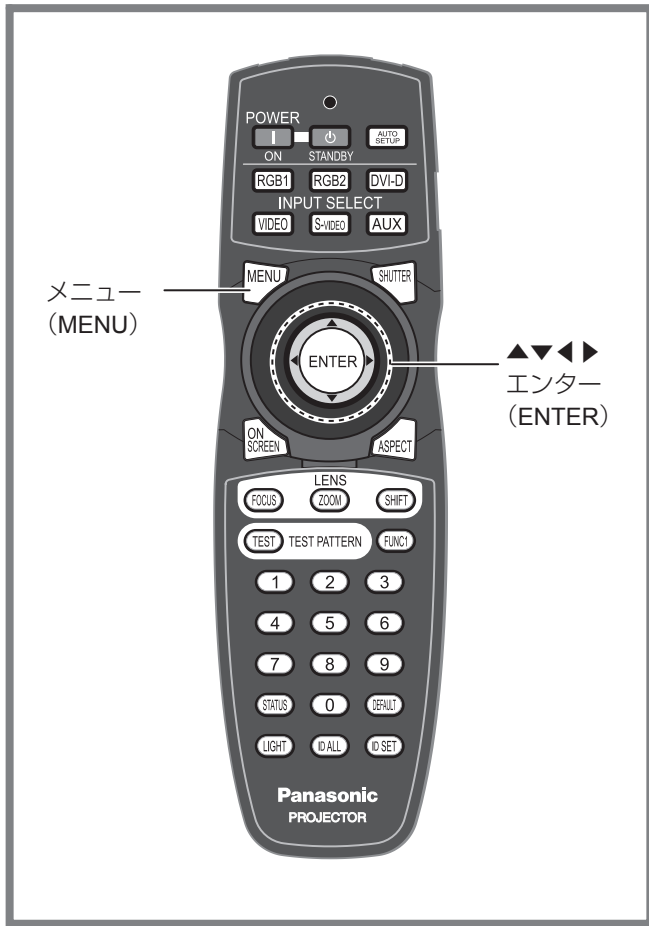
お知らせ

- 「ロゴ1」と「ロゴ2」の画像作成には、別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。

パスワード入力

サービスマンが使用します。
リモコンの数字ボタン (0 ~ 9) で入力し、エンター (ENTER) ボタンで確定します。

内蔵テストパターンを表示



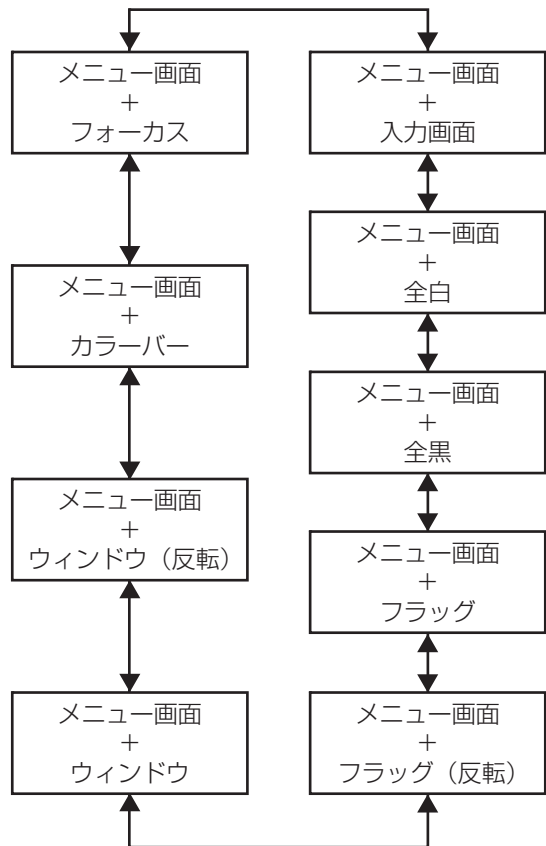
テストパターン

位置、サイズなどの調整内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種設定を行ってください。

1. ◀▶ボタンで各種テストパターンを切り換える

■ 内蔵テストパターンの表示チャート

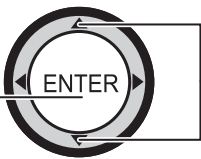
◀▶ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



セットの状態を確認するためのテストパターンを8種類内蔵しています。

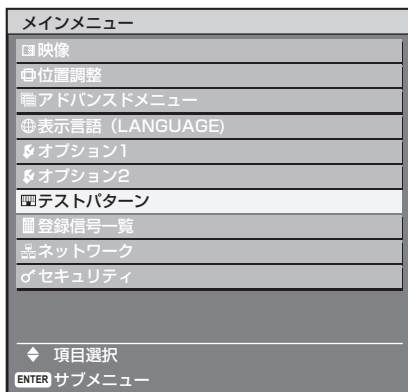


「メインメニュー」画面を表示する



「テストパターン」を選択する

「テストパターン」画面を表示する



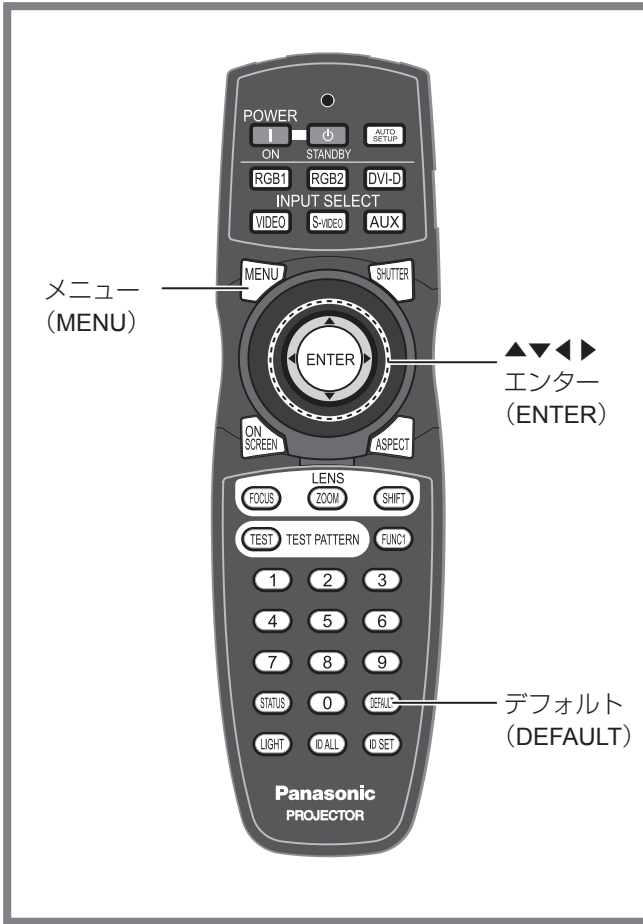
便利な使い方

ネットワーク機能の使いかた

ネットワーク機能の初期設定

ネットワーク機能を使用する前に、ネットワーク機能の初期設定を行ってください。

1. ▲▼ボタンで各項目を選択し、エンター（ENTER）ボタンで設定を変更する



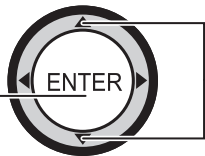
ネットワーク	
ホストネーム	PROJECTOR
DHCP	オフ
IPアドレス	192.168. 0. 8
ポート	80
サブネットマスク	255.255.255. 0
ゲートウェイ	192.168. 0. 1
ステータス	
保存	
◆ 項目選択	
ENTER 調整	

- **ホストネーム（ホスト名の表示および設定）：**
DHCP サーバーを利用する場合などに変更してください。
- **DHCP（DHCP クライアント機能）：**
DHCP サーバーを利用し自動的に IP アドレスを取得する場合は DHCP 項目をオンにします。DHCP サーバーを利用しない場合はオフにします。
- **IP アドレス（IP アドレスの表示および設定）：**
DHCP サーバーを利用しない場合は IP アドレスを入力します。
- **ポート（Web ブラウザとの接続ポート番号の表示および設定）：**
通常は 80 を使用します。
- **サブネットマスク（サブネットマスクの表示および設定）：**
DHCP サーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。
- **ゲートウェイ（ゲートウェイアドレスの表示および設定）：**
DHCP サーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。

ネットワーク機能を使用することができます。



「メインメニュー」画面を表示する



「ネットワーク」を選択する

「ネットワーク」画面を表示する

メインメニュー	
□ 映像	
□ 位置調整	
≡ アドバンスドメニュー	
⊕ 表示言語 (LANGUAGE)	
⊕ オプション1	
⊕ オプション2	
⊕ テストパターン	
⊕ 登録信号一覧	
⊕ ネットワーク	
⊕ セキュリティ	
◆ 項目選択	
ENTER サブメニュー	

2. ▲▼ボタンで「保存」を選択し、 エンター（ENTER）ボタンを押す

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認ください。
- IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ネットワーク機能の設定を 工場出荷状態に戻す

IP アドレスやパスワード、Eメールの設定などネットワーク機能の全ての設定を工場出荷状態にできます。

1. ▲▼ボタンで「保存」を選択する

ネットワーク	
ホストネーム	PROJECTOR
DHCP	オフ
IPアドレス	192.168. 0. 8
ポート	80
サブネットマスク	255.255.255. 0
ゲートウェイ	192.168. 0. 1
ステータス	
保存	

◆ 項目選択
ENTER 保存

2. デフォルト（DEFAULT）ボタンを 3 秒間押し続ける

- 確認画面を表示します。
実行しない場合はメニュー（MENU）ボタンを押すと「ネットワーク設定」画面を表示します。

全てのネットワーク設定を
工場出荷状態に戻しますか？

実行 中止

◆ 切換
ENTER 実行

3. エンター（ENTER）ボタンを押す

- IP アドレスやパスワード、Eメールの設定などネットワーク機能の全ての設定は工場出荷状態に戻ります。

ネットワーク機能の使いかた（つづき）

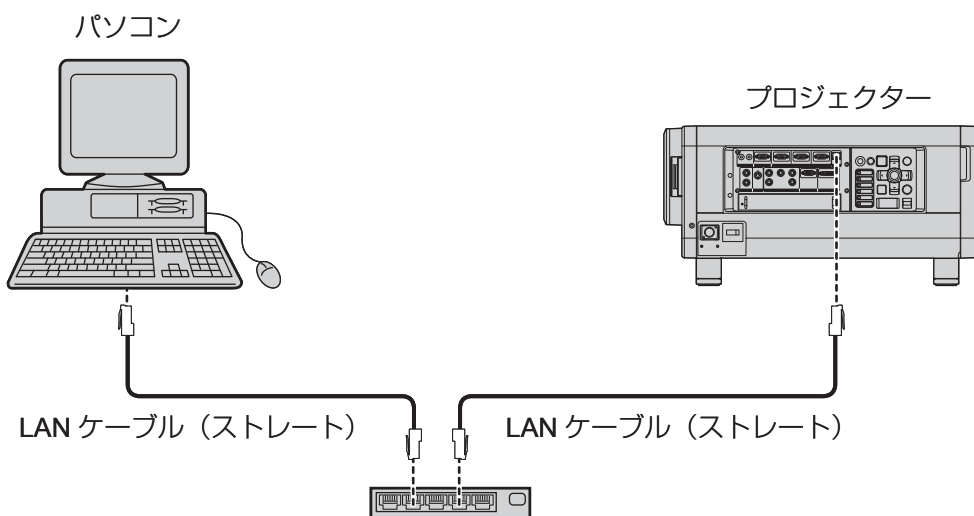
ネットワーク接続

本機はネットワーク機能を備えており、Web ブラウザコントロールを使用してパソコンから下記のような操作できます。

- プロジェクターの設定と調整
- プロジェクターの状態表示
- プロジェクターが異常時の E メールメッセージの送信

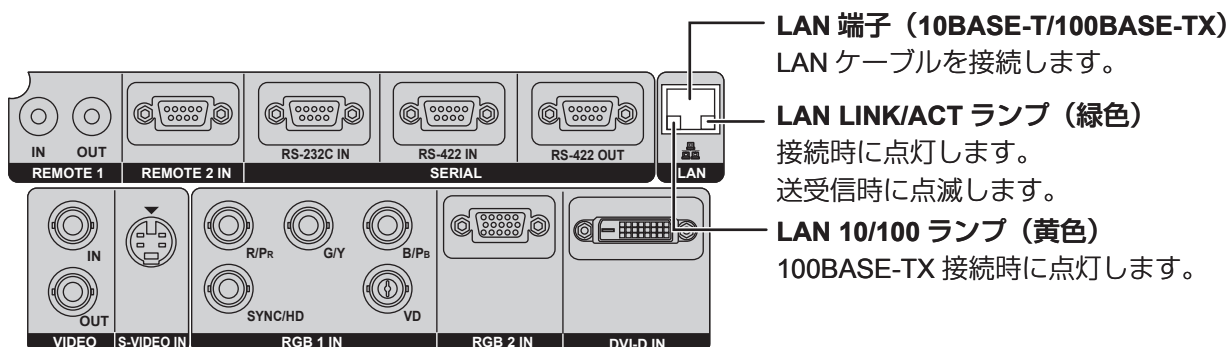
お知らせ

- ネットワーク機能を使用する場合は、LAN ケーブルが必要です。



- 本機能をご使用になる場合は、Web ブラウザが必要です。あらかじめ Web ブラウザが利用できることを確認してください。
- パソコンの OS は、Microsoft Windows 98SE/Me/NT4.0/2000/XP をご利用ください。
- Web ブラウザは Internet Explorer 6.0 以降または Netscape Communicator 7.0 以降をご利用ください。
- E-メール機能をご使用になる場合は、E-メールサーバーと通信する必要があります。あらかじめ E-メールが利用できることを確認してください。
- LAN ケーブルはストレート結線でカテゴリ 5 以上対応のものをご使用ください。
- LAN ケーブル長は 100 m 以下でご使用ください。

■ ネットワーク機能の各部の名称と働き



お願い

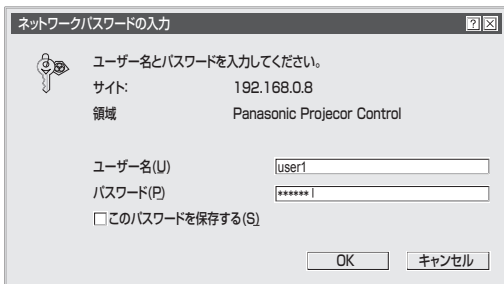
- 静電気を帯びた手（体）で LAN 端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。LAN 端子及び LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。

Web ブラウザからのアクセスのしかた

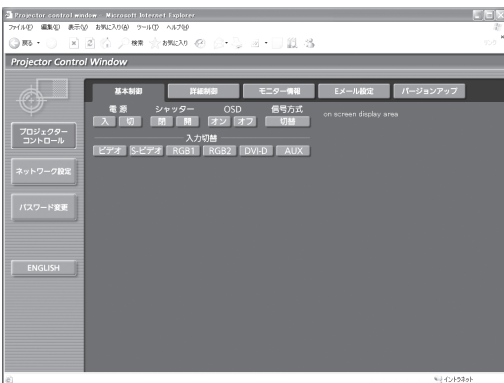
1. パソコンの Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザの URL 入力欄に本機で設定した IP アドレスを入力します。



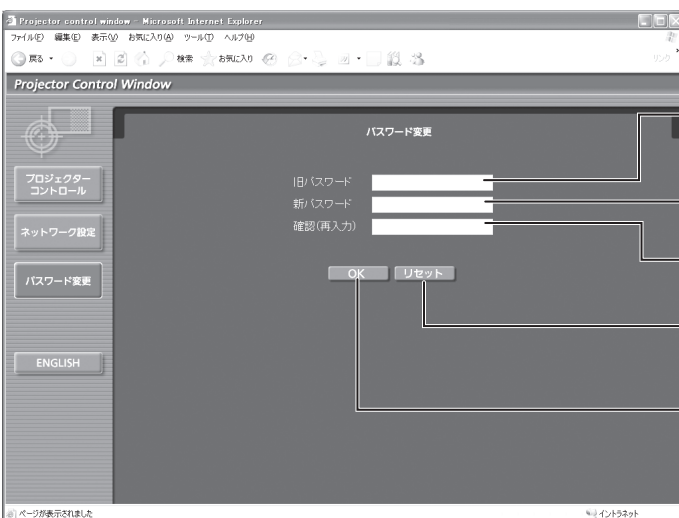
3. ユーザー名とパスワードを入力します。
 - 出荷時の設定は、ユーザー名: user1、パスワード: panasonic (小文字) です。



4. OK を押すと基本制御ページが表示されます。



- パスワード変更ページ
[パスワード変更] をクリックします。



- 旧パスワード入力欄
- 新パスワード入力欄
- 新パスワード (確認) 入力欄
- 入力した文字を全て消去するためのボタン
- パスワード変更の実行ボタン

お知らせ

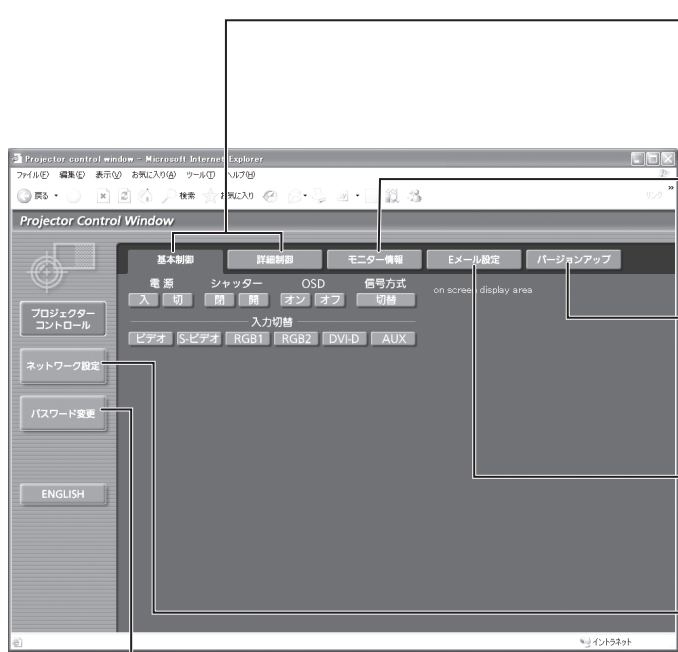
- Web ブラウザを同時に複数立ち上げて、設定や制御を行うのは避けてください。
- まず最初にパスワードの変更を行ってください。

ネットワーク機能の使いかた（つづき）

■ 基本制御ページ

Web ブラウザからアクセスしたときの最初のページです。

他のページから移行するときは、[プロジェクターコントロール] → [基本制御] をクリックします。



コントロールボタン
この項目をクリックすると、プロジェクターの制御ページが表示されます。

モニター情報ボタン
この項目をクリックすると、プロジェクターの状態が表示されます。

アップデートボタン
この項目をクリックすると、プロジェクターのファームウェアのアップデートページが表示されます。

E-メール設定ボタン
この項目をクリックすると、E-メール設定ページが表示されます。

ネットワーク設定ボタン
この項目をクリックすると、IP アドレスなどのネットワーク設定ページが表示されます。

パスワード変更ボタン



電源の ON/OFF 操作

シャッターの操作

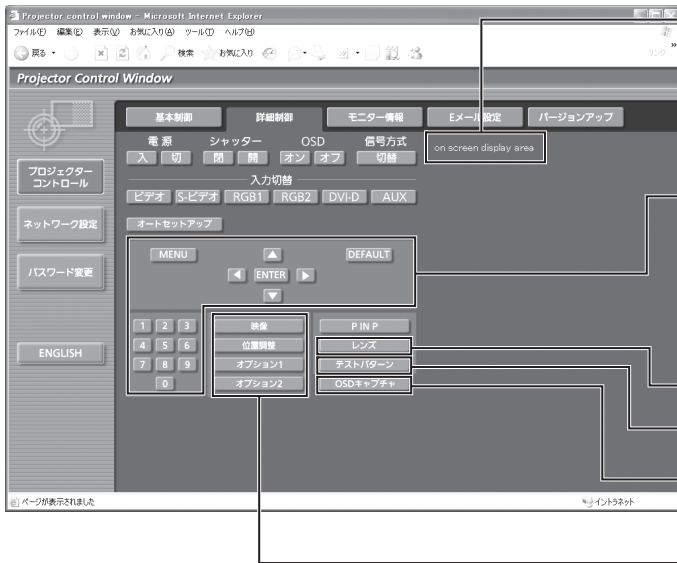
オンスクリーン表示 (OSD) の表示／非表示の切り換え

システム方式の切り換え

入力切り換え

■ 詳細制御ページ

[プロジェクターコントロール] → [詳細制御] をクリックします。



オンスクリーン状態を表示します。プロジェクターのオンスクリーンがオフに設定されていても表示します。

リモコンのボタンと同じように各ボタンを押すことによりプロジェクターを制御します。制御後に制御ページ右側のオンスクリーンを更新します。

レンズの調整

テストパターンの表示

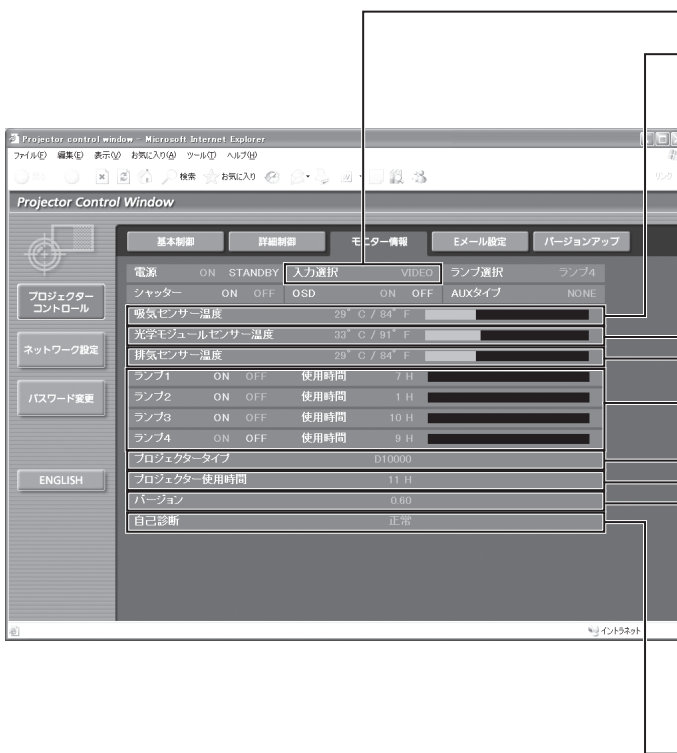
制御ページ右側のオンスクリーンを最新の状態に更新します。

各メニューの表示

■ モニター情報ページ

[プロジェクターコントロール] → [モニター情報] をクリックします。

以下の項目における本機の状態を表示します。



入力切り換えの状態を表示します。

プロジェクターの吸気温度状態を表示します。

プロジェクターの庫内温度状態を表示します。

プロジェクターの排気温度状態を表示します。

ランプの点灯時間を表示します。

プロジェクターの種類を表示します。

プロジェクターの稼働時間を表示します。

プロジェクター本体のファームウェアバージョンを表示します。

自己診断情報を表示します。

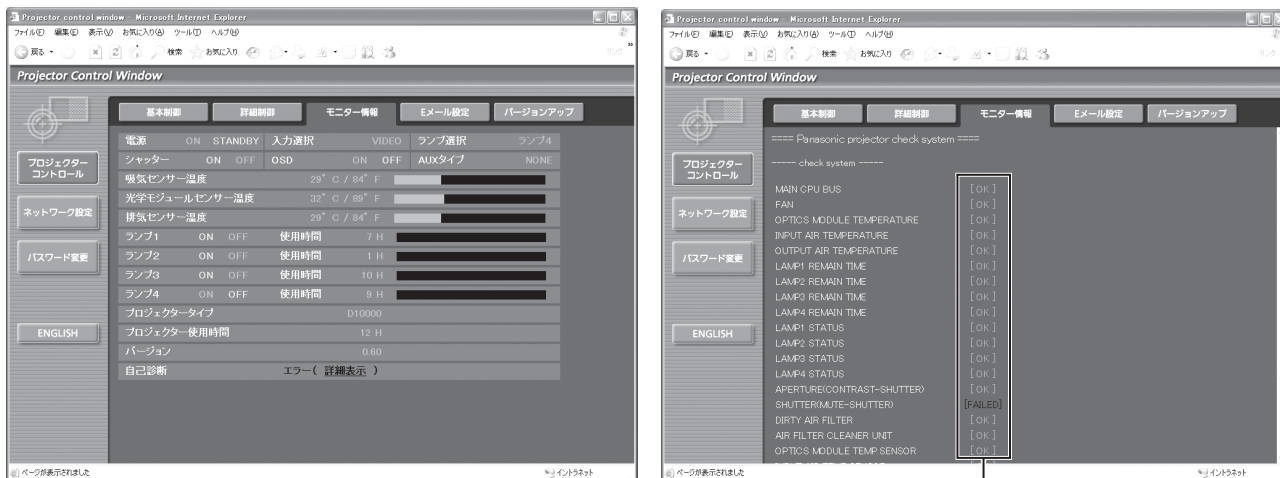
便利な使い方

ネットワーク機能の使いかた（つづき）

■ エラー情報ページ

モニター情報画面で **エラー（詳細表示）** が表示されたとき、その部分をクリックするとエラー内容が表示されます。

- エラーの内容によっては、プロジェクター保護のためスタンバイ状態になります。



OK : 正常動作
FAILED : 異常発生

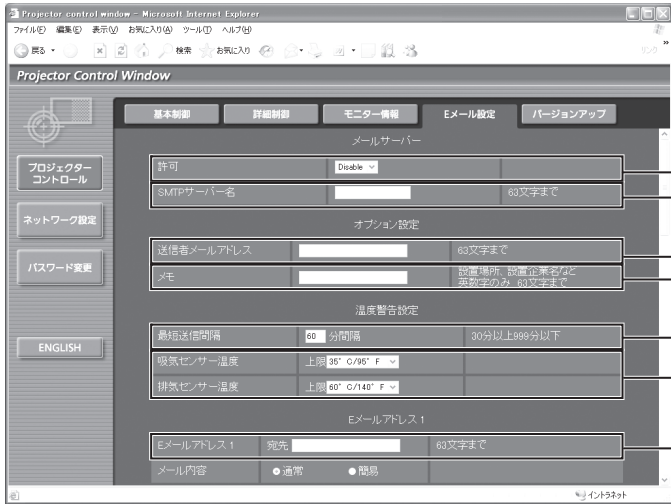
● [FAILED] と表示されたとき :

項目	説明
MAIN CPU BUS	マイコン回路に異常があります。販売店にご相談ください。
FAN	ファンやファン駆動回路に異常があります。販売店にご相談ください。
OPTICS MODULE TEMPERATURE	本機内部の温度が高くなっています。 暖房機器の近くなど、周囲温度の高い環境で使用している可能性があります。
INPUT AIR TEMPERATURE	吸気温度が高くなっています。 暖房機器の近くなど、周囲温度の高い環境で使用している可能性があります。
OUTPUT AIR TEMPERATURE	ランプ周辺の温度が高くなっています。 排気孔がふさがれている可能性があります。
LAMP REMAIN TIME	ランプ使用時間が所定の積算時間を越えており、ランプを交換する時期になっています。
LAMP STATUS	ランプ点灯に失敗しています。 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
APERTURE (CONTRAST-SHUTTER)	コントラストシャッター回路に異常があります。販売店にご相談ください。
SHUTTER (MUTE-SHUTTER)	シャッター回路に異常があります。販売店にご相談ください。
DIRTY AIR FILTER	エアフィルターにほこりがたまり過ぎています。 37 ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、エアフィルターの掃除を行ってください。(108 ~ 109 ページ)
AIR FILTER CLEANER UNIT	エアフィルターユニットが装着されていません。エアフィルターユニットを装着してください。
OPTICS MODULE TEMP.SENSOR	本機内部の温度感知センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
INPUT AIR TEMP.SENSOR	吸気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
OUTPUT TEMP. SENSOR	排気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
BATTERY	電池交換が必要です。販売店にご相談ください。
AIRFLOW SENSOR	風量センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
AC POWER	AC 入力 of 電圧が低下しています。本機の消費電流に対し、余裕のある電気配線にしてください。
LENS SHIFT	レンズシフト回路に異常があります。販売店にご相談ください。

■ E-メール設定ページ

異常時やランプの使用時間が設定値になったとき、あらかじめ設定しておいた E メールアドレス（最大 2 箇所）にメールを送信することができます。

[プロジェクターコントロール] → [E メール設定] をクリックします。



E-メール機能を使用する場合は Enable を選択してください。

E-メールサーバ (SMTP) の IP アドレスかサーバ名を入力してください。サーバ名を入力する場合は DNS サーバの設定が必要です。

プロジェクターの E-メールアドレスを入力してください。(半角で 63 文字まで)

E-メールの発信元がわかりやすいようにプロジェクターの設置場所などを入力することができます。(半角で 63 文字まで)

温度警告メールの最少時間間隔を変更できます。初期値は 60 分です。この場合、温度警告メールを送信後 60 分間は、再び警告温度になってもメールを送信できません。

温度警告メール用の設定温度を変更できます。この値を超えた場合、温度警告メールを送信します。

送信する宛先の E-メールアドレスを入力してください。

E-メールを送信する条件を選択します。

メール内容：

「通常」か「簡易」を選択します。

エラー発生時：

自己診断でエラーが発生した場合

ランプ 1 使用時間：

ランプ 1 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ 2 使用時間：

ランプ 2 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ 3 使用時間：

ランプ 3 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ 4 使用時間：

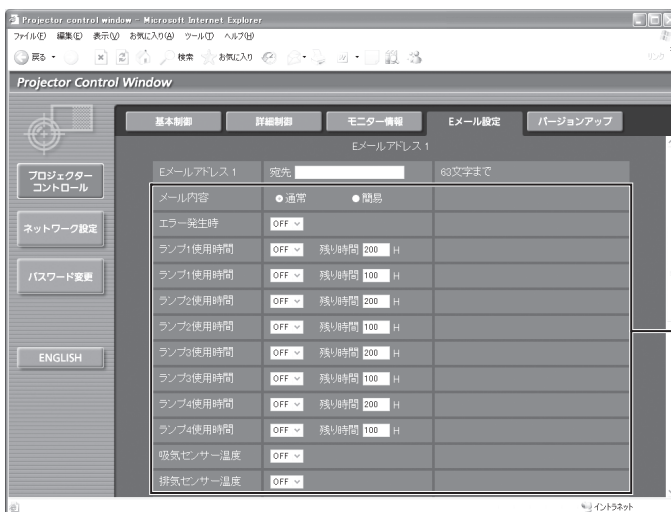
ランプ 4 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

吸気センサー温度

吸気温度が上欄に設定された値になった場合

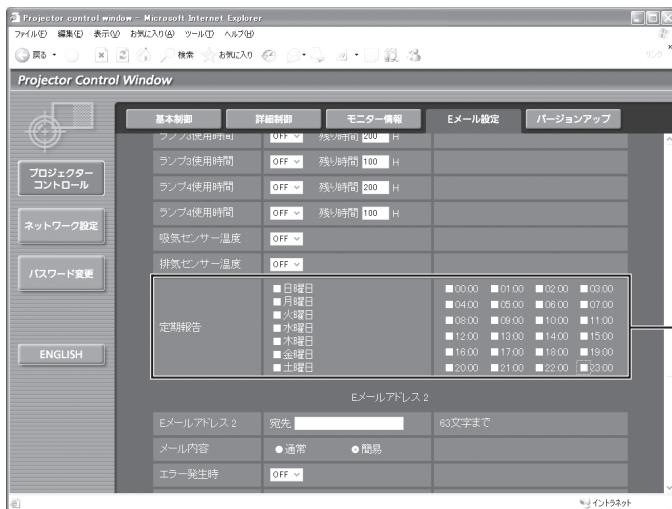
排気センサー温度：

排気温度が上欄に設定された値になった場合

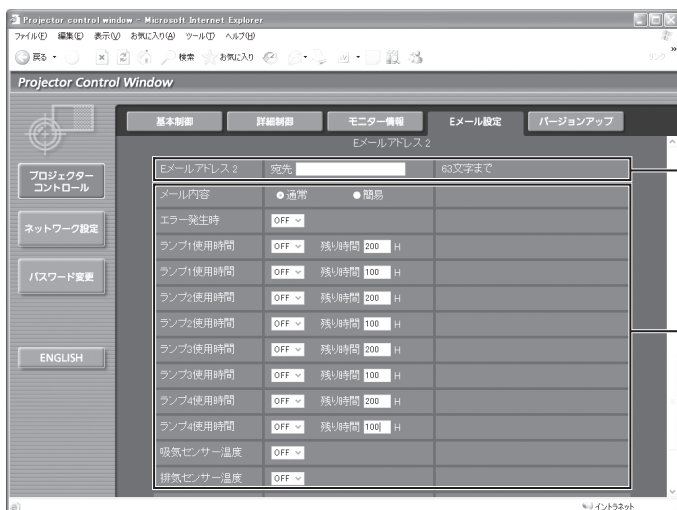


ネットワーク機能の使いかた（つづき）

E-メール設定ページ（つづき）



E-メールを定期的に送信する場合はチェックします。チェックのついている曜日・時間にメールを送信します。



2つのE-メールアドレスを使う場合に、送信する宛先のE-メールアドレスを入力します。2つのE-メールアドレスを使わない場合は未記入にします。

2つ目のE-メールアドレスにE-メールを送信する条件を選択します。

メール内容：

「通常」か「簡易」を選択します。

エラー発生時：

自己診断でエラーが発生した場合

ランプ1使用時間：

ランプ1の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ2使用時間：

ランプ2の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ3使用時間：

ランプ3の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ4使用時間：

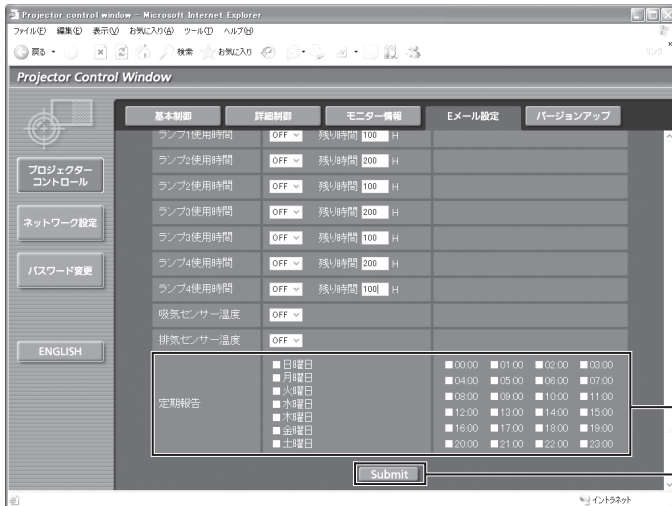
ランプ4の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

吸気センサー温度

吸気温度が上欄に設定された値になった場合

排気センサー温度：

排気温度が上欄に設定された値になった場合

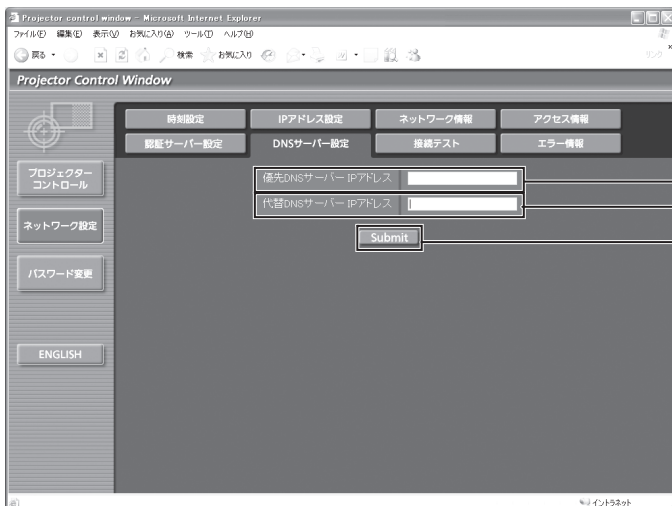


2つ目のE-メールアドレスにE-メールを定期的送信する場合はチェックします。チェックのついている曜日・時間にメールを送信します。

全ての入力を終えたら、Submit ボタンを押します。

■ DNS サーバー設定ページ

[ネットワーク設定] → [DNS サーバー設定] をクリックします。



DNS サーバーアドレス (プライマリー) の入力
 使用可能文字：
 数字 (0-9)、ピリオド (.)
 (例：192.168.0.253)。

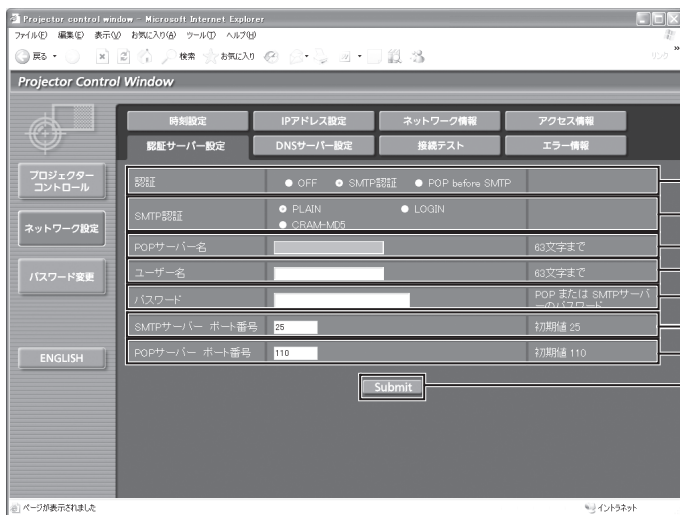
DNS サーバーアドレス (セカンダリー) の入力
 使用可能文字：
 数字 (0-9)、ピリオド (.)
 (例：192.168.0.254)。

設定の更新ボタン

ネットワーク機能の使いかた（つづき）

■ 認証サーバー設定ページ

メール送信に POP 認証または SMTP 認証が必要な場合は認証項目を設定します。
[ネットワーク設定] → [認証サーバー設定] をクリックします。



インターネットプロバイダー側が指示する認証方式を選択します。

SMTP 認証を選択した場合に設定します。

POP サーバー名の入力

使用可能文字：

英数字 (A-Z, a-z, 0-9)

マイナス記号 (-) ピリオド (.)

POP サーバーのユーザー名の入力

POP サーバーのパスワードの入力

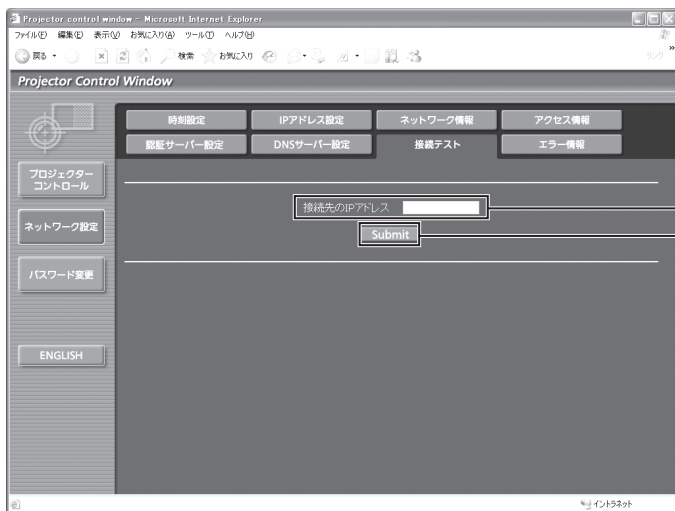
SMTP サーバーのポート番号の入力 (通常は 25 番です)

POP サーバーのポート番号の入力 (通常は 110 番です)

設定の更新ボタン

■ 接続テストページ

メールサーバー、POP サーバー、DNS サーバーなどとネットワークが接続しているかを確認できます。
[ネットワーク設定] → [接続テスト] をクリックします。



テストするサーバーの IP アドレスの入力

テストの実行ボタン

```
PING 198.245.80.10 (198.245.80.10): 56 data bytes
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=0 ttl=255 time=0.7 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=1 ttl=255 time=0.4 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=2 ttl=255 time=0.4 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=3 ttl=255 time=0.4 ms
```

接続できた場合の表示

```
--- 198.245.80.10 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.4/0.4/0.7 ms
```

```
PING 198.245.80.100 (198.245.80.100): 56 data bytes
--- 198.245.80.100 ping statistics ---
4 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

接続できなかった場合の表示

■ 送信するメール内容

- E-メール設定を行ったときはこのようなメールを発信します。

```
Subject: Panasonic projector report(CONFIGURE)
=== Panasonic projector report(CONFIGURE) ===
Projector Type      : D10000
----- E-mail setup data -----
TEMPRATURE WARNING SETUP
MINIMUM TIME       at [ 60] minutes interval
INPUT AIR TEMPERATURE Over [ 35C / 95F ]
OUTPUT AIR TEMPERATURE Over [ 60C / 140F ]

ERROR              [ OFF ]
LAMP1 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
LAMP1 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 100] H
LAMP2 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
LAMP2 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 100] H
LAMP3 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
LAMP3 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 100] H
LAMP4 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
LAMP4 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 100] H
INPUT AIR TEMPERATURE [ OFF ]
OUTPUT AIR TEMPERATURE [ OFF ]

PERIODIC REPORT
Sunday [ OFF ] Monday [ OFF ] Tuesday [ OFF ] Wednesday [ OFF ]
Thursday [ OFF ] Friday [ OFF ] Saturday [ OFF ]

00:00 [ OFF ] 01:00 [ OFF ] 02:00 [ OFF ] 03:00 [ OFF ]
04:00 [ OFF ] 05:00 [ OFF ] 06:00 [ OFF ] 07:00 [ OFF ]
08:00 [ OFF ] 09:00 [ OFF ] 10:00 [ OFF ] 11:00 [ OFF ]
12:00 [ OFF ] 13:00 [ OFF ] 14:00 [ OFF ] 15:00 [ OFF ]
16:00 [ OFF ] 17:00 [ OFF ] 18:00 [ OFF ] 19:00 [ OFF ]
20:00 [ OFF ] 21:00 [ OFF ] 22:00 [ OFF ] 23:00 [ OFF ]

----- check system -----
MAIN CPU BUS      [ OK ]
FAN               [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
INPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
OUTPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
LAMP1 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP2 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP3 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP4 REMAIN TIME [ OK ]
.
```

- エラーになったときはこのようなメールを発信します。

```
Subject: Panasonic projector report(ERROR)
=== Panasonic projector report(ERROR) ===
Projector Type      : D10000
----- check system -----
MAIN CPU BUS      [ OK ]
FAN               [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
INPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
OUTPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
LAMP1 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP2 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP3 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP4 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP1 STATUS      [ FAILED ]
LAMP2 STATUS      [ OK ]
LAMP3 STATUS      [ OK ]
LAMP4 STATUS      [ OK ]
APERTURE(CONTRAST-SHUTTER) [ OK ]
SHUTTER(MUTE-SHUTTER) [ OK ]
DIRTY AIR FILTER  [ OK ]
AIR FILTER CLEANER UNIT [ OK ]
OPTICS MODULE TEMP.SENSOR [ OK ]
INPUT AIR TEMP.SENSOR [ OK ]
OUTPUT AIR TEMP.SENSOR [ OK ]
BATTERY           [ OK ]
AIRFLOW SENSOR    [ OK ]
AC POWER          [ OK ]
(Error code 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 01 00 00)
Input air temperature : 29 degC / 84 degF
Optics module temperature : 33 degC / 91 degF
Output air temperature : 29 degC / 84 degF
SET RUNTIME          17 H
POWER ON             9 times
LAMP1 ON             8 times
LAMP1 HIGH           11 H
LAMP2 ON             0 times
LAMP2 HIGH           0 H
LAMP3 ON             1 times
LAMP3 HIGH           1 H
LAMP4 ON             1 times
LAMP4 HIGH           0 H
LAMP1 REMAIN         1989 H
LAMP2 REMAIN         2000 H
LAMP3 REMAIN         1999 H
LAMP4 REMAIN         2000 H

----- Current status -----
MAIN VERSION         1.00
NETWORK VERSION      1.00

----- Network configuration -----
DHCP Client          OFF
IP address 192.168.0.8
MAC address 00:0B:97:41:E2:4E
wed Oct 11 18:21:44 2006

----- Memo -----
```

ネットワーク機能の使いかた（つづき）

■ 時刻設定ページ

[ネットワーク設定] → [時刻設定] をクリックします。

タイムゾーンの選択
(日本は GMT + 09:00)

タイムゾーンの設定更新ボタン

変更する日にちの入力

日時設定の更新ボタン

変更する時間の入力

お知らせ

- 時刻を設定してもすぐに時刻が合わなくなる場合は、電池交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

■ IP アドレス設定ページ

[ネットワーク設定] → [IP アドレス設定] をクリックします。

DHCP クライアント機能を有効にする場合は ON にします。

DHCP サーバーを利用しない場合は IP アドレスを入力します。

ポート番号を入力します。通常は 80 のままで使用します。

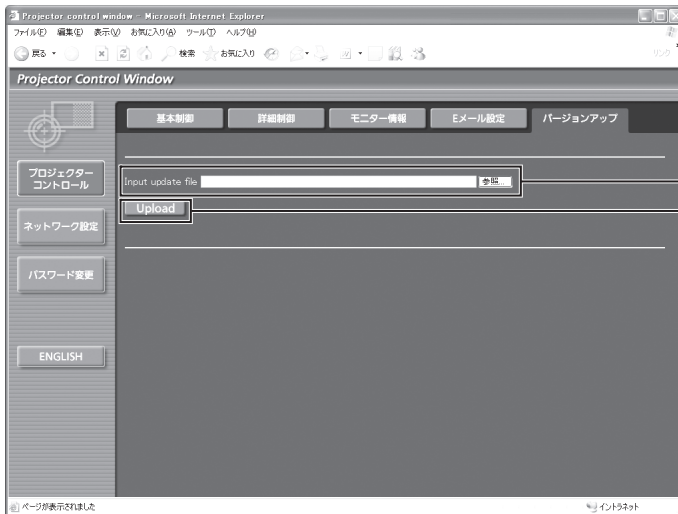
DHCP サーバーを利用しない場合は ネットマスクを入力します。

DHCP サーバーを利用しない場合は ゲートウェイアドレスを入力します。

プロジェクトの名前を入力します。DHCP サーバーを利用する場合などにホスト名が必要であれば入力してください。

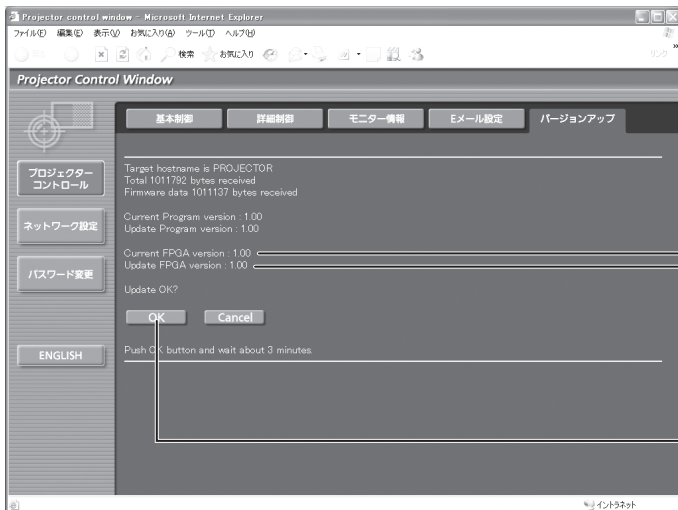
■ ファームウェアのアップデートページ

(ファームウェアのアップデートは、専門知識のある方以外は実施しないでください)



更新するファームウェアのファイル名を入力してください。

ファイル名の入力後 Upload ボタンを押してください。転送が始まります。転送に数十秒程度の時間がかかります。時間はネットワークの状況により異なります。

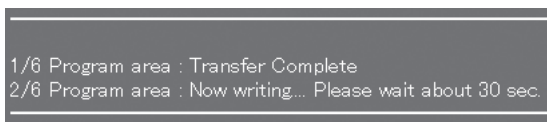
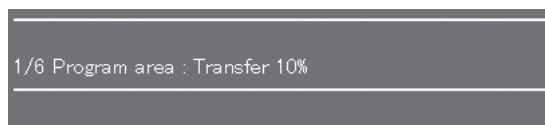


現在のバージョンを表示します。

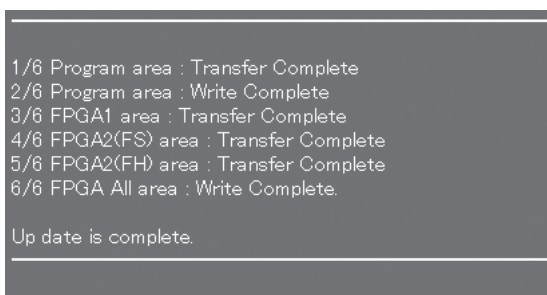
転送した更新するバージョンを表示します。

現在のバージョンと更新するバージョンを確認して間違い無ければ OK ボタンを押してください。書き換えが始まります。書き換え中は電源を切らないでください。

書き換え中はこのようなメッセージを表示します。



書き換えが終了するとこのメッセージを表示します。



PJLink™ プロトコルを使用する

本機のネットワーク機能は PJLink™ クラス 1 に対応しており、PJLink™ プロトコルを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- プロジェクターの設定
- プロジェクターの状態問い合わせ

対応コマンド

PJLink™ プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備考
POWR	電源制御	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」
POWR ?	電源状態問合せ	パラメーター 0 = スタンバイ 2 = クーリング中 1 = 電源「入」 3 = ウォームアップ中
INPT	入力切り換え	パラメーター 11 = RGB1 21 = VIDEO 31 = DVI-D 32 = AUX (ET-MD77DV、ET-MD77SD1、ET-MD77SD3 のいずれかを装着時のみ有効) 12 = RGB2 22 = S-VIDEO
INPT ?	入力切り換え問合せ	
AVMT	シャッター制御	パラメーター 30 = シャッターモード オフ (映像ミュート解除) 31 = シャッターモード オン (映像ミュート)
AVMT ?	シャッター状態問合せ	
ERST?	エラー状態問合せ	パラメーター 1 バイト目: ファンエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 2 バイト目: ランプエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 3 バイト目: 温度エラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 4 バイト目: 0 固定 5 バイト目: フィルターエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 6 バイト目: その他のエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 0 ~ 2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない 1 = 警告 2 = エラー
LAMP ?	ランプ状態問合せ	パラメーター 1 つ目の数字 (1 ~ 5 桁): ランプ 1 積算時間 2 つ目の数字: 0 = ランプ 1 消灯、1 = ランプ 1 点灯 3 つ目の数字 (1 ~ 5 桁): ランプ 2 積算時間 4 つ目の数字: 0 = ランプ 2 消灯、1 = ランプ 2 点灯 5 つ目の数字 (1 ~ 5 桁): ランプ 3 積算時間 6 つ目の数字: 0 = ランプ 3 消灯、1 = ランプ 1 点灯 7 つ目の数字 (1 ~ 5 桁): ランプ 4 積算時間 8 つ目の数字: 0 = ランプ 4 消灯、1 = ランプ 2 点灯
INST ?	入力切り換え一覧問合せ	パラメーターは下記の値を応答します “11 12 21 22 31” (ET-MD77DV、ET-MD77SD1、ET-MD77SD3 のいずれかを装着時は “11 12 21 22 31 32” を応答します)
NAME ?	プロジェクター名問合せ	「ネットワーク」の「ホストネーム」で設定した名称を応答します
INF1 ?	メーカー名問合せ	“Panasonic” と応答します
INF2 ?	機種名問合せ	“D10000” または “DW10000” と応答します
INFO ?	その他情報問合せ	バージョン番号などを応答します
CLSS ?	クラス情報問合せ	“1” と応答します

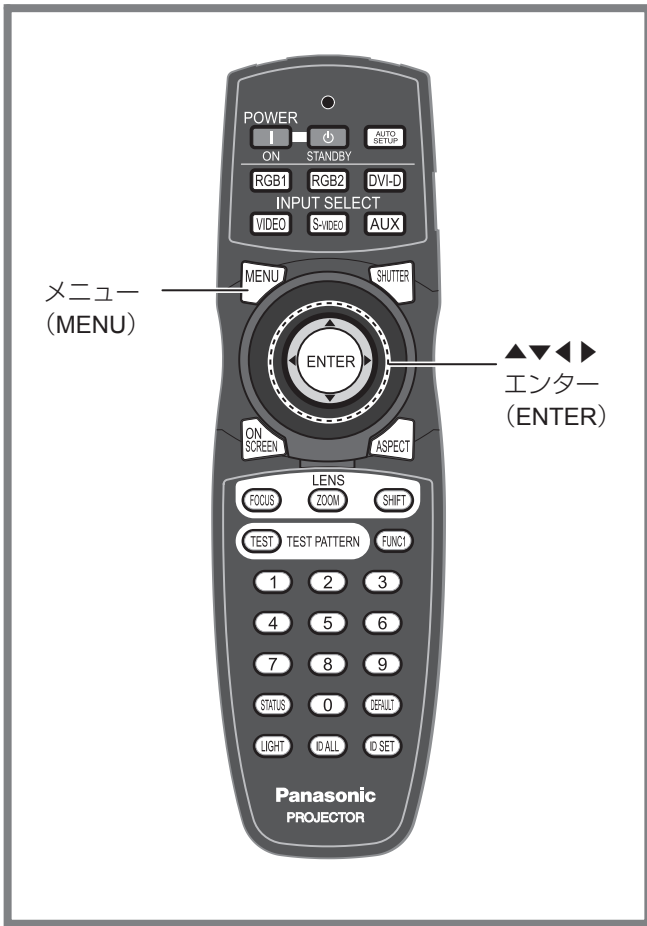
■ PJLink™ セキュリティ認証

PJLink™ で使用するパスワードは Web ブラウザコントロールで設定したパスワードと同じです。認証なしで使用する場合は、Web ブラウザコントロールのパスワードをなしに設定してください。

- PJLink™ は、日本、米国、その他の国や地域における出願商標です。

PJLink™ に関する仕様については (社) ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトを参照してください。URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

セキュリティの設定



セキュリティ画面を表示する

パスワード設定やテキスト設定は、セキュリティ画面を表示してから行ってください。

● 初めてご使用になる場合

1. ▲▶▼◀▲▶▼◀ ボタンを順に押す

● 以前パスワードを変更した場合

変更したパスワードを入力する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

• 「セキュリティ」画面を表示します。

お知らせ

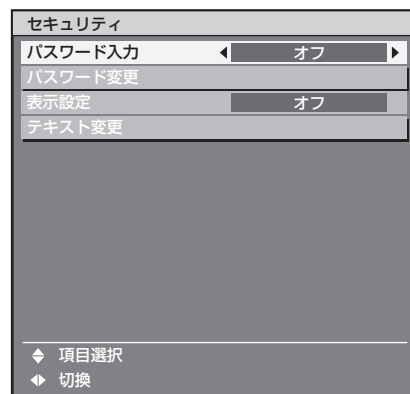
• パスワードを入力しても画面上では*印で表示されます。

パスワードの設定

電源を入れたときに「パスワード」画面を表示させることができます。

正しくパスワードを入力しないと、電源スタンバイ (⏻) ボタン、レンズ調整以外の操作ができなくなります。

1. ▲▼ボタンで「パスワード入力」を選択する



本機のセキュリティ機能としてパスワード入力画面を表示させたり、投写している映像の下に会社の URL などを設定して表示させることができます。

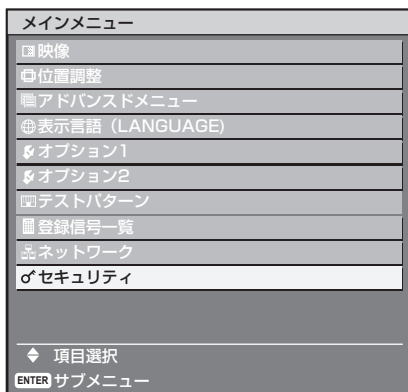


「メインメニュー」画面を表示する



「セキュリティ」を選択する

「パスワード」画面を表示する



セキュリティの設定 (つづき)

2. ◀▶ボタンで「パスワード入力」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

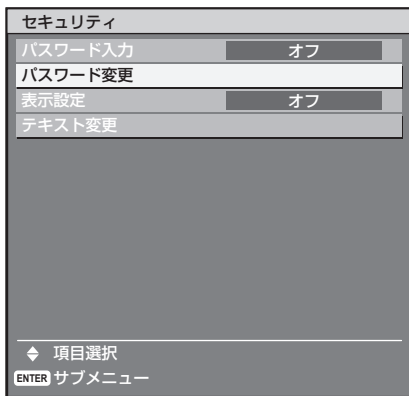


- オン:
パスワード入力を有効にします。
- オフ:
パスワード入力を無効にします。

パスワードの変更

パスワードを変更することができます。

1. ▲▼ボタンで「パスワード変更」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「パスワード入力」画面を表示します。



3. ▲▼◀▶ボタンでパスワードを設定する

- 最大 8 つのボタンを設定できます。

4. エンター (ENTER) ボタンを押す

5. 確認のため、再度パスワードを入力する

6. エンター (ENTER) ボタンを押す

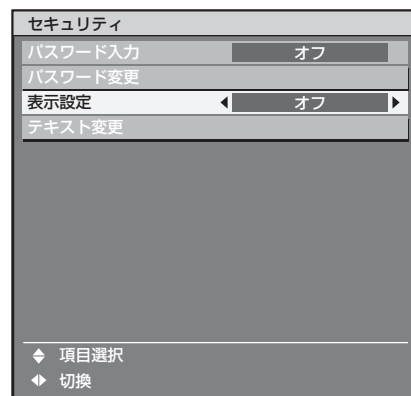
お知らせ

- パスワードを入力しても画面上では*印で表示されます。

表示の設定

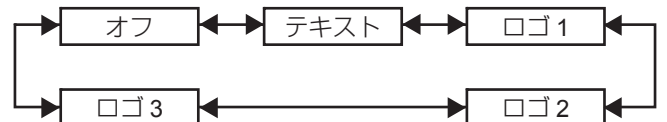
投写中の映像の下に、設定した文字を常時表示させることができます。

1. ▲▼ボタンで「表示設定」を選択する



2. ◀▶ボタンで「表示設定」を切り換える

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



- オフ:
テキスト表示を無効にします。
- テキスト:
テキスト表示を有効にします。
- ロゴ 1:
ユーザーが登録した画像を表示します。
- ロゴ 2:
ユーザーが登録した画像を表示します。
- ロゴ 3:
Panasonic ロゴを表示します。

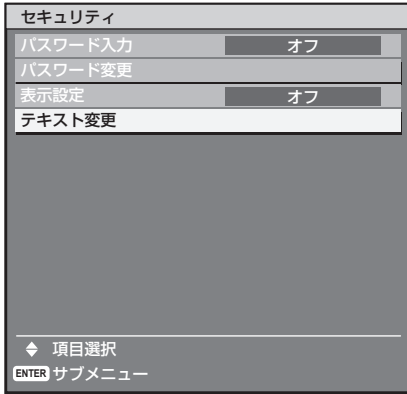
お知らせ

- 「ロゴ 1」と「ロゴ 2」の画像作成には、別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。

テキストの変更

表示設定を「オン」にしたときに表示される文字を変更することができます。

1. ▲▼ボタンで「テキスト変更」を選択する



2. エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「テキスト変更」画面を表示します。



3. ◀▶ボタンで位置を選択し、▲▼ボタンで文字を選択する

4. エンター (ENTER) ボタンを押す

- テキストが変更されます。

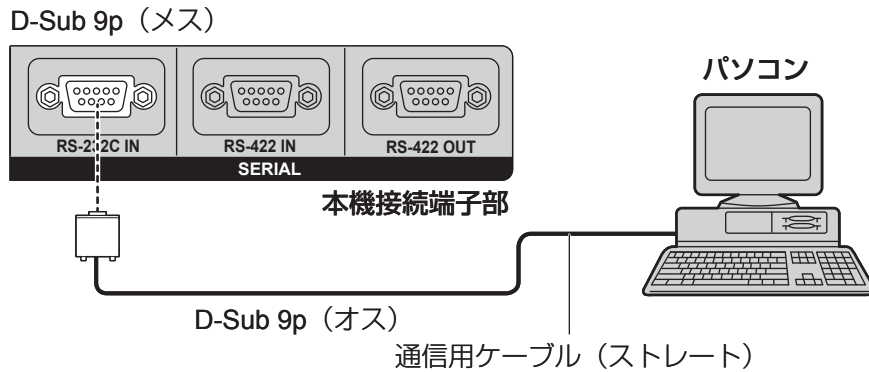
シリアル端子を使う

本体接続端子部のシリアル（SERIAL）端子はRS-232C/RS-422 準拠のためパソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。シリアル出力端子を設けていますので本体の複数制御が可能です。

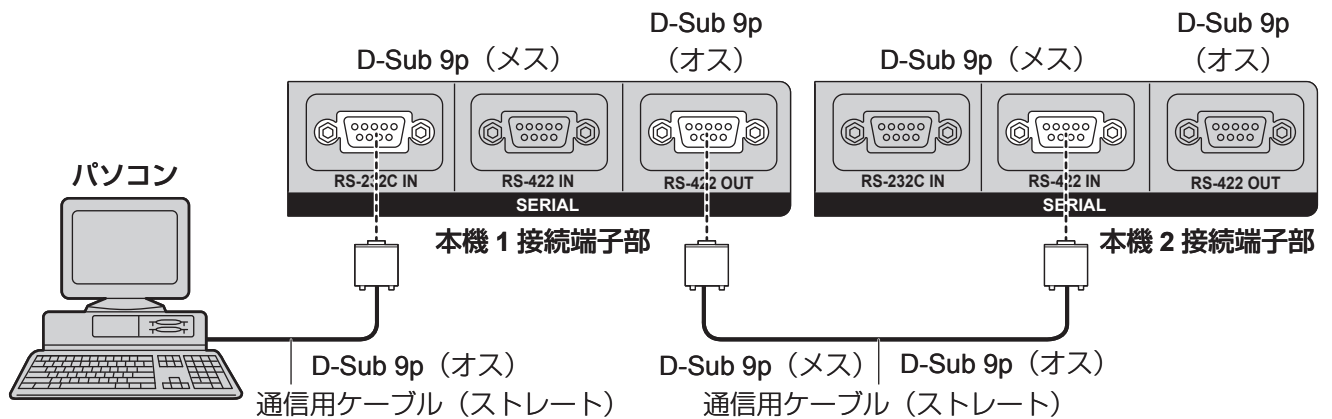
接続例

■ RS-232C の場合

● 1 台の場合



● 複数台の場合



■ ピン配列と信号名

ピン No.	信号名	内容
①		NC
②	TXD	送信データ
③	RXD	受信データ
④		内部で接続されています
⑤	GND	グラウンド
⑥		NC
⑦	CTS	内部で接続されています
⑧	RTS	
⑨		NC

D-Sub 9p(メス)
外側から見た図

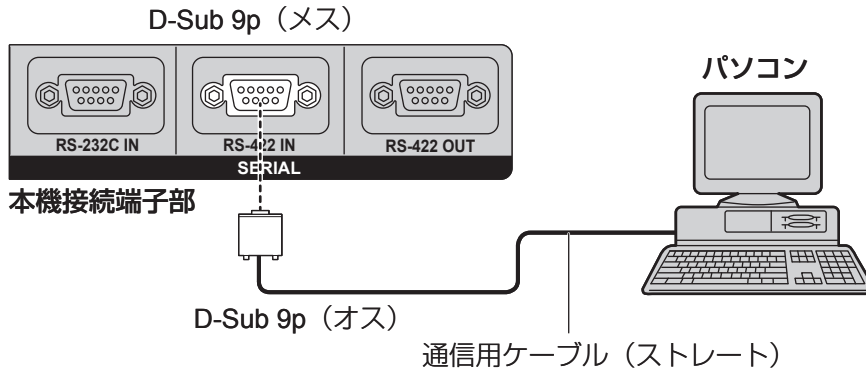
シリアル入力端子

■ 通信条件（工場出荷設定）

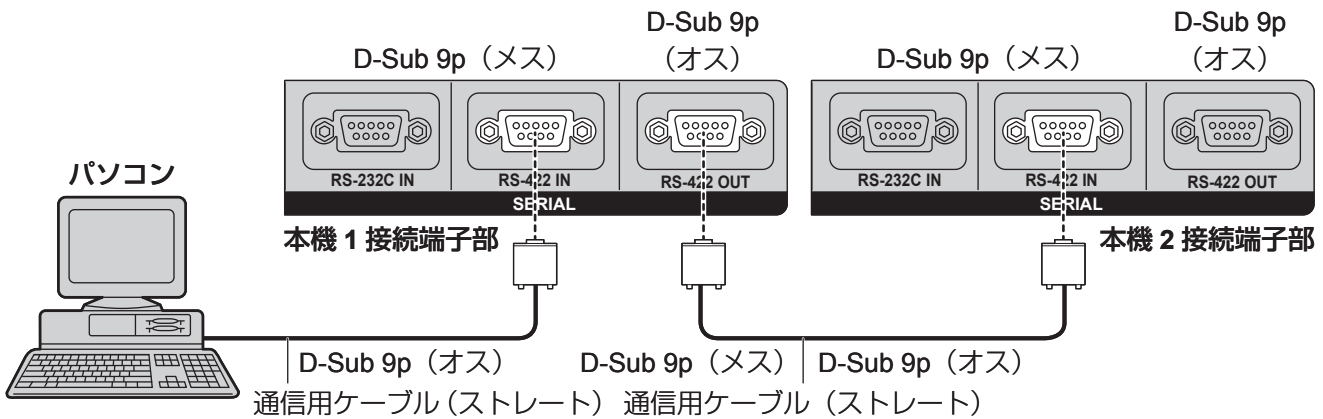
信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600bps
パリティ	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

■ RS-422 の場合

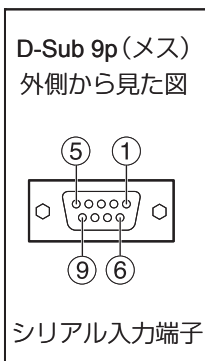
● 1 台の場合



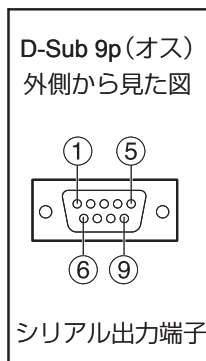
● 複数台の場合



■ ピン配列と信号名



ピン No.	信号名	内容
①		NC
②	TXD(-)	データ送信端子 (-)
③	RXD(+)	データ受信端子 (+)
④		内部で接続されています
⑤		NC
⑥		内部で接続されています
⑦	TXD(+)	データ送信端子 (+)
⑧	RXD(-)	データ受信端子 (-)
⑨	FG	GND



ピン No.	信号名	内容
①		NC
②	RXD(-)	データ受信端子 (-)
③	TXD(+)	データ送信端子 (+)
④		内部で接続されています
⑤		NC
⑥		内部で接続されています
⑦	RXD(+)	データ受信端子 (+)
⑧	TXD(-)	データ送信端子 (-)
⑨	FG	GND

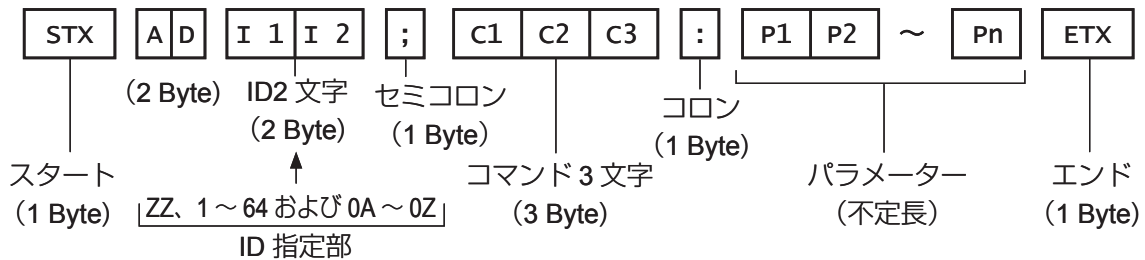
■ 通信条件（工場出荷設定）

信号レベル	RS-422 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600bps
パリティ	なし
キャラクター長	8ビット
ストップビット	1ビット
Xパラメーター	なし
Sパラメーター	なし

シリアル端子を使う (つづき)

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いて ID、コマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



お願い

- ランプ点灯開始時、約 10 ~ 60 秒間はコマンドを送受信できませんので、10 ~ 60 秒経過後に送受信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は必ず本機からの応答を受け取ってから 0.5 秒以上経過後に次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン (:) は必要ありません。

お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から “ER401” または “ER402” というステータスがパソコン側に送信されます。
- RS-232C での ID 送信は ZZ (オール) と 1 から 64 および 0A ~ 0Z のグループの対応になっています。
- STX のキャラクターコードは 02、ETX のキャラクターコードは 03 です。
- ID 指定でコマンドを送信した場合、以下のときのみパソコンへの応答を返します。
 本機 ID と一致した場合
 ID 指定がオールかつ VPS- システムがマスターの場合
 ID 指定がグループかつグループがマスターの場合

制御コマンド

パソコンで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備考
PON	電源「入」	スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。 • ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。
POF	電源「切」	
IIS	入力切り換え	パラメーター VID = VIDEO SVD = S-VIDEO DVI = DVI-D RG1 = RGB1 RG2 = RGB2 AUX = AUX
QSL	使用ランプモード 問い合わせ	パラメーター 0 = クワッド 1 = L1/L4 2 = L2/L3 3 = デュアル 4 = L1/L2/L3 5 = L1/L2/L4 6 = L1/L3/L4 7 = L2/L3/L4 8 = トリプル 9 = L1 10 = L2 11 = L3 12 = L4 13 = シングル
LPM	使用ランプモード	パラメーター 0 = クワッド 1 = L1/L4 2 = L2/L3 3 = デュアル 4 = L1/L2/L3 5 = L1/L2/L4 6 = L1/L3/L4 7 = L2/L3/L4 8 = トリプル 9 = L1 10 = L2 11 = L3 12 = L4 13 = シングル

お知らせ

- 詳しいコマンドリストが必要な場合は、販売店にご相談ください。

ケーブル仕様

■ パソコンと接続する場合

● RS-232C の場合

本機側		パソコン側 (DTE仕様)	
1	NC	NC	1
2			2
3			3
4	NC	NC	4
5			5
6	NC	NC	6
7			7
8			8
9	NC	NC	9

■ 本機を複数台接続する場合

1台目 (RS-422 OUT)	2台目 (RS-422 IN)
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9

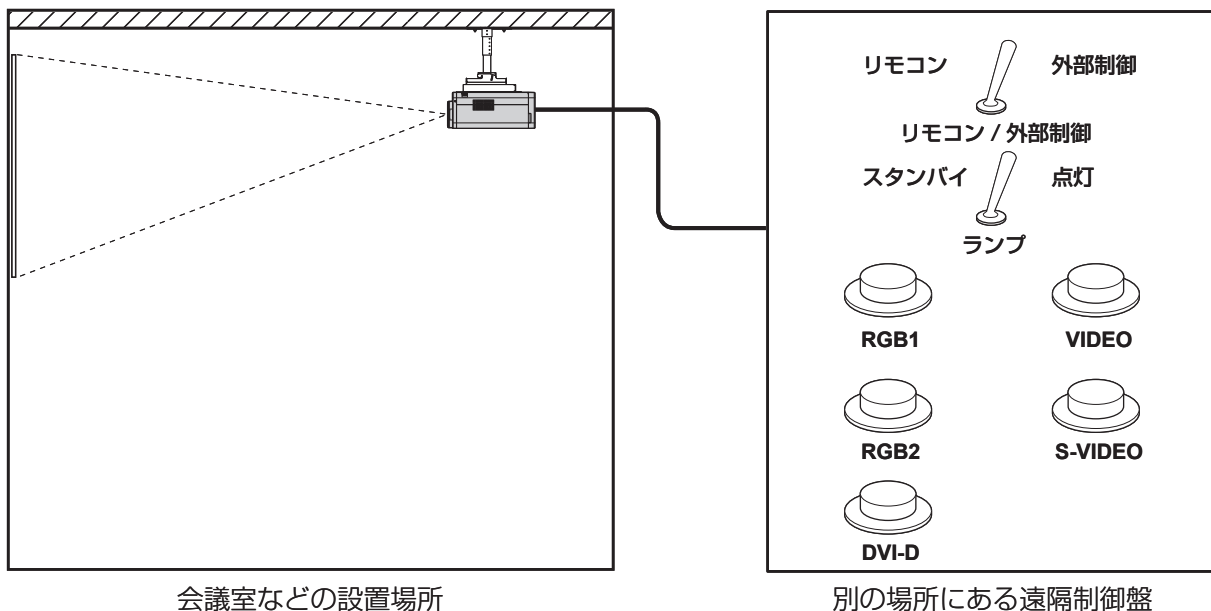
お願い

- シリアル (SERIAL) 端子とパソコンをつなぐ通信用ケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

リモート 2 端子を使う

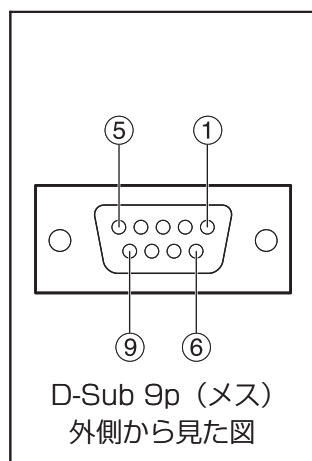
本体接続端子部のリモート 2 (REMOTE 2) 端子を使用することで、設置場所から離れたリモコンの信号が届かない場所にある制御盤などから、本体を遠隔制御することができます。

設置例



ピン配列と制御内容について

制御を行う場合は必ず、①番ピンと⑨番ピンは短絡させてください。



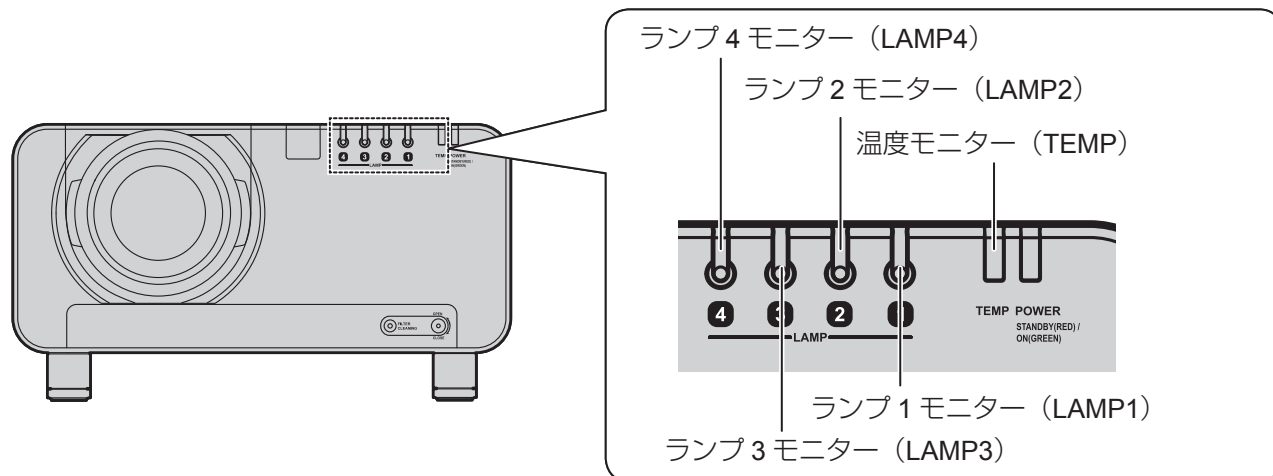
	端子名称	オープン (H)	ショート (L)
①	GND		GND
②	POWER	OFF	ON
③	RGB1	その他	RGB1
④	RGB2	その他	RGB2
⑤	VIDEO	その他	VIDEO
⑥	S-VIDEO	その他	S-VIDEO
⑦	DVI-D	その他	DVI-D
⑧	SHUTTER	OFF	ON
⑨	RST / SET	リモコン制御	外部接点制御

お知らせ

- ①番、⑨番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
電源 (POWER) ボタン、シャッター (SHUTTER) ボタン
またこれらの機能に相当する RS-232C 用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。
- ①番、⑨番ピンを短絡させて、さらに③～⑦番ピンのいずれかと①番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
電源 (POWER) ボタン、入力切り換え (RGB1、RGB2、DVI-D、AUX、VIDEO、S-VIDEO) ボタン、シャッター (SHUTTER) ボタン
また、これらの機能に相当する RS-232C 用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。

モニターランプの表示について

本体前面上部には、ランプの交換時期、内部温度の異常を知らせる 5 つのモニターランプがついています。これらのランプは異常等を点滅や点灯で表示します。電源を切り下記の処置をしてください。



モニターランプ名	ランプ表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
温度モニター	赤色点灯	ウォームアップ状態	<ul style="list-style-type: none"> 気温が低い (0℃付近) 状態で電源を「入」にしませんでしたか 	<ul style="list-style-type: none"> このままの状態でも 5 分ほどお待ちください。 周囲温度 0℃～45℃ の場所に設置してください。
		内部が高温になっている (警告)	<ul style="list-style-type: none"> 通風孔がふさがれていませんか 気温の高い所で使用していませんか 	<ul style="list-style-type: none"> 通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。 周囲温度 0℃～45℃、周囲湿度 20%～80% (非結露) の場所に設置してください。
	赤色点滅 (2回)	内部が高温になっている (スタンバイ状態)	<ul style="list-style-type: none"> エアフィルターにほこりがたまっていませんか 	<ul style="list-style-type: none"> 37 ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、エアフィルターの掃除を行ってください。(108～109 ページ)
	赤色点滅 (3回)	ファンが止まっている		<ul style="list-style-type: none"> 37 ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、販売店にご相談ください。
ランプモニター	赤色点灯	ランプユニットの交換時期を表示している	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れたときに「ランプ交換」という表示が出ませんでしたか 	<ul style="list-style-type: none"> ランプユニットの使用時間が 1 800 時間に達すると点灯します。ランプユニットの交換を販売店にご依頼ください。
	赤色点滅 (3回)	ランプ回路の異常を検知している	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切ってからすぐに電源を入れ直していませんか ランプ回路に異常が発生しています 電源電圧が変動 (低下) していませんか 	<ul style="list-style-type: none"> 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。 37 ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、販売店にご相談ください。

お願い

- 温度モニター (TEMP) ランプ、ランプモニター (LAMP) ランプの表示により処置を行うときの電源操作は「電源を入れる」(36 ページ) と「電源の切りかた」(37 ページ) の手順を必ずお守りください。

エアークリーナーの清掃と交換

エアークリーナーにほこりがたまり過ぎると、本体内部温度が高温になり、温度モニター（TEMP）ランプが点滅し、電源が切れます。使用場所により異なりますが、静電メッシュフィルターの交換とフィルターユニット内の金属メッシュフィルターやブラシの清掃は約 2 000 時間を目安に行ってください。

清掃手順

1. 主電源を切り電源プラグをコンセントから抜く

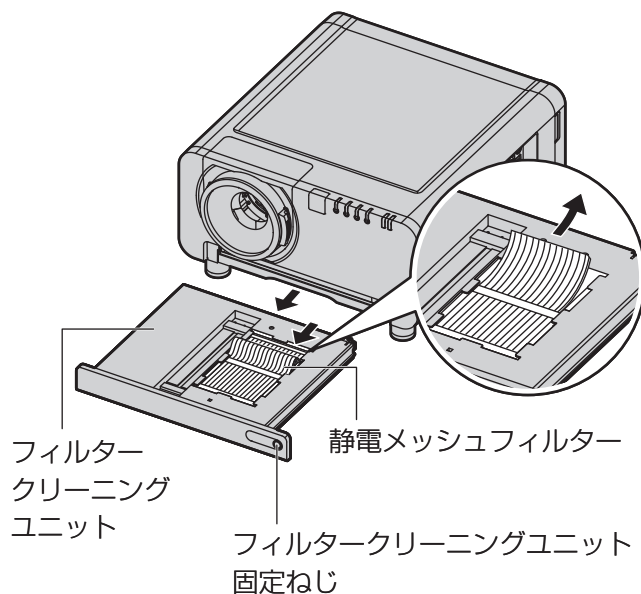
- 37 ページの「電源の切りかた」の手順を守り、主電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

2. 本体前面のフィルタークリーニングユニット固定ねじ（1 本）をプラスドライバーで緩める

- エアークリーナーの底部に手を入れ、手前へ引っ張りながらフィルタークリーニングユニットを本体から外します。

3. フィルタークリーニングユニットから静電メッシュフィルターを取り出す

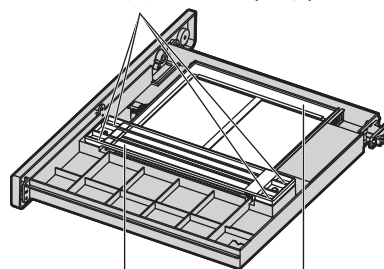
- 静電メッシュフィルターを引っ掛けるようにして引き出してください。



4. フィルタークリーニングユニットを裏返して置く

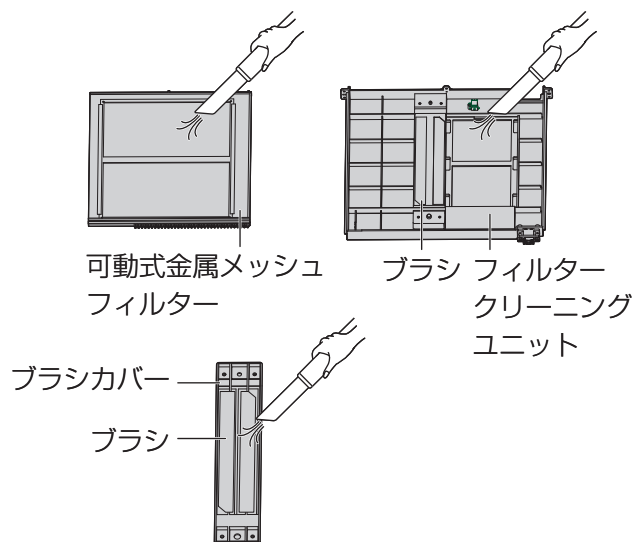
5. ブラシカバー固定ビス（4 本）を取り外して、ブラシカバーと可動式金属メッシュフィルターをフィルタークリーニングユニットから取り外す

ブラシカバー固定ビス（4 本）



6. フィルタークリーニングユニット、ブラシ、可動式金属メッシュフィルターを掃除する

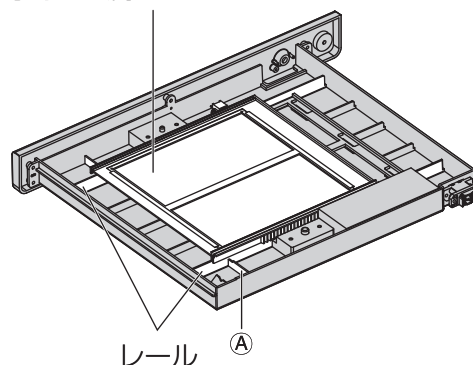
- たまったほこりを掃除機で吸い取ります。



7. 可動式金属メッシュフィルターをフィルタークリーニングユニットに取り付ける

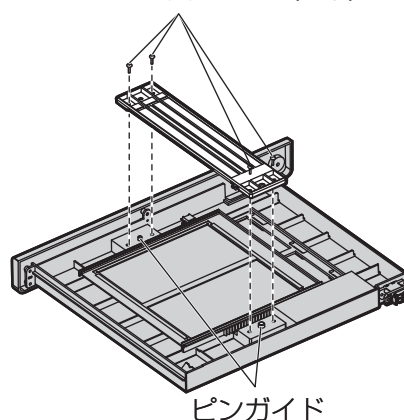
- 組み立てる時に、可動式金属メッシュフィルターの端を ① の位置に合わせてください。
- 可動式金属メッシュフィルターをギアとレールにはめ込みます。
- 可動式金属メッシュフィルターはセット装着後電源 ON 時に所定の位置にセットされますので、組立時は中間位置にセットしても問題ありません。

可動式金属メッシュフィルター



8. ブラシカバーを位置決めピンガイドに沿って取り付け、ブラシカバー固定ビス (4本) を固定する

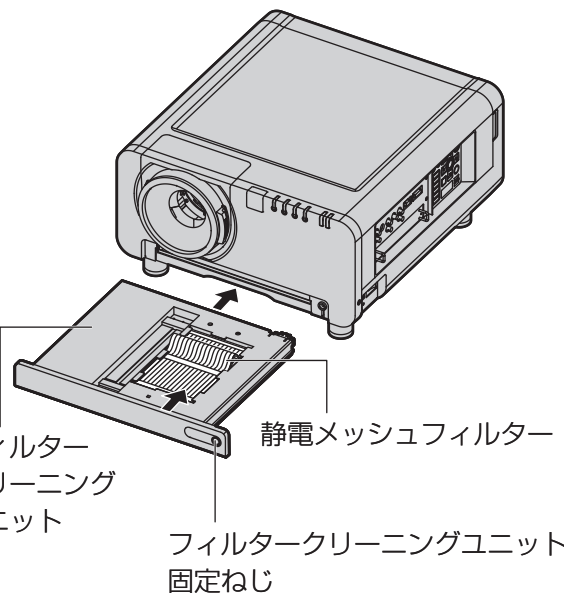
ブラシカバー固定ビス (4本)



9. 新しい静電メッシュフィルターをフィルタークリーニングユニットに取り付ける

10. フィルタークリーニングユニットを本体に入れ、フィルタークリーニングユニット固定ねじ (1本) をプラスドライバーでしっかり締めつける

- エアフィルターをセットして、手順 2 と逆の方法でフィルタークリーニングユニットを取り付けます。



お願い

- エアフィルターは必ず取り付けてご使用ください。エアフィルターを取り付けずに使用すると、ゴミやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

お知らせ

- 掃除をしてもほこりが取れなくなったら静電メッシュフィルターの交換時期です。販売店にご相談ください。また、ランプユニットの交換の際は、あわせて静電メッシュフィルターも交換ください。
- 静電メッシュフィルターは水洗いしないでください。
- 可動式金属メッシュフィルターの油汚れは中性洗剤で洗ってください。中性洗剤はきれいに洗い流してください。

ランプユニットの交換

警告



ランプユニットの交換は、ランプが十分に冷えてから行ってください。ランプユニットは必ず4ユニット全て装着してください。



ランプ交換の際は、指定のねじ以外（黒いねじなど）は外さないでください。
感電・やけど・ケガの原因となります。

ランプユニット交換上のお願

- 光源ランプは内部気圧が高く、硬い物に当てたり、落下させると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した古いランプユニットは、乱雑に取り扱うと破裂する場合があります。処分は産業廃棄物処理業者にご依頼ください。
- 交換時期を超えたランプを使用し続けると、ランプが破裂する場合があります。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。ドライバー使用時は手をすべらせないようにご注意ください。

お願い

- ランプユニットは別売部品です。販売店にご相談ください。（サービス部品扱い）
交換用ランプユニット品番： ET-LAD10000（1灯） ET-LAD1000F（4灯）
定格 250 W
- 上記以外のランプを使用することはできません。必ず指定のランプを使用してください。

ランプユニットの交換時期

光源として使用しているランプには、寿命があります。本体に使用している光源ランプの寿命は2000時間（ランプ選択…クワッド設定時）ですが、ランプ個々の特性や使用条件（ランプは点灯回数や再点灯までの間隔等の影響を受け寿命を低下させる恐れがあります）により、2000時間前に点灯しなくなる場合がありますので、交換用ランプの準備をおすすめします。

2000時間を過ぎてもランプユニットが交換されない場合は自動的にランプを消灯します。全てのランプの使用時間が2000時間以上になると、電源を入れても約10分間で自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。

お願い

- ランプ交換の際に、エアフィルター清掃と交換も行ってください。（108～109ページ）

■ 1800時間以降の表示

ランプユニットの使用時間が1800時間に達するとランプモニター（LAMP1、LAMP2、LAMP3、またはLAMP4）が、スタンバイ状態も含めて点灯します。また、右図のようなランプユニットの交換を促すオンスクリーンを約30秒表示します。（右図の表示は約30秒経過または本体操作ボタン、リモコンのボタンのいずれかを操作すると消えます。）

このオンスクリーン表示は2000時間に達すると、以降はメニュー（MENU）ボタンなどを操作しない限り消えません。

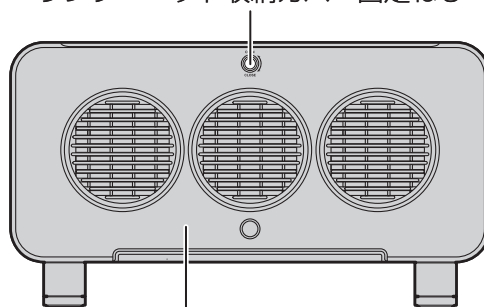
ランプ交換

ランプユニットの交換手順

1. 「電源を入れる」(36 ページ) と「電源の切りかた」(37 ページ) の手順を守り、主電源を切った後、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニット周辺が冷えていることを確認する

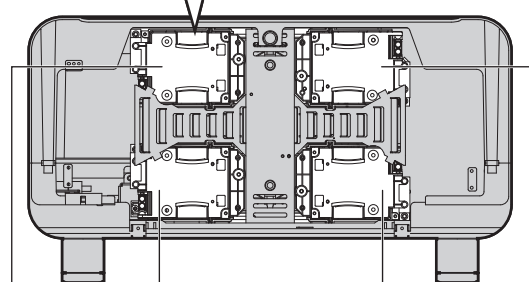
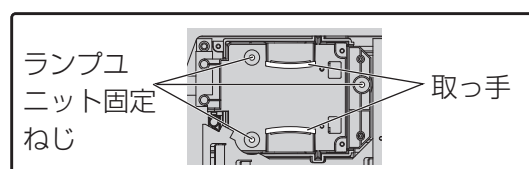
2. 本体後面のランプユニット収納カバー固定ねじ (1 本) をプラスドライバーで緩める
3. ランプユニット収納カバーを本機から開く

ランプユニット収納カバー固定ねじ



ランプユニット収納カバー

4. 取り換えたいランプユニットの固定ねじ (各 3 本) をプラスドライバーで空回りするまで回す
ランプユニットの取っ手を持って、ゆっくりと本機から引き出す



ランプユニット 1 ランプユニット 2 ランプユニット 3 ランプユニット 4

⚠️ 注意



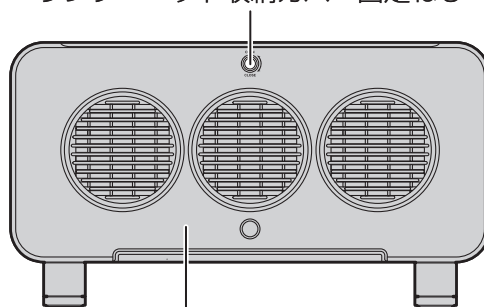
使用直後のランプユニットおよびランプユニット周辺の構造物は高温なので注意する
触るとやけどの原因になります。

5. 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込む
6. ランプユニット固定ねじ (各 3 本) をプラスドライバーでしっかりと締めつける
7. ランプユニット収納カバーを閉め、ランプユニット収納カバー固定ねじ (1 本) をプラスドライバーでしっかりと締めつける

お願い

- ランプユニットやランプユニット収納カバーは確実に取り付けてください。ランプユニットやランプユニット収納カバーの取り付けが不完全だと保護回路が動作し電源が入りません。

ランプユニット収納カバー固定ねじ



ランプユニット収納カバー

天つり金具取り付け時の注意事項

本製品に天つり金具を取り付けてご使用になる場合は、付属のアイボルトとワイヤーロープをプロジェクター本体に取り付けてご使用ください。

(安全性には問題ありませんが、ねじが緩んでいた場合に起きる落下などの不慮の事故を防止することができます。)

工事は専門技術者に依頼し、下記の取り付け手順に従ってください。

- 当社製以外の天つり金具の使用、ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーなどを使用し、電動ドライバーやインパクトドライバーを使用しないでください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼の上、速やかに撤去してください。

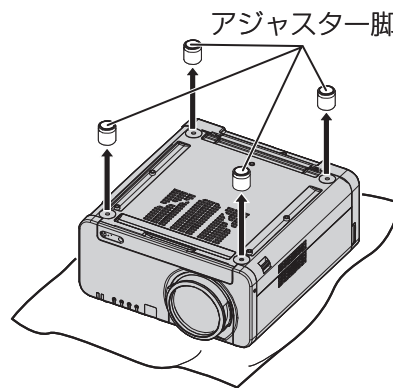
お願い

- 必ず付属のアイボルトとワイヤーロープをご使用ください。

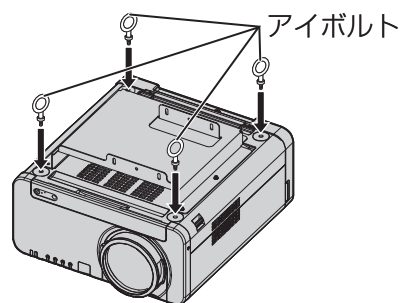
取り付け手順

1. 柔らかい布などの上に、プロジェクター本体の底面を上にして置く
2. アジャスター脚 (4 本) を左に回して、本体から取り外す

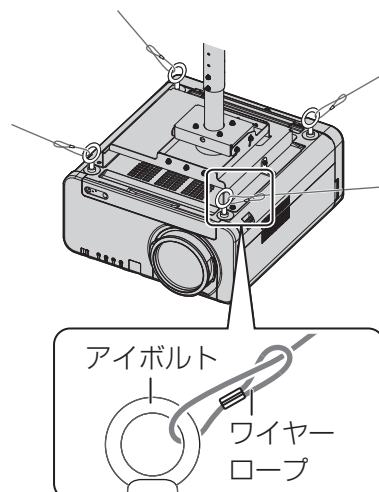
取り外したアジャスター脚は、元に戻すときに使用しますので、大切に保管してください。



3. アイボルト (4 本) を右に回して、本体に取り付ける



4. アイボルト (4 本) にそれぞれワイヤーロープ (4 本) を取り付ける
5. アイボルトと天井間に、付属のワイヤーロープ (4 本) を 4 方向から張る



修理を依頼される前に…もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない	• 電源変換コードがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	35
	• 主電源 (MAIN POWER) スイッチが「○」側になっていませんか。	36、37
	• コンセントに電源がきていますか。	35
	• 本機前面の温度モニター (TEMP) ランプが点灯または点滅していませんか。	107
	• 本機前面のランプモニター (LAMP) ランプが点灯または点滅していませんか。	107
	• ランプユニット収納カバーは完全に取り付けられていますか。	111
	• ID 設定の操作を間違えていませんか。	18、76
	• ランプユニットを4個とも装着していますか。	110、111
映像が出ない	• 映像入力は正しく接続されていますか。	26
	• 入力切り換えの設定が正しくなっていますか。	44、55
	• 本機に接続している機器は正常に動作していますか。	—
	• シャッター機能を使用していませんか。	44
映像がボヤけている	• レンズのフォーカスは合っていますか。	38
	• 投写距離は適切ですか。	22、23
	• レンズが汚れていませんか。	—
	• 本機がスクリーンに対して直角に設置されていますか。	21
色が薄い／色あいが悪い	• 色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。	51、52
	• 本機に接続している機器は正しく調整されていますか。	—
リモコンが働かない	• 乾電池が消耗していませんか。	—
	• 極性は正しくセットされていますか。	17
	• リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。	17
	• リモコン有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。	17
	• リモート2 (REMOTE2) 端子を使って外部制御を行っていませんか。	106
	• 外光などの影響を受けていませんか。	—
	• ID 設定の操作を間違えていませんか。	18、76
	• リモコンのロック (LOCK) ボタンがロック側になっていませんか。	13
	• 調整値プロテクトが有効になっていませんか。▼+▼+エンター (ENTER) +▼+▼+エンター (ENTER) ボタンを押して解除してください。	—
正常な映像が映らない	• 入力切り換えが正しく行われていますか。	44、55
	• 信号方式の選択は正しく行われていますか。	55
	• ビデオテープ等ソース側に異常はありませんか。	—
	• 本機が対応できない信号を入力していませんか。	118～119
パソコンからの映像が映らない	• ケーブルが長過ぎませんか。	—
	• ノートパソコンの映像信号出力先が正しく設定されていますか。	—
	• [Fn] + [F3] キーで設定します。(詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照ください)	—
パソコンの DVI-D 出力 グラフィックボードの映像が 映らない	• EDID の設定が EDID2(PC) になっていますか。	—
	• グラフィックボードのドライバーを最新バージョンにすることで改善する可能性があります。	—

自己診断表示について

本機側面（15 ページ）には、エラーが起きた場合に自動的にエラー内容を表示する自己診断表示がっています。

自己診断表示	内容	対応
U04	エアークフィルターの目詰まり	• エアークフィルターユニットの清掃をしてください。
U11	吸気温度警告	• 周囲温度が高すぎます。
U12	光学モジュール温度警告	
U13	ランプ周辺温度警告	
U14	温度低温警告	
U21	吸気温度エラー	
U22	光学モジュール温度エラー	
U23	ランプ周辺温度エラー	
U24	低温エラー	
U41	ランプ 1 使用時間警告	• ランプの交換時期になりました。ランプを交換してください。
U42	ランプ 2 使用時間警告	
U43	ランプ 3 使用時間警告	
U44	ランプ 4 使用時間警告	
U51	ランプ 1 エラー	• ランプの点灯に失敗しました。ランプが冷えてから再び電源を入れてください。それでも点灯しない場合は販売店にご相談ください。
U52	ランプ 2 エラー	
U53	ランプ 3 エラー	
U54	ランプ 4 エラー	
U61	ランプ 1 使用時間 2 000 時間経過	• ランプの交換時期を越えています。直ちに交換してください。
U62	ランプ 2 使用時間 2 000 時間経過	
U63	ランプ 3 使用時間 2 000 時間経過	
U64	ランプ 4 使用時間 2 000 時間経過	
U70	エアークフィルターユニット未装着	• エアークフィルターユニットを装着してください。
U71	ランプ 1 未装着	• ランプを装着してください。
U72	ランプ 2 未装着	
U73	ランプ 3 未装着	
U74	ランプ 4 未装着	
U81	AC 電圧低下警告 (90 V 未満)	• AC 入力電圧が低下しています。本機の消費電流に対し余裕のある電気配線にしてください。
U91	ランプ収納カバーが閉じていない	• ランプユニット収納カバーを閉じてください。
H01	内部時計用電池交換	• 電池交換が必要です。販売店にご相談ください。
H11	吸気温度センサー抜け	• 主電源を入れなおしても表示が消えない場合は販売店にご相談ください。
H12	光学モジュール温度センサー抜け	
H13	ランプ周辺温度センサー抜け	
H18	風量センサー抜け	
F11	シャッターエラー	
F12	ダイナミックアイリスエラー	
F13	エアークフィルターユニットエラー	
F21	DC2.5 V エラー	
F22	DC3.3 V エラー	
F23	DC5.0 V エラー	

自己診断表示	内容	対応
F41	ランプ1メモリエラー	<ul style="list-style-type: none"> ランプが故障しています。販売店にご相談ください。
F42	ランプ2メモリエラー	
F43	ランプ3メモリエラー	
F44	ランプ4メモリエラー	
F91	FPGA1 コンフィグエラー	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を入れなおしても表示が消えない場合は販売店にご相談ください。
F92	FPGA2 コンフィグエラー	
F93	FLASH ROM エラー	
F94	RAM エラー	
F95	FPGA 展開エラー	
F96	レンズシフトエラー	
FE1	電源ファンエラー	
FE2	ランプ1ファンエラー	
FE3	ランプ2ファンエラー	
FE4	ランプ3ファンエラー	
FE5	ランプ4ファンエラー	
FE6	バラスト回路1ファンエラー	
FE7	バラスト回路3ファンエラー	
FE8	ラジエターファンエラー	
FE9	中央排気ファンエラー	
FF0	左排気ファンエラー	
FF1	右排気ファンエラー	
FF2	赤色 DMD 冷却ファンエラー	
FF3	緑色 DMD 冷却ファンエラー	
FF4	青色 DMD 冷却ファンエラー	
FF5	カラープリズムファンエラー	
FF6	ランププリズムファンエラー	
FF7	バラスト回路2ファンエラー	
FF8	バラスト回路4ファンエラー	
FP1	ランプ1 PFC エラー	
FP2	ランプ2 PFC エラー	
FP3	ランプ3 PFC エラー	
FP4	ランプ4 PFC エラー	

仕様

品番		TH-D10000	TH-DW10000
使用電源		AC 100 V 15A / AC 200 V 7.5 A 50 Hz/60Hz	
消費電力		1 450 W (スタンバイ時約 25 W)	
DLP® パネル	パネルサイズ	0.95 型 (アスペクト比 4:3)	0.95 型 (アスペクト比 16:9)
	表示方式	DMD® チップ 3 枚 DLP® 方式	
	画素数	1 470 000 画素 (1 400×1 050 ドット) × 3 枚	2 073 600 画素 (1 920 × 1 080 ドット) × 3 枚
レンズ (電動ズーム / 電動フォーカス)		オプション	
光源ランプ		250 W UHM ランプ× 4 灯	
光出力		10 000 lm	
対応 走査 周波数	ビデオ信号時 (S ビデオ含む)	水平 15.73 kHz / 15.63 kHz 垂直 59.94 Hz / 50 Hz	
	RGB 信号時	水平 15 kHz ~ 100 kHz 垂直 24 Hz ~ 120 Hz PIAS (Panasonic Intelligent Auto Scanning) 方式 ドットクロック周波数 20 MHz ~ 162 MHz	
	DVI-D 信号時	EDID1 480p、576p、720/60p、720/59.94p、720/50p、1 080/60p、1 080/59.94p、1 080/50p 1 080/60i、1 080/59.94i、1 080/50i、1 080/24sF、1 080/23.98sF 1 080/30p、1 080/29.97p、1 080/25p、1 080/24p、1 080/23.98p	EDID2*1 表示可能解像度：VGA ~ UXGA (ノンインターレース) ドットクロック周波数： 25 MHz ~ 162 MHz
	YPbPr 信号時	[480i] 水平 15.73 kHz 垂直 59.94 Hz [480p] 水平 31.5 kHz 垂直 59.94 Hz [1 035/60i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz [1 080/50i] 水平 28.13 kHz 垂直 50 Hz [1 080/24p] 水平 27 kHz 垂直 24 Hz [1 080/30p] 水平 33.75 kHz 垂直 30 Hz [1 080/60p] 水平 67.5 kHz 垂直 60 Hz [1 080/50p] 水平 56.25 kHz 垂直 50 Hz	[576i] 水平 15.63 kHz 垂直 50 Hz [576p] 水平 31.25 kHz 垂直 50 Hz [720/60p] 水平 45 kHz 垂直 60 Hz [1 080/60i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz [1 080/25p] 水平 28.13 kHz 垂直 25 Hz [1 080/24sF] 水平 27 kHz 垂直 48 Hz • HD/SYNC、VD 端子は、3 値 SYNC には対応していません。
カラー方式		7 方式 (NTSC / NTSC4.43 / PAL / PAL-N / PAL-M / SECAM / PAL60)	
投写画面サイズ		70 ~ 600 型*2	
画面アスペクト比		4:3	16:9
投写方式		フロント/リア/天つり/床置き (メニュー設定方式)	
コントラスト比		5 000:1 (「ダイナミックアイリス」の設定が「3」のとき)	
接続 端子	入力モジュール 接続スロット	1 系統	
	RGB1 入力端子	1 系統 BNC×5 [YPbPr 入力時] Y : 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PbPr : 0.7 V [p-p] 75 Ω [RGB 入力時] 0.7 V [p-p] 75 Ω G-SYNC 時 1.0 V[p-p] 75 Ω HD/SYNC 1.4 ~ 5 Vp-p 正/負極性自動対応 75 Ω VD 1.4 ~ 5 Vp-p 正/負極性自動対応 75 Ω	

※ 1: EDID2 設定時はインターレース信号に対応していません。

※ 2: ET-D75LE5 装着時は 70 ~ 300 型です。

品番		TH-D10000	TH-DW10000
接続端子	RGB2 入力端子	1 系統 高密度 D-sub 15p (メス) [YPbPr 入力時] Y : 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PbPr : 0.7 V [p-p] 75 Ω [RGB 入力時] 0.7 V [p-p] 75 Ω G-SYNC 時 1.0 V [p-p] 75 Ω HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応 • ただし、HD/SYNC および VD 端子は 3 値 SYNC には対応していません。	
	ビデオ入出力端子	1 系統 BNC 1.0 V [p-p] 75 Ω (ビデオ出力時はアクティブスルー)	
	S ビデオ入力端子	1 系統 Mini DIN 4p Y 1.0 V [p-p]、C 0.286 V [p-p] 75 Ω S1 信号に対応	
	DVI-D 入力端子	1 系統 DVI1.0 準拠 HDCP 対応 • シングルリンクのみ対応	
	LAN 端子	1 系統 ネットワーク接続用 10Base-T/100 Base-TX PJLink™ 対応	
	シリアル入出力端子	D-sub 9p (メス/オス) RS-232C/RS-422 準拠 パソコン制御用	
	リモート 1 入出力端子	M3 ピンジャック 各 1 系統 ワイヤードリモコン、連結制御用	
	リモート 2 端子	D-sub 9p (メス) 外部制御用	
電源コードの長さ		3 m (本体コード : 2 m、付属変換コード : 1 m)	
キャビネット		樹脂成形品	
外形寸法		横幅 : 578 mm 高さ : 320 mm 奥行 : 643 mm	
質量		32 kg (レンズなし)	
使用環境条件		使用環境温度*3 : 0 °C ~ 45 °C 使用環境湿度 : 10 % ~ 80 % (結露のないこと)	
リモコン	使用電源	DC 3 V (単 3 形乾電池 2 コ)	
	操作距離	約 30 m (受光部正面)	
	質量	134 g (乾電池含む)	
	外形寸法	横幅 : 51 mm 厚さ : 23 mm 奥行 : 176 mm	
別売品	天つり金具 (高天井用)	: ET-PKD100H	
	天つり金具 (低天井用)	: ET-PKD100S	
	投写レンズ	: ET-D75LE6、ET-D75LE1、ET-D75LE2、ET-D75LE3、ET-D75LE4、 ET-D75LE5、ET-D75LE8	
	DVI-D 入力モジュール	: ET-MD77DV	
	SD-SDI 入力モジュール	: ET-MD77SD1	
	HD/SD-SDI 入力モジュール	: ET-MD77SD3	

※ 3 高地 (1 400 m ~ 2 700 m) で使用する場合、使用環境温度は 0 °C ~ 40 °C になります。

- 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS × 6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。
- 本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This DLP® based Projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

RGB/YPbPr/DVI-D 信号一覧

本機に入力できる RGB/YPbPr/DVI-D 信号は下表の通りです。他にも RGB 信号は $f_H = 15 \text{ kHz} \sim 100 \text{ kHz}$ 、 $f_V = 24 \text{ Hz} \sim 120 \text{ Hz}$ 、ドットクロック = $20 \text{ MHz} \sim 162 \text{ MHz}$ の範囲で入力可能です。

対応信号	表示モード	解像度 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	フォーマット
			水平 (kHz)	垂直 (Hz)		
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720 × 480i	15.7	59.9		VIDEO/S-VIDEO
PAL/PAL-N/SECAM	PAL/PAL-N/SECAM	720 × 576i	15.6	50.0		VIDEO/S-VIDEO
480i	480i	720 × 480i	15.7	59.9	13.5	YPbPr/RGB
576i	576i	720 × 576i	15.6	50.0	13.5	YPbPr/RGB
480p	480p	720 × 483	31.5	59.9	27.0	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
576p	576p	720 × 576	31.3	50.0	27.0	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
1080/60i	1080/60i	1 920 × 1 080i	33.8	60.0	74.3	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
1080/50i	1080/50i	1 920 × 1 080i	28.1	50.0	74.3	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
1080/24p	1080/24p	1 920 × 1 080	27.0	24.0	74.3	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
1080/24sF	1080/24sF	1 920 × 1 080i	27.0	24.0	74.3	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
1080/25p	1080/25p	1 920 × 1 080	28.1	25.0	74.3	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
1080/30p	1080/30p	1 920 × 1 080	33.8	30.0	74.3	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
1080/50p	1080/50p	1 920 × 1 080	56.3	50.0	148.5	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
1080/60p	1080/60p	1 920 × 1 080	67.5	60.0	148.5	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
720p/60p	720/60p	1 280 × 720	45.0	60.0	74.3	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
720p/50p	720/50p	1 280 × 720	37.5	50.0	74.3	YPbPr/RGB/DVI(EDID1)
VGA400	VGA70	640 × 400	31.5	70.1	25.2	RGB/DVI(EDID2)
	VGA85	640 × 400	37.9	85.1	31.5	RGB/DVI(EDID2)
VGA480	VGA60	640 × 480	31.5	59.9	25.2	RGB/DVI(EDID1&EDID2)
	VGA67	640 × 480	35.0	66.7	30.2	RGB/DVI(EDID2)
	VGA73	640 × 480	37.9	72.8	31.5	RGB/DVI(EDID2)
	VGA75	640 × 480	37.5	75.0	31.5	RGB/DVI(EDID2)
	VGA85	640 × 480	43.3	85.0	36.0	RGB/DVI(EDID2)
SVGA	SVGA56	800 × 600	35.2	56.3	36.0	RGB/DVI(EDID2)
	SVGA60	800 × 600	37.9	60.3	40.0	RGB/DVI(EDID2)
	SVGA72	800 × 600	48.1	72.2	50.0	RGB/DVI(EDID2)
	SVGA75	800 × 600	46.9	75.0	49.5	RGB/DVI(EDID2)
	SVGA85	800 × 600	53.7	85.1	56.3	RGB/DVI(EDID2)
MAC16	MAC16	832 × 624	49.7	74.6	57.3	RGB/DVI(EDID2)

対応信号	表示モード	解像度 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	フォーマット
			水平 (kHz)	垂直 (Hz)		
XGA	XGA50	1 024 × 768	39.6	50.0	51.9	RGB/DVI(EDID2)
	XGA60	1 024 × 768	48.4	60.0	65.0	RGB/DVI(EDID2)
	XGA70	1 024 × 768	56.5	70.1	75.0	RGB/DVI(EDID2)
	XGA75	1 024 × 768	60.0	75.0	78.8	RGB/DVI(EDID2)
	XGA82	1 024 × 768	65.5	81.6	86.0	RGB/DVI(EDID2)
	XGA85	1 024 × 768	68.7	85.0	94.5	RGB/DVI(EDID2)
	XGA87i	1 024 × 768i	35.5	87.0	44.9	RGB
	XGA100	1 024 × 768	80.0	100.0	105.0	RGB/DVI(EDID2)
MXGA	XGA120	1 024 × 768	96.7	120.0	130.0	RGB/DVI(EDID2)
	MXGA71	1 152 × 864	64.0	71.2	94.2	RGB/DVI(EDID2)
	MXGA75	1 152 × 864	67.5	74.9	108.0	RGB/DVI(EDID2)
WXGA	MXGA85	1 152 × 864	76.7	85.0	121.5	RGB/DVI(EDID2)
	WIDE80050	1 280 × 800	41.3	50.0	68.0	RGB/DVI(EDID2)
	WIDE80060	1 280 × 800	49.7	59.8	83.5	RGB/DVI(EDID2)
MAC21	WIDE76860	1 280 × 768	47.8	59.9	79.5	RGB/DVI(EDID2)
	MAC21	1 152 × 870	68.7	75.1	100.0	RGB/DVI(EDID2)
MSXGA	MSXGA60	1 280 × 960	60.0	60.0	108.0	RGB/DVI(EDID2)
SXGA	SXGA50	1 280 × 1 024	52.4	50.0	88.0	RGB/DVI(EDID2)
	SXGA60	1 280 × 1 024	64.0	60.0	108.0	RGB/DVI(EDID2)
	SXGA66	1 280 × 1 024	72.3	66.3	125.0	RGB/DVI(EDID2)
	SXGA72	1 280 × 1 024	78.2	72.0	135.1	RGB/DVI(EDID2)
	SXGA75	1 280 × 1 024	80.0	75.0	135.0	RGB/DVI(EDID2)
	SXGA85	1 280 × 1 024	91.1	85.0	157.5	RGB/DVI(EDID2)
SXGA+	SXGA+60	1 400 × 1 050	65.2	60.0	122.6	RGB/DVI(EDID2)
	SXGA+72	1 400 × 1 050	78.8	72.0	149.3	RGB/DVI(EDID2)
	SXGA+75	1 400 × 1 050	82.2	75.0	155.9	RGB/DVI(EDID2)
UXGA	UXGA60	1 600 × 1 200	75.0	60.0	162.0	RGB/DVI(EDID2)

お知らせ

- TH-D10000の表示ドット数は1 400 × 1 050です。上記データで表示ドット数が異なる信号は1 400 × 1 050ドットに変換されて表示します。
- TH-DW10000の表示ドット数は1 920 × 1 080です。上記データで表示ドット数が異なる信号は1 920 × 1 080ドットに変換されて表示します。
- 表示ドット数の後ろの「i」はインターレース信号を意味します。
- インターレース信号接続時は映像にちらつき（ラインフリッカー）が発生します。

P I N P 一 覧 表

サブウィンドウ メインウィンドウ		RGB1		RGB2		VIDEO 入力	S-VIDEO 入力	DVI		AUX				
		RGB 入力	YPbPr 入力	RGB 入力	YPbPr 入力			EDID1	EDID2	ET- MD77SD1	ET- MD77SD3 ^{*1}	ET-MD77DV		
EDID1 ^{*2}	EDID2													
RGB1	RGB 入力	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
	YPbPr 入力	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	
RGB2	RGB 入力	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
	YPbPr 入力	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	
VIDEO 入力		○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	
S-VIDEO 入力		○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	
DVI	EDID1	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
	EDID2 (PC)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
AUX	ET-MD77SD1	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	
	ET-MD77SD3 ^{*1}	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	
	ET- MD77DV	EDID1 ^{*2}	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×
		EDID2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×

○ : P I N P (ピクチャ イン ピクチャ) 組合わせが可能。

×

※ 1 480i、576i、720/60p、720/50p、1 035/60i、1 080/60i、1 080/50i、1 080/24sF、1 080/30p、
1 080/25p、1 080/24p

※ 2 480p、576p、720/60p、720/50p、1 080/60i、1 080/50i、1 080/24sF、1 080/30p、1 080/25p、1 080/24p、
1 080/60p、1 080/50p

お知らせ

- ノイズリダクションはアナログ RGB 入力、DVI 入力 (EDID1 設定)、AUX 入力 (EDID1 設定) では使用できません。
- TH-DW10000 はメインウィンドウのサイズが 75 % 以上、サブウィンドウのサイズが 50 % 以上のとき、サブウィンドウの画質が劣化します。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1. 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保存してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から本体 1 年間。ただし、光源ランプは 6 カ月または 600 時間の早い方。

3. 修理を依頼される時

113 ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みの上、え調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

• 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

• 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。ただし、プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
注) 補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

• 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

4. ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。なお、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

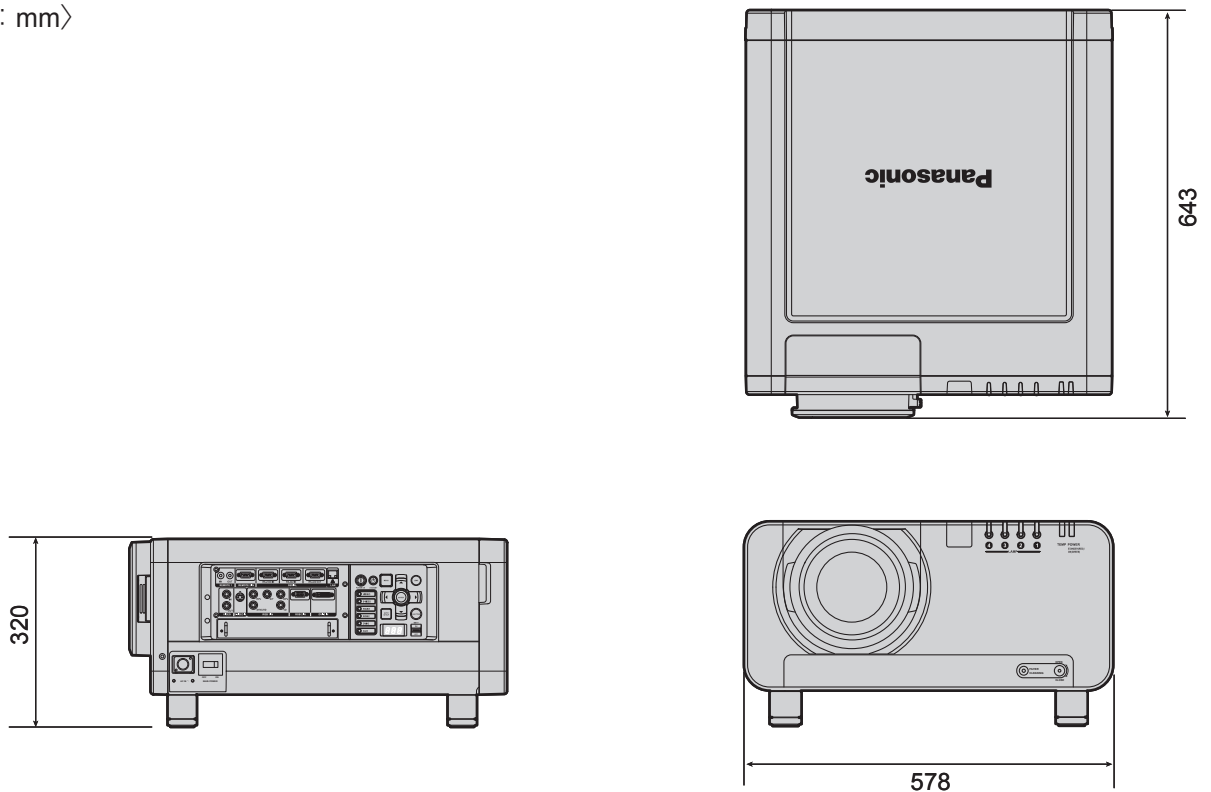
修理を依頼される時にご連絡いただきたい内容

ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番 お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。 なお、製品品番については、TH-D10000 (または TH-DW10000) でご連絡ください。
故障または 異常の内容	自己診断機能表示ランプの内容も含め、できるだけ詳しくお願いします。
訪問ご希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

寸法図

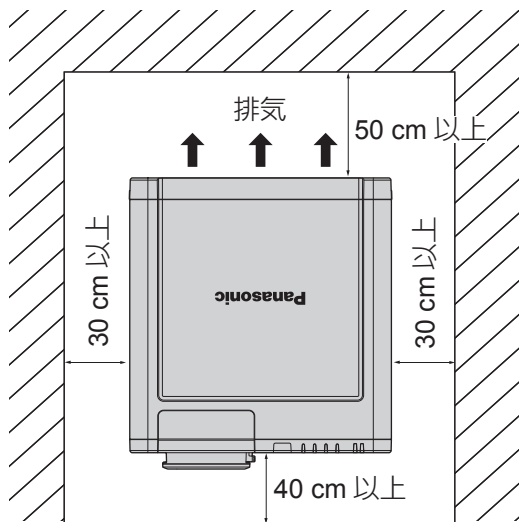
外形寸法図

〈単位：mm〉

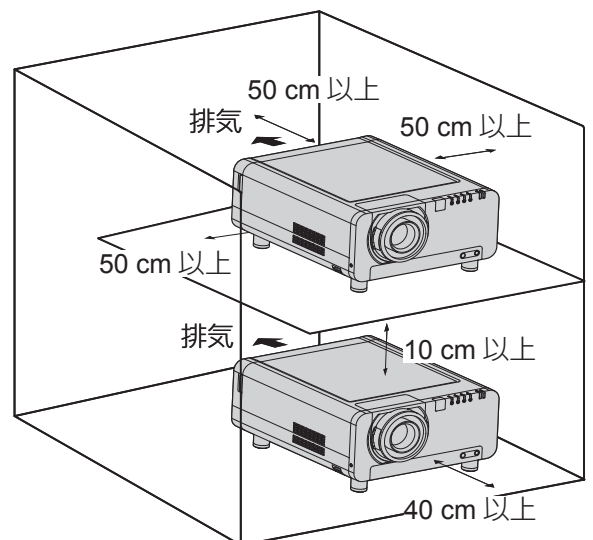


設置寸法図

● 図1：1台で使用する場合



● 図2：2台で使用する場合



お願い

- 後面の排気口をふさがないように 50 cm 以上の隙間をあけて設置してください。
- 本体の後側は空気の滞留が生じないようにしてください。また、排気口から出た熱が吸気口に回り込まないように、側面の隙間を 30 cm 以上あけて設置してください。
- エアフィルター交換のために前面の隙間を 40 cm 以上あけて設置してください。
- プロジェクターをボックスに入れて使用する場合は、図2のスペースを確保し、使用中の温度が 0℃～35℃になるようにしてください。

A			
AUX DVI EDID.....	73		
D			
DVI-D 入力モジュール.....	33		
DVI EDID.....	72		
F			
FUNC1 の設定.....	74		
H			
HD/SD-SDI 入力モジュール.....	32		
O			
OSD メモリー.....	75		
P			
P IN P.....	73-74		
P IN P 一覧表.....	120		
PJLink™ プロトコル.....	98		
R			
RGB/YPbPr/DVI-D 信号一覧.....	118-119		
RS-232C.....	80		
S			
SD-SDI 入力モジュール.....	31		
sRGB.....	56		
あ			
アスペクト調整.....	58		
い			
色あい.....	52		
色温度設定.....	52		
色の濃さ.....	51		
え			
エアフィルター清掃.....	81		
エアフィルターの清掃と交換.....	108-109		
映像機器との接続.....	26		
映像モード設定の既定値登録.....	55		
映像モードの切り換え.....	50		
エッジブレンディング調整.....	63-65		
お			
オートセットアップ (AUTO SETUP) 機能.....	45		
お手入れ.....	11		
オンスクリーン位置.....	75		
オンスクリーン表示機能.....	44		
か			
外形寸法図.....	122		
カラーマッチングの調整.....	68-70		
ガンマ選択.....	53		
く			
クランプ位置調整.....	63		
クロックフェーズ調整.....	59		
黒レベル.....	51		
さ			
サブメニュー.....	47-48		
サブメモリー.....	42-43		
し			
自己診断表示.....	114-115		
システム情報.....	80		
システム方式.....	55		
自動調整.....	71		
シフト調整.....	57		
シャッター (SHUTTER) 機能.....	44		
シャープネス.....	53		
修理を依頼される前に.....	113		
出力解像度.....	78		
仕様.....	116-117		
シリアル端子.....	102-105		
す			
ズーム調整.....	59		
スタートアップロゴ.....	82		
ステータス機能.....	44		
せ			
設置角度.....	78		
設置寸法図.....	122		
設置設定.....	77		
セット脚の調整.....	20		
た			
大画面色補正.....	70		
台形補正.....	60		
ダイナミックアイリス.....	54		
て			
テキストの変更.....	101		
デジタルシネマリアリティ.....	61		
テストパターン.....	83		
電源の切りかた.....	37		
電源表示ランプ.....	35		
電源変換コードの接続.....	35		
電源を入れる.....	36		
天つり金具取り付け時の注意事項.....	112		
と			
投写方式.....	20		
投写レンズの取り付け/取り外しかた.....	34		
登録信号.....	41-42		
に			
入力解像度調整.....	62		
入力自動セットアップ.....	71		
入力モジュールの取り付け.....	28-29		
入力を切り換える.....	44		
ね			
ネットワーク機能.....	84-97		
ネットワーク接続.....	86		
の			
ノイズリダクション.....	54		
は			
パスワード入力.....	82		
パスワードの設定.....	99		
パスワードの変更.....	100		
パソコンとの接続.....	27		
バックカラー.....	72		
ひ			
ピクチャー.....	51		
日付と時刻設定.....	82		
表示の設定.....	100		
ふ			
ファン制御.....	77		
付属品.....	10		
ブランキング調整.....	62		
フレーム遅延.....	65		
プロジェクター ID の設定.....	76		
ほ			
保証とアフターサービス.....	121		
め			
メインメニュー.....	47		
メニュー画面の操作方法.....	49		
も			
モニターランプの表示.....	107		
ら			
ラスター位置.....	66		
ランプ選択.....	78-79		
ランプユニットの交換手順.....	111		
ランプリレー.....	79		
り			
リモート 2 端子.....	106		
リモコンの ID ナンバー指定.....	18		
リモコンの有効操作範囲.....	17		
れ			
レンズ調整.....	38-40		
わ			
ワイヤードリモコン.....	18		



ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

注意

お客様は、本ソフトウェア（プロジェクターに内蔵されているマイコン、ROM などに記録された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできませんが、著作権がお客様に移転するものではありません。

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証を致しません。

商標について

- VGA、XGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。
 - S VGA は Video Electronics Standards Association の商標または登録商標です。
 - Microsoft Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
 - Netscape 及び Netscape Navigator は Netscape Communications の米国及びその他の国における登録商標です。
 - HDMI、HDMI 口ゴ、High-Definition Multimedia interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
 - Digital Light Processing, DLP、DLP® CHIP は Texas Instruments の登録商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品 番	TH-D10000 TH-DW10000
	販売店名	☎ () —		

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901-1161

© 2006 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.